

履修ガイドブック

YAMANASHI
GAKUIN
UNIVERSITY

2024



山梨学院大学
YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY

目 次

| | |
|-------------------|---|
| 2024年度学事暦 | 3 |
| 建学の精神・教育の理念・教育目標 | 4 |
| 三つの方針 | 5 |
| 教育目的・目標および3つのポリシー | 6 |

I. 履修計画

| | |
|--------------------|----|
| 大学で学ぶということ | 17 |
| 履修計画のサイクル | 18 |
| 本学カリキュラムの仕組み | 19 |
| 履修計画に必要な資料と見方のポイント | 19 |
| 教育課程表 | 20 |
| シラバス | 21 |
| ルーブリック | 23 |
| ナンバリングコード | 24 |
| 開講授業一覧 | 25 |
| 授業を選ぶときに確認してほしいこと | 26 |
| 各資料のデータ掲載場所 | 28 |

II. 履修登録

| | |
|------------------|----|
| UNIPAでの履修登録について | 31 |
| 履修登録のルール | 31 |
| 履修登録の流れ | 31 |
| 2024年度履修登録スケジュール | 32 |
| UNIPA履修登録の操作方法 | 33 |
| 履修登録時の注意事項 | 37 |
| 履修制限について | 37 |
| よくある質問 | 38 |

III. 履修上の注意（学部専攻科目）

| | |
|------------------------------------|----|
| 法学部 | 41 |
| 卒業要件 | 41 |
| 3年次進級要件 | 41 |
| 科目の分類 | 42 |
| 履修登録ができる科目 | 42 |
| 履修登録単位数の制限 | 42 |
| 履修指定科目【2024年度入学生対象】 | 43 |
| 大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目） | 44 |
| オンラインで実施される授業 | 44 |
| 中国語開講科目 | 45 |
| 2024年度からの新設科目・名称変更等【2023年度以前入学生対象】 | 45 |
| 【演習】科目群の履修について | 46 |
| 経営学部 | 48 |
| 卒業要件 | 48 |
| 3年次進級要件 | 48 |
| 科目の分類 | 48 |
| 履修登録ができる科目 | 49 |
| 履修登録単位数の制限 | 49 |

| | |
|-------------------------------------|----|
| 履修指定科目【2024年度入学生対象】 | 49 |
| 大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目） | 51 |
| 概論科目の1年生のクラス分けについて【2024年度入学生対象】 | 51 |
| オンラインで実施される授業 | 52 |
| 中国語開講科目 | 53 |
| 2024年度からの新設科目・名称変更等【2023年度以前入学生対象】 | 53 |
| 【演習】科目群の履修について | 54 |
| 健康栄養学部 | 56 |
| 卒業要件 | 56 |
| 3年次進級要件 | 56 |
| 科目の分類 | 56 |
| 履修登録ができる科目 | 57 |
| 履修登録単位数の上限 | 57 |
| 履修指定科目【2024年度入学生対象】 | 57 |
| 大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目） | 57 |
| オンラインで実施される授業 | 58 |
| 科目区分ごとの注意事項 | 58 |
| 国家試験の受験に向けて履修が必要な科目およびその他要件 | 59 |
| 2024年度からの新設科目・名称変更等【2023年度以前入学生対象】 | 59 |
| スポーツ科学部 | 60 |
| 卒業要件 | 60 |
| 3年次進級要件 | 61 |
| 科目の分類 | 61 |
| 履修登録ができる科目の制限 | 62 |
| 履修登録単位数の上限 | 62 |
| 履修指定科目【2024年度入学生対象】 | 62 |
| 大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目） | 63 |
| コース選択および変更方法【2022年度以前入学生対象（新3年生以上）】 | 63 |
| 2024年度からの新設科目・名称変更等【2023年度以前入学生対象】 | 64 |

IV. 履修上の注意（学部専攻科目以外）

| | |
|--|----|
| 人文・社会・自然科学 | 69 |
| ICTスキル | 69 |
| 言語スキル | 70 |
| ヒューマンスキル | 70 |
| 国際共修 | 71 |
| 語学（英語） | 71 |
| 語学（日本語）【外国人留学生（外国人留学生入学者選抜にて入学した学生）対象】 | 71 |
| 語学（中国語） | 71 |
| スポーツ | 72 |
| キャリア形成支援 | 72 |
| オンラインで実施される授業 | 73 |
| 2024年度名称変更・廃止等科目一覧 | 74 |
| 2024年度休講科目一覧 | 75 |

V. 授業を受ける前に確認しておくこと

| | |
|-----------|----|
| 授業の出席方法 | 79 |
| 授業情報の確認方法 | 81 |
| 時間割の確認方法 | 81 |
| 教室について | 82 |

| | |
|--------------------------------------|----|
| 教員からの授業に関する連絡 | 82 |
| オンライン授業を受講するときの注意点 | 84 |
| オンライン授業となる場合 | 84 |
| キャンパス内でオンライン授業を受講する場合 | 84 |
| 教員への問合せ方法 | 85 |
| オフィスアワー | 85 |
| UNIPA授業 ―Q&A登録 | 85 |
| クラスプロファイル | 86 |
| ライティングサポートデスク | 88 |
| ライティングサポートデスクの活動 | 88 |
| 利用案内 | 88 |
| 利用シミュレーション | 88 |
| グローバルラーニングセンター | 89 |
| English Cafe/Japanese Cafe | 89 |
| YGUグローバル・エキスパート認定制度（※2022年度以降の入学生対象） | 89 |
| 総合図書館 | 90 |

VI. 教職課程

| | |
|---------------------------------------|-----|
| 教職課程について | 95 |
| 取得できる免許状 | 95 |
| 教職課程のスケジュール（標準的な履修） | 95 |
| 教職課程の受講料 | 96 |
| 教職課程の履修方法 | 96 |
| 介護等体験実習 ※対象:中学校教諭一種免許状（社会）（保健体育）取得希望者 | 107 |
| 教育実習 | 108 |
| 教員免許状の交付 | 111 |
| 教職課程に関する窓口 | 111 |

VII. 資格取得

| | |
|--|-----|
| 取得できる資格の種類 | 115 |
| 資格に関する問合せ先 | 115 |
| A. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（対象：法学部・経営学部・健康栄養学部） | 116 |
| B. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（対象：スポーツ科学部） | 118 |
| C. パラスポーツ指導員 | 124 |
| D. トレーニング指導者（JATI） | 126 |
| E. 健康運動指導士、健康運動実践指導者 | 128 |
| F. JPSUスポーツトレーナー | 131 |
| G. JFA公認C級コーチ | 135 |

| | |
|---------------|-----|
| 2024カリキュラムガイド | 137 |
|---------------|-----|

山梨学院大学 履修ガイドブックについて

本学の教育目標は、「たくましく生きる力」を育成することです。

様々な分野で活躍する教員からの新たな学び、様々なバックグラウンドをもつ人との出会いを創出するキャンパス、山梨学院大学で何を学びたいか、自信をもって社会にでるために、自ら考え、自らアクションをおこしてください。

この履修ガイドブックは、山梨学院大学で学んでいく上で、大切な履修に関するルール、手続き、制度をまとめたものです。

2024年度の履修登録や授業科目に関すること等については、このガイドブックを基に自分自身で確認し手続きを進めてください。

- *本履修ガイドブックは、2024年3月1日時点での情報であり、変更の可能性があります。
- *本文中の「教務課」は、2024年度4月1日より「学習センター」に改称予定です。
- *国際リベラルアーツ学部国際リベラルアーツ学科については別冊としています。

建学の精神・教育の理念・教育目標

建学の精神

山梨学院大学廿年誌（1966年発行）より

本学ハ日本精神ヲ主義トスル
本学ハ祖国ノ指導者養成ヲ旗幟トスル
本学ハ徳ヲ樹ツルコトヲ理想トスル



青年に望む

山梨学院大学廿年誌（1966年発行）より

- 青年よ 読書に励み 己を磨け
- 青年よ 未来に備え 体をつくれ
- 青年よ 歴史を学び 知識をひらけ
- 青年よ 世界を知って 大志を抱け

古屋 眞一

信条

山梨学院大学廿年誌（1966年発行）より

智と情と勇気をそなえ、実践を貴んで、
社会に貢献する女性を育成したいと思います。

古屋喜代子

教育理念

山梨学院大学は広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、
創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成する。

教育目標

「たくましく生きる力」を育成すること。

学則における目的及び教育目標

第1条 本大学は、法令の定めるところに従い法学、経営学、栄養学、国際リベラルアーツ及びスポーツ科学の分野の教育研究を通じて、広い国際的視野を持ち、実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。この目的のため、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

三つの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を取得することを大学の学位授与方針とする。

DP 1 「実践的な知識と技能」を備え「創造力と行動力」を発揮して社会に貢献する基盤が身についている。

DP 2 多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。

DP 3 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。

DP 4 自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

〈教育内容〉

①学部専攻科目においては、DP 1に掲げられた「実践的な知識と技能」および「創造力と行動力」を身につける。

②学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学DPに掲げられた能力を身につける。

〈教育方法〉

①講義系の科目においては、知識と技能を伝授するだけでなく、知識と技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。

②演習系科目においては、創造力と行動力を育成するために、プロジェクト型学習等を実施する。

〈評価方法〉

①講義系の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。

②演習系科目では、プロジェクトの実行過程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。

③各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。

④卒業判定は、各学部の履修規程に定められた基準によって行う。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

①知識・技能

各学科での学びにつながる基礎学力を備えている人

②思考力・判断力・表現力等の能力

問題を多角的にとらえて、適切に判断し表現することができる人

③主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ態度

目標・目的を定めて向上心を持って成長しようとする人

教育研究上の目的および教育目標

山梨学院大学法学部は、法、政治、行政及び隣接領域に関する教育研究活動を通じて、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。

この目的のため、ルールを創造的に活用し、問題解決に積極的に取り組むことができる能力を培うことで、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする。

| ディプロマ・ポリシー | |
|------------|---|
| DP 1 | <p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①法学、政治学、行政学および隣接領域領域の専門的知識、思考・分析スキルを修得し、民主主義社会の基本的価値を背景とするルールの創造的活用による問題解決を志向することができる（把握する力）。</p> <p>②社会の諸問題を理解するために、情報通信技術（ICT）を活用して必要な情報を収集し、論理的な分析（読解・思考・表現）をすることができる（考え抜く力）。</p> <p>【創造力と行動力】</p> <p>③グループ活動やディスカッションを通じた問題解決や意思決定に主体的に参加することができる（協調する力）。</p> <p>④自己および社会を改善するために挑戦を続けることができる（挑戦する力）。</p> <p>⑤説明・提案を行うためのプレゼンテーションスキルを持ち、問題・課題の解決のために主体的に行動することができる（行動する力）。</p> |
| DP 2 | 多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。 |
| DP 3 | 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。 |
| DP 4 | 自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。 |

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

| カリキュラム・ポリシー | |
|-------------|--|
| 教育内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部専攻科目においては、法学、政治学、行政学および隣接領域における専門知識、思考・分析スキルを学ぶ。またそれらを通じて、民主主義社会における基本的価値への理解を深め、ルール of 創造的活用による問題解決の能力を養成する。 2. 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学 DP に掲げられた能力を身につける。 |
| 教育方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学、政治学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2. 演習系科目においては、情報収集・論理的思考、ディスカッション、プレゼンテーション技能と創造力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。 |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学、政治学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2. 演習系科目では、プロジェクトの実行課程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3. 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4. 卒業判定は、法学部履修規程に定められた基準によって行う。 |

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

| アドミッション・ポリシー | |
|---|---|
| <p>本学および法学部法学科の教育理念・教育目標のもと、法学部では、次のような能力や態度を身に付けている人物を求める。</p> | |
| 基礎的な知識技能 | <p>大学での学修で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、特に国語、外国語、数学の履修などを通じた読解力や思考力、コミュニケーション能力、地理、歴史、公民の履修などを通じた現代社会の仕組みや問題について一定の知識を備えた人</p> |
| 思考力・判断力・表現力等の能力 | <p>社会で起きているさまざまな出来事に対する好奇心を持ち、問題に対して、知識や情報に基づいて筋道を立てて考え、その内容と結論を説明できる人</p> |
| 主体性・多様性・協働性 | <p>学校運営、クラス運営、クラブ活動、ボランティア活動などを通じて、多様な人々と協働しようとする姿勢や、資格取得など自分自身を成長させようとする向上心を持ち、目標に向けて主体的・積極的に学ぼうとする意欲を持っている人</p> |

教育研究上の目的および教育目標

山梨学院大学経営学部は、経営学、マーケティング、会計学、経済学等に関する教育研究活動を通じて、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。

この目的のため、自他や社会が抱える未解決の課題に果敢に挑戦することを通して、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする。

| ディプロマ・ポリシー | |
|------------|---|
| DP 1 | <p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①経営・マーケティング・会計・経済の実践的な知識・技能の活用力を身に付け、社会の諸問題を複合的な視点から考察することができる（把握する力）。</p> <p>②社会の諸問題を理解するために、情報通信技術（ICT）を活用して必要な情報を収集し、論理的・批判的に思考し、創造的に判断することができる（考え抜く力）。</p> <p>【創造力と行動力】</p> <p>③グループ活動やディスカッションを通じて課題解決に主体的に参加することができる（協調する力）。</p> <p>④自己および社会を改善する方法を考え、それを実現するために失敗と挑戦を繰り返すことができる（挑戦する力）。</p> <p>⑤説明・提案を行うためのプレゼンテーションスキルを持ち、問題・課題の解決のために主体的に行動することができる（行動する力）。</p> |
| DP 2 | 多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。 |
| DP 3 | 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。 |
| DP 4 | 自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。 |

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

| カリキュラム・ポリシー | |
|-------------|--|
| 教育内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部専攻科目においては、経営学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、演習系科目では、プロジェクト型学習を通じて、調査・企画立案・プレゼンテーションの技能とプロジェクトを実行する創造力・行動力を身につける。 2. 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学 DP に掲げられた能力を身につける。 |
| 教育方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2. 演習系科目においては、調査・企画立案・プレゼンテーションの技能と創造力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。 |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2. 演習系科目では、プロジェクトの実行課程における行動評価とプロジェクトの成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3. 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4. 卒業判定は、経営学部履修規程に定められた基準によって行う。 |

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

| アドミッション・ポリシー | |
|---|--|
| 経営学部では、地域経済の担い手として、人々から信頼され、社会において幅広い分野で活躍できる自律的な能力を持った人を育成するため、高い知的好奇心に支えられた基礎的な学力を持った入学者を求める。 | |
| 基礎的な知識技能 | 大学での学修で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、特に、国語（文章の読解や作成）、数学（論理的思考や計算）、地理・歴史・公民（社会の仕組みの理解）の基礎知識を備えた人 |
| 思考力・判断力・表現力等の能力 | 大学での学修で必要となる基礎的・基本的な知識・技能、特に、国語（文章の読解や作成）、数学（論理的思考や計算）、地理・歴史・公民（社会の仕組みの理解）の基礎知識を備えた人 |
| 主体性・多様性・協働性 | 幅広い分野に興味・関心を持って積極的に大学での学修に取り組み、教員・学生・社会人と円滑にコミュニケーションをとって自ら進んで学ぼうとする意欲を持った人 |

教育研究上の目的および教育目標

山梨学院大学健康栄養学部は、栄養学、食品学、栄養マネジメント、給食経営管理に関する教育研究活動を通じて、広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。

この目的のため、健康の保持増進・疾病の予防と改善を目指す栄養管理遂行能力と、地域社会の食生活と健康の向上に貢献する資質を養うことで、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする

| ディプロマ・ポリシー | |
|------------|--|
| DP 1 | <p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①管理栄養士として保健・医療・教育・福祉・介護等の多様な領域で必要とされる専門的な知識・技能を修得し、多角的な視点から社会の課題を分析・考察することができる（把握する力）。</p> <p>②食と健康にかかわる課題を解決するための論理的・創造的な思考力を身につけている（考え抜く力）。その思考を適切に言語整理し、情報通信技術（ICT）等を活用しながら他者とやり取りすることができる。</p> <p>【創造力と行動力】</p> <p>③管理栄養士の社会的使命を自覚して健康と生命に対する倫理観を有し、人々の多様な社会的・文化的背景を理解しようとする意欲を持っている（協調する力）。</p> <p>④自己を自覚して新しい知識・技能の習得に努め、それらを総合的に活用して社会に貢献しようとする意欲を持っている（挑戦する力）。</p> <p>⑤考えを的確に表現し、他者と協同して社会で役立つ成果を生み出すことができる（行動する力）</p> |
| DP 2 | 多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。 |
| DP 3 | 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。 |
| DP 4 | 自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。 |

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

| カリキュラム・ポリシー | |
|-------------|--|
| 教育内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部専攻科目においては、管理栄養士として国民の健康栄養管理を担う意欲と質の高い専門知識・技術を養い、優れた栄養指導能力を身につける。また、地域に対応した健康増進および食育推進、食産業振興などの実践的な活動を展開できる能力を身につける。 2. 学部専攻科目以外（語学を含む）においては、社会を築く構成員としての幅広い教養を養い、大学で学ぶためのスキルと思考力、対人関係力、情報と機器を十分に活用できる能力を身につける。 |
| 教育方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部専攻科目の講義を基本とする科目においては、専門知識や技術を伝授するだけでなく、その知識と技術の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2. 栄養管理の実践に関わる実験・実習・演習系科目（ゼミを含む）においては、知識や技術の習得に加えて、目標達成に向けた情報収集、計画・企画立案、プレゼンテーション、創造力・統率力・行動力を育成するために、プロジェクト型学習を実施する。 |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 講義を基本とする科目においては、知識の定着を測ることに加えて、その活用力も評価する。 2. 実験・実習・演習系科目では、プロジェクトの実行過程における行動とプロジェクトの成果に対するパフォーマンスで評価する。 3. 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4. 卒業判定は、健康栄養学部履修規程に定められた基準によって行う。 |

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

| アドミッション・ポリシー | |
|-----------------|--|
| | 健康栄養学部では、食と健康を理解するうえで重要となる科学の基礎的な知識、また情報を正確に取得把握し分析する能力、および、栄養管理と給食経営管理を可能とする数的処理能力を身につけている人物を求める。 |
| 基礎的な知識技能 | 健康の保持増進、疾病の予防と改善、栄養支援などの専門的な知識を学ぶ上で重要となる生物や化学、数学などの基礎学力および国語の文章読解力を備えている人 |
| 思考力・判断力・表現力等の能力 | 食と健康に関わる課題の解決に必要な情報収集・分析能力や、具体的な提案に展開できる思考力判断力を備え、自己の考えを論理的に述べることができる人 |
| 主体性・多様性・協働性 | 保健・医療・教育・福祉・介護の分野で活躍する専門職に就くという明確な目標と学問に取り組む強い意欲、向上心を有し、主体的に地域の課題を捉えて社会に貢献しようとする人 |

教育研究上の目的および教育目標

山梨学院大学スポーツ科学部は、スポーツ科学の学際的視点にもとづく理論と実践に関する教育研究活動を通じて広い国際的視野を持ち実践的な知識と技能を備え、創造力と行動力を発揮して理想の未来を創る人材を育成することを目的とする。

この目的のため、自他や社会における課題を複合的な視点から捉え、その解決に向けて取り組むことを通して、たくましく生きる力を育成することを教育目標とする。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

山梨学院大学では、「『たくましく生きる力』を育成すること」を達成するために、学生が以下の能力を修得することを大学の学位授与方針とする

| ディプロマ・ポリシー | |
|------------|---|
| DP 1 | <p>【実践的な知識・技能】</p> <p>①スポーツ科学の学際的知識をもとに幅広い教養を修得し、社会を複眼的に捉えることができる（把握する力）。</p> <p>②スポーツの文化的価値の理解と言語スキルの習得を基盤とし、情報通信技術（ICT）等を活用しながら様々な事象に対して論理的・批判的・創造的に思考し、判断することができる（考え抜く力）。</p> <p>【創造力と行動力】</p> <p>③スポーツの社会的意義を学んで多様な価値観を受容し、他者を尊重して協働する態度を身に付け、高い倫理観を備えることができる（協調する力）。</p> <p>④実体験を通じて獲得したスポーツの実践力を活かし、主体的に自身の成長と社会の持続的発展に寄与しようとする（挑戦する力）。</p> <p>⑤スポーツ科学を通じて得た知見を国内外に発信し、あらゆるフィールドにおける課題の解決に活かすことができる（行動する力）。</p> |
| DP 2 | 多様な背景を持つ人たちと、母語や母語以外の言語で、目的に応じた意思疎通ができる。 |
| DP 3 | 自ら目標を設定し、達成するまでやり抜こうとする姿勢を持つ。 |
| DP 4 | 自己を理解し、他者との良好な関係性を構築しながら、自らの思考と行動を決定できる。 |

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に基づき、以下のとおり教育課程を編成・実施する。

| カリキュラム・ポリシー | |
|-------------|--|
| 教育内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学部専攻科目においては、スポーツ科学と隣接領域に関する実践的な知識・技能の活用力を学ぶ。また、実技・演習系科目では、各競技や各分野の実技・実践を通じて、創造力・行動力・指導力を身につける。 2. 学部専攻科目以外においては、各科目群の履修を通じて、全学 DP に掲げられた能力を身につける。 |
| 教育方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ科学と隣接領域の科目においては、講義によって知識・技能を伝授するだけでなく、知識・技能の活用力を育成するためにアクティブラーニング手法を用いた授業を実施する。 2. 実技・演習系科目においては、各競技や各分野の実践を通じて、創造力・行動力・指導力を育成するために、実践型学習を実施する。 |
| 評価方法 | <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ科学と隣接領域の科目においては、知識・技能の定着を測るだけでなく、知識・技能の活用力をパフォーマンスで評価する。 2. 実技・演習系科目では、実行過程における行動評価と指導の成果に対するパフォーマンス評価を行う。 3. 各授業の評価基準はシラバスと授業ルーブリックによって定める。 4. 卒業判定は、スポーツ科学部履修規程に定められた基準によって行う。 |

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

山梨学院大学では、学位授与方針に照らして、次のような意欲と能力を持つ学生を受け入れる。

| アドミッション・ポリシー | |
|---|--|
| <p>スポーツ科学部で求める人物は、ルールやマナーを尊重し、「大学生活をとおして幅広い教養と豊かな人間性を身に付けたいと願っている人」、「スポーツを行うこと、見ること、支えること、教えることなどに興味・関心がある人」を前提とする。</p> | |
| 基礎的な知識技能 | 大学での学修で必要となる基礎的・基本的学力、運動能力を備えている人 |
| 思考力・判断力・表現力等の能力 | スポーツや体育、健康に関わる今日的な課題を多角的に捉え、判断し、表現することができる人 |
| 主体性・多様性・協働性 | <p>周囲と協働しながら、以下に示す課題を達成しようとする人</p> <ol style="list-style-type: none"> ①授業やスポーツクラブの活動をとおして、競技力や運動能力をさらに高めること。 ②授業やスポーツクラブの活動をとおして、スポーツ科学の知と技（指導能力、研究能力、科学的サポート能力、マネジメント能力など）を実践的に身に付けること。 ③大学生活で得た学修成果を、国内外のさまざまなスポーツ関連分野において活かすこと |

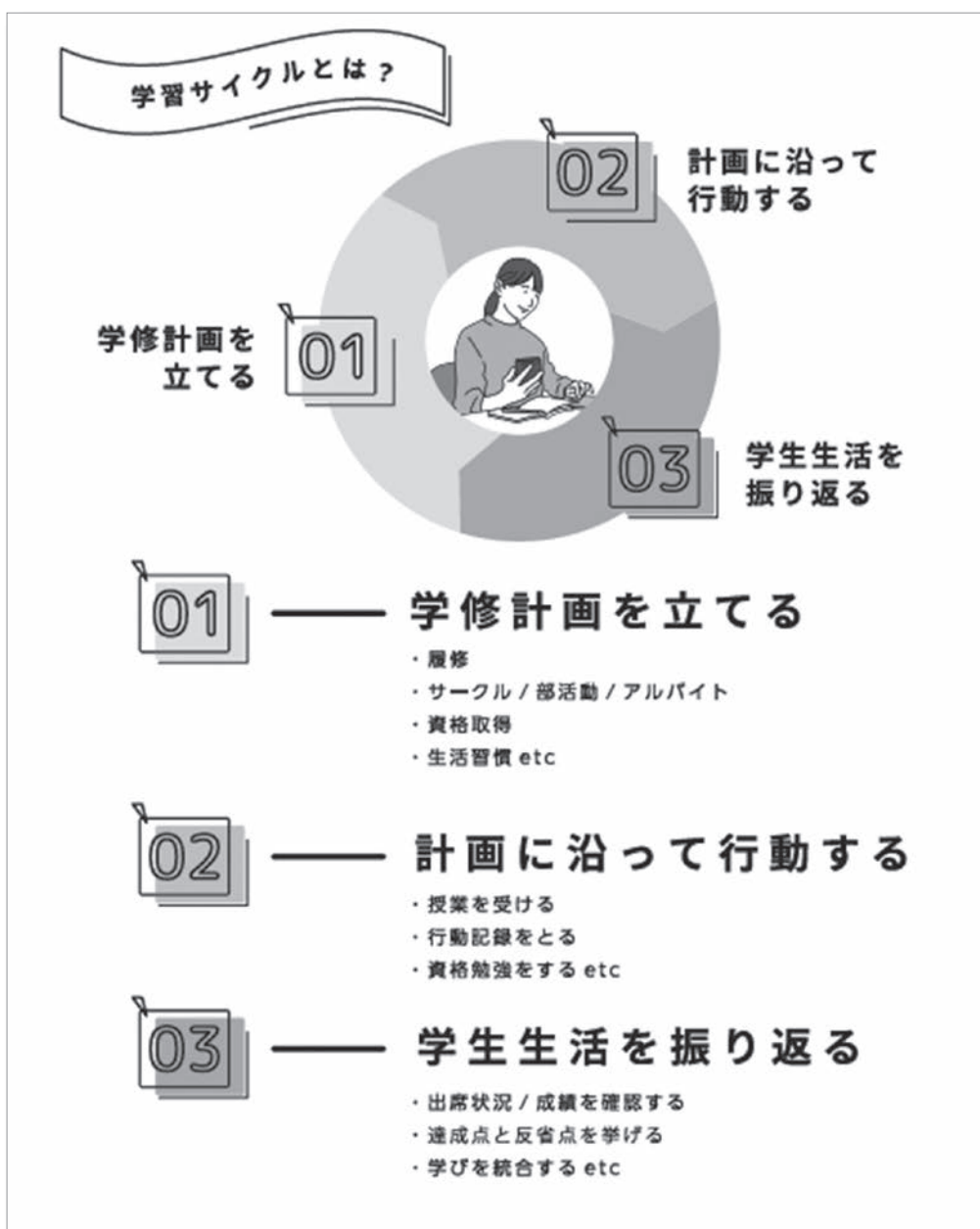
I 履修計画

1章 履修計画

大学で学ぶということ

大学での学びは、決められた時間割に従っていた高校までとは異なり、学修計画を自分で決める必要があります。

履修計画を立てるうえで重要なことは、4年間で自身がどんなことを学びたいのか、卒業したときにどんな姿でありたいかを考えて学修計画を立てることです。各ルールの理解はもちろんのこと、自身の興味関心や卒業後の進路等を考えながら、学修活動を進めていきましょう。



履修計画のサイクル

4年間の大学での学修の中心は、大学で受ける授業です。

自身がどんな分野の学修をしたいのかを考えながら学修を進めると同時に、4年間で卒業できるよう計画的に学修を進める必要があります。

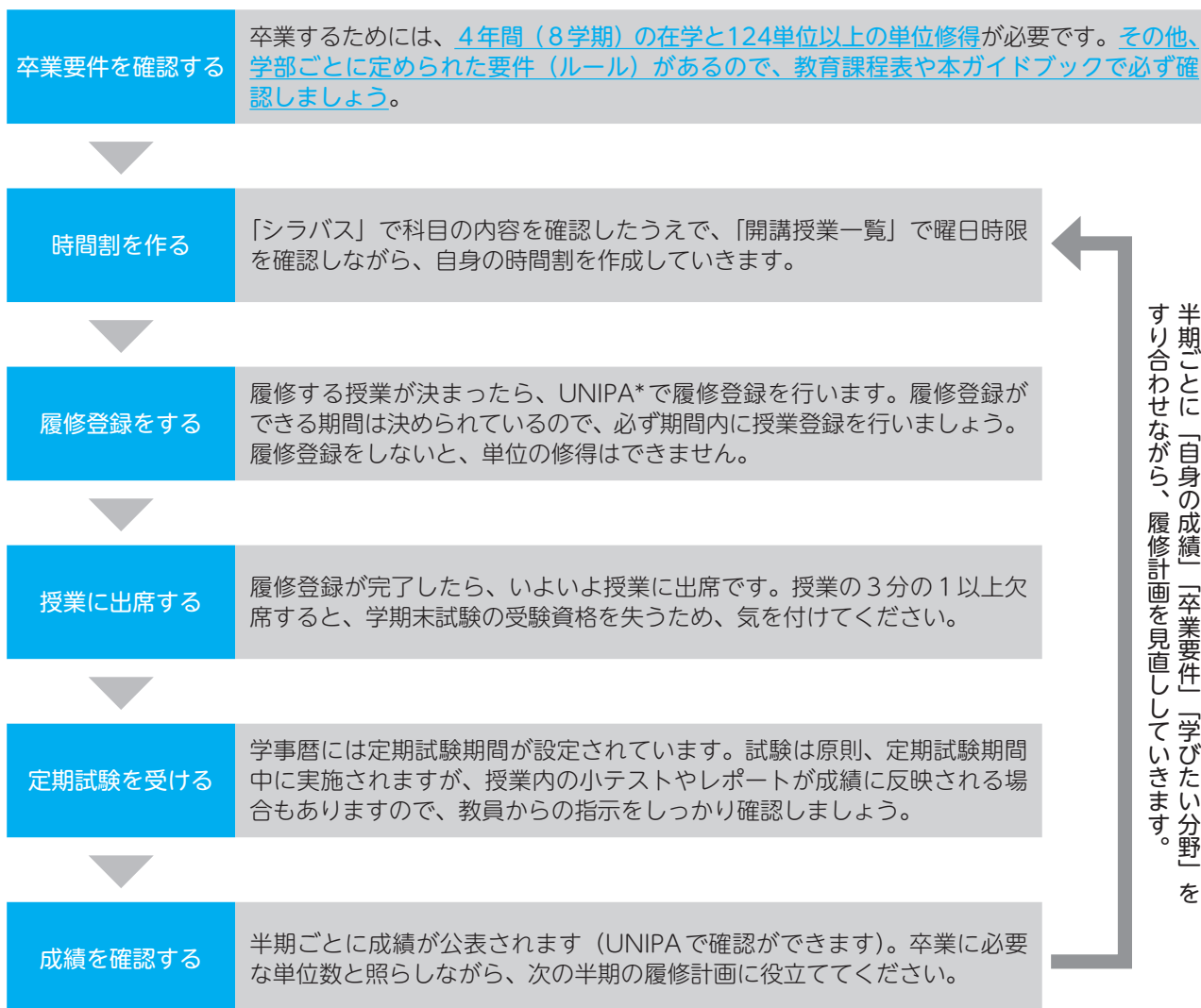
単位制について

大学では「単位制」を採用しています。すべての授業には、「単位」が割り当てられており、授業を受けて（履修）、試験に合格すると、割り当てられた単位を修得することができます。1単位を修得するためには、実際の授業時間に加えて、授業外学修時間（予習・復習時間）を含めて、45時間の学修が必要とされています。授業に出席するだけでなく、予習や復習を行い、知識やスキルの修得を行ってください。

【重要】すべての学生は、卒業するために、4年間（8学期）の在学と124単位の修得が必要です。

履修計画の流れ

授業は半期ごと（前期・後期）に実施されます。半期ごとに自身の学修状況を振り返りながら、計画的に学修を進めましょう。



本学カリキュラムの仕組み

本学の科目は、大きく分けて、2つの区分に分けられます。(科目区分、といいます。)

学部専攻科目 (学問分野別科目群)

入学した学部の学位取得のため、それぞれの学部の専門分野の知識・技能に関する科目群の集まり。

学部専攻科目以外 (スキル系科目群)

上記以外の科目群の総称。ICTや文章作成など、社会で働くうえで必要とされるスキル群の集まり。

「学部専攻科目」は、入学した学部により、履修できる分野が異なります。学部ごとに定められた必修要件（必ず守らなければならないルール）があるので、それを踏まえたうえで履修計画を立ててください。「学部専攻科目以外」の分野は、すべての学部の学生が自由に履修をすることができます。自身の興味関心にあわせて、ひとつの分野を集中的に学修することも可能です。



「カリキュラムガイド」で詳しい情報をチェックしてみよう！

巻末に掲載している「カリキュラムガイド」には、各科目群のより詳細な内容が掲載されています。科目群の説明のほかに、[先生からのメッセージ](#)や[特長的な科目](#)が紹介されていますので、履修計画の参考にしてください。「カリキュラムガイド」は本ガイドブックの巻末に掲載しています。科目選びの際は、ぜひ参考にしてください。

履修計画に必要な資料と見方のポイント

卒業に必要な単位を修得するためには、自身で半期ごと（年2回）に時間割を作成し、UNIPAで履修登録を行うことが必要です。前期、後期がはじまるときには、これから説明する資料を確認しながら、自身の時間割を作ってください。

履修計画を立てるときに準備する資料

- ① 教育課程表
- ② シラバス
- ③ 開講授業一覧

※上記の他に、各学部とも、年度が始まる前に、履修における注意事項や大学からのお知らせ等について、ガイダンスを行います。学生生活を送る上で、必要な情報をお知らせする時間になるので、必ず出席して、履修計画等に役立ててください。

教育課程表

「教育課程表」は、学生のみなさんが4年間で履修ができる科目とそのレベル（履修相当年次）を確認することができます。

学部および入学年度ごとに作成されているので、必ず自身の入学年度の教育課程表を確認してください。

2024年度 教育課程表（サンプル）

| レベル | 100番 | | 200番 | | 300番 | | 400番 | | 卒業要件 |
|-------------|-----------------|------------|-------------------|---------------|------------------|----|------|----|------|
| 区分 | 科目 | 単位 | 科目 | 単位 | 科目 | 単位 | 科目 | 単位 | |
| 学部専攻科目 | <経営学> | | | | | | | | |
| | 経営学概論 | ② | 経営戦略論 | ② | 人的資源管理 | ② | | | |
| | 現代社会とビジネス | ① | 経営管理論 | ② | イノベーション・マネジメント | ② | | | |
| | <マーケティング> | | | | | | | | |
| | マーケティング概論 | ② | 流通論 | ② | リテールマーケティング | ② | | | |
| 学部専攻科目以外 | | | ポーション戦略論 | ② | ブランドマネジメント | ② | | | |
| | マーケティング概論(中国語) | ② | 流通論(中国語) | ② | リテールマーケティング(中国語) | ② | | | |
| | | | ポーション戦略論(中国語) | ② | ブランドマネジメント(中国語) | ② | | | |
| | <政治学> | | | | | | | | |
| | 政治学概論 I | ② | 財政学 A | ② | 国際公共政策 A | ② | | | |
| | 現代中国の政治 | ② | 外交史 A | ② | 国際文化研究 I | ② | | | |
| | 政治学概論 I (中国語) | ② | 国際関係論(概論) I (中国語) | ② | 多国間交渉論 I (中国語) | ② | | | |
| | 日本政治社会論 I (中国語) | ② | 外交論入門 I (中国語) | ② | | | | | |
| | <人文・社会・自然科学> | | | | | | | | |
| | 哲学 I | ② | | | | | | | |
| 歴史学 I | ② | | | | | | | | |
| 論理学 I | ② | | | | | | | | |
| 倫理学 I | ② | | | | | | | | |
| <ICTスキル> | | | | | | | | | |
| ◇ICTリテラシー A | ② | 情報社会の権利と倫理 | ② | ICTの社会活用の実践 A | ② | | | | |
| ◇データサイエンス | ② | 資格情報技術 | ② | | | | | | |

【教育課程表の見方】

- 科目名と、単位数（○で囲まれた数字が単位数になります）が記載されています。基本的に、2単位の科目が多いですが、1単位や4単位などの科目もあります。
- p.19で説明した科目区分（学部専攻科目、学部専攻科目以外）です。
- 学ぶことができる学問領域（科目群）です。詳細は巻末のカリキュラムガイドを参考にしてください。
- 履修年次の目安を示しています。各科目群に配置された科目を、100番台から順番に履修することで、基礎的な内容から段階的に学習を進めることができます。

100番 = 1年次相当、200番 = 2年次相当、300番台 = 3年次相当、400番 = 4年次相当

- 卒業要件が記載されています。学部によって、卒業条件が細かく決まっている場合もありますので、注意しましょう。

シラバス

シラバスには各科目の到達目標や、授業計画（各回の授業内容など）、事前・事後学習の内容、評価方法など、履修にあたり確認しておくべき授業情報が記載されています。履修計画を立てる際には、必ず確認してください。

シラバスは、UNIPAから確認することができます。以下画面から、「シラバス照会」画面に遷移し、自身が確認したい条件を入力して検索してください。

【シラバス照会に関する操作方法】

- ①UNIPAにログインします。
- ②UNIPAの「シラバス照会」メニューを選択します。

- ③科目名、教員名、曜日・時限、キーワードから検索します。

④下にスクロールすると検索条件に該当する授業の一覧が表示されます。

⑤授業科目名を押すことで、シラバスが確認できます。

| 曜日時限 | 授業科目 | 担当教員 | 開講区分 | 開講年度学期 | 単位数 |
|------|-----------------|--------|------|----------|-----|
| 水1 | 日本政治社会論Ⅱ（中国語開講） | 高 蘭 | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |
| 水3 | 警察の研究 | 原 禎嗣 | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |
| 水3 | 国際文化研究Ⅱ | 小菅 信子 | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |
| 水2 | 日本の法と文化（留学生対象） | 熊 達雲 | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |
| 水1 | 企業法B | 齋藤 雅代 | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |
| 水3 | 労働法B | 大島 わかな | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |
| 水2 | 国際私法B | 賈川 和子 | 週間授業 | 2023年度後期 | 2単位 |

【シラバスの見方】

| | |
|---------------------------|---|
| 学期 | 開講学期（前期／後期）などが表示されます。 |
| ナンバリングコード | －（p.24で説明） |
| 科目名称 | 科目名の最後に、数字もしくはアルファベットが付く場合は、以下を参考にしてください。 「Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（数字）」：履修順序を示します。Ⅰから順番に履修することが望ましいです。 「A・B・C（アルファベット）」：科目内容を識別します。それぞれの内容は、シラバスで確認し、履修したい科目を履修してください。Aから順番に履修する必要はありません。 |
| 開講言語 | 授業で利用される言語です。 |
| 担当教員 | 氏名の前に、*が表示されている教員は助手となります。（一部、健康栄養学部の科目） |
| 開講学科 | 履修可能な学科を記載しています。記載のない学科の学生は履修できません。 |
| 科目群 | 教育課程表に記載されている科目群を記載しています。 |
| 曜日時限 | － |
| 履修相当年次 | 履修する年次の目安を示す数字です。1年次の履修が望ましい場合は、1が表示されます。 |
| 単位数 | － |
| 到達目標 | その授業を受けることにより、どのような知識やスキルが身につくのかを記載しています。 |
| 関連DP | 該当科目が、卒業までに身につけるべき能力（DP）のどの項目と関連するかを記載しています。 |
| 授業概要 | 該当科目の授業概要及び授業の目的・意義を簡潔に記載しています。 |
| 利用するアクティブ・ラーニング手法 | 授業内で利用する アクティブ・ラーニング の手法を記載しています。 |
| 授業計画（授業回数） | 各授業回の内容を記載しています。 |
| 授業運営におけるICT活用 | 授業の実施にあたり、授業内でICTツールを活用している場合は、具体的なツールや方法を記載しています。 |
| 事前・事後学習の内容 | 授業を履修するうえで必要な予習・復習の内容および想定される時間および内容を記載しています。 |
| フィードバックの方法 | 学生が提出した課題（試験やレポート等）に関するフィードバックの方法を記載しています。 |
| 評価方法・割合 | 成績評価の方法・割合を記載しています。 |
| テキスト・参考書 | 授業を受講するうえで必要となるテキスト及び参考書を記載しています。 |
| 参考資料・URL | 授業の参考となるサイトや、ホームページ等を記載しています。 |
| 実務経験のある教員による授業科目（実務経験の概要） | 実務経験のある教員が担当者の場合、実務経験の実務実績を記載しています。実務経験がない教員の場合、記載はありません。 |
| 前年度の授業を踏まえた今年度の授業 | 前年度の授業アンケートや学生からの声を踏まえ、24年度に改善したい点、力を入れたい点を記載しています。 |
| 特記事項 | 学生への要望や授業運営上の目標などを記載しています。 |

ルーブリック

すべての授業には、「授業ルーブリック（以下、ルーブリックという。）」を定めています。

ルーブリックは、学生がその授業の中で、何を学ぶのか（評価の観点）と、それぞれの評価の観点に対し、どれくらいのレベルに達したか（評価の尺度）をマトリクスにしたもので、ルーブリックを確認することで、この授業ではどのような評価が行われるか確認することができます。

| | ← 評価の尺度 → | | | | |
|--------|-----------|------------------|----------|-----------|-----------------|
| | S | A | B | C | D |
| 評価の観点1 | 〇〇を発表できる | 全体的な把握が できている | 〇〇を説明できる | 〇〇を理解している | 〇〇を理解できて いない |
| 評価の観点2 | △△を発表できる | 全体的な把握がで きている | △△を説明できる | △△を理解している | △△を理解できて いない |

【授業ルーブリックの確認方法】

- ①シラバスの右上にある“添付資料を確認”を選択します。
- ②青枠を選択することで、資料をダウンロードできます。

| シラバス概要 | | | |
|--------|---|--------|----------------|
| 学期 | 2022年度後期 | ナンバリング | FBA_BA1sem0220 |
| 科目名称 | ビジネス基礎演習Ⅱ | | |
| 担当教員 | 志摩 一孝 | | |
| 履修学科 | 経営学科 | | |
| 科目区分 | 専門教育科目 | 配当年次 | 1年 |
| 科目時間 | 金曜3限 | 単位数 | 2単位 |
| 授業方法区分 | 対面 | 前課科目 | |
| 到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> 山梨学院大学経営学部で学ぶための基礎となるスキルを身につけ、実際に使ってみる【経営学部DP1-①把握する力に対応】 山梨学院大学経営学部で学ぶための基礎となるマインドセットを身につけ、実際に使ってみる【経営学部DP1-②説明する力/挑戦する力に対応】 山梨学院大学経営学部で学ぶための基礎となる行動を身につけ、実際に使ってみる【経営学部DP1-③考案力/実行する力に対応】 自己の成長に興味を持ち、それを大学で実現しようとする【経営学部DP1-④挑戦する力に対応】 | | |
| 関連DP | DP1-④(挑戦する力) | | |
| | ビジネス基礎演習Ⅱでは、ビジネス基礎演習Ⅰで学んだ「プロジェクト」をより現実に近い形で経験することで、実際のビジネスの現場で求められるスキルを学んでいきます。 | | |



| ファイル一覧 | |
|-------------------------------|--|
| 2022Biz基礎演習ルーブリック.pptx (45KB) | |

ナンバリングコード

本学では、教育課程の体系性を明示すること目的として、学修する科目分野や順序等を表すコードを付しています。この、ナンバリングコードは、シラバスに表示されているので、自身が学びたい分野を検索したり、レベル（履修相当年次）を参考に、自身の履修計画を立てましょう。

ナンバリングコードの見方は以下のとおりです。

(例) 科目群：政治学、レベル＝100番（履修相当年次1年生）の科目の場合

PS **1** **01**
 ① ② ③

①科目群略号：

科目群の名前を、アルファベットで示します。
略号の一覧は、右表のとおりです。

②レベル（履修相当年次）：

教育課程表に記載されたレベルを“1桁”で示しています。

| 数字 | レベル | 履修相当年次 |
|----|------|--------|
| 1 | 100番 | 1年次相当 |
| 2 | 200番 | 2年次相当 |
| 3 | 300番 | 3年次相当 |
| 4 | 400番 | 4年次相当 |

③同じ科目群かつレベル（履修相当年次）に配置される科目内の通し番号です。01、02、03…と続きます。

《科目群の略号一覧》

| 区分 | 科目群名 | 略号 |
|----------|------------|--|
| 学部専攻科目 | 政治学 | PS (Political Science) |
| | 法学 | LW (Law) |
| | 経営学 | MGMT (Management) |
| | マーケティング | MKTG (Marketing) |
| | 会計学 | ACCT (Accounting) |
| | 経済学 | ECON (Economics) |
| | 演習 | SEM (Seminar) |
| | 健康栄養学 | HN (Health and Nutrition) |
| | スポーツ科学 | SS (Sports Science) |
| 学部専門科目以外 | 人文・社会・自然科学 | IBL (Inquiry-Based Learning) |
| | ICTスキル | ICT (Information and Communication Technology) |
| | 言語スキル | LNG (Language Skills) |
| | スポーツ | SPORT (Sports) |
| | 国際共修 | ICL (Intercultural Co-learning) |
| | 語学 | ENG (English)、JPN (Japanese)、CHI (Chinese) |
| | キャリア形成支援 | CD (Career Development) |
| 教職課程 | ヒューマンスキル | HMN (Human Skills) |
| | 教職 | EDU (Education) |

開講授業一覧

各授業の曜日・時限、教室、担当教員等を示した一覧です。

基本情報に加えて、履修者を限定する場合などの履修条件を確認することができます。毎学期、履修登録が始まる前に公開されるので、開講授業一覧を確認しながら、自身の時間割を組み立てましょう。

【開講授業一覧（サンプル）】

| 曜日 | 時限 | 科目群 | 授業科目名 | 教員 | 代表教室 | 履修条件 | | | | |
|----|----|------------|-----------|--------------|--------------|--------|-------|-------|-------|------|
| | | | | | | 履修相当年次 | 事前登録有 | 留学生対象 | 中国語開講 | 備考 |
| 集中 | | 人文・自然・社会科学 | 中国の歴史・文化 | 蔣 辛未 | 12-402/9-401 | 1 | | | ○ | 火3金3 |
| 集中 | | 教職 | 教育実習 I | 富永 大悟 | 学外 | 4 | ○ | | | 通年 |
| | | 会計学 | 簿記概論 | 李 会爽 | オンライン | 1 | | | ○ | |
| | | 経済学 | 経済学概論 | 今井 久 | オンライン | 1 | | | | |
| | | 法学 | 犯罪政策 A | 西尾 憲子 | 16-201 | 2 | | | | |
| 月 | 2 | 経済学 | ミクロ経済学 | 阮 玉玲 | 16-301 | 2 | | | ○ | |
| | | 演習 | ゼミナール入門 I | 別紙参照 | | 2 | ○ | | | |
| | | 政治学 | 国際地域研究 I | Ahmed Sajjad | 16-102 | 2 | | | | |
| | | 法学 | 知的財産法 | 實川 和子 | 16-202 | 3 | | | | |
| | | 人文・自然・社会科学 | 歴史学 I | 小菅 信子 | オンライン | 1 | | | | |

【各項目について】

| | |
|--------|--|
| 曜日／時限 | 授業の開講曜日、時限を記載しています。 |
| 科目群 | 科目が属する科目群（学部領域）を記載しています。 |
| 授業科目名 | 授業科目名を記載しています。 |
| 教員 | 授業担当教員を記載しています。 |
| 代表教室 | 授業を行う教室です。授業回により複数教室利用する場合やオンラインと併用する場合がありますので、適宜担当教員の指示に従ってください。 |
| 履修相当年次 | レベルおよび履修相当年次の目安を記載しています。 (100番 = 1年次相当、200番 = 2年次相当、300番台 = 3年次相当、400番 = 4年次相当) |
| 事前登録有 | 履修登録期間前に、教務課で履修登録を事前に行う科目です。 |
| 留学生対象 | 日本語科目など外国人留学生が対象の授業です。日本人学生は履修することができません。 |
| 中国語開講 | 中国語で実施される授業です。 |
| 備考 | 上記以外で、履修にあたって考慮すべき情報を記載しています。 例：履修可能な年次や学生の条件、週2回授業、通年授業など |

【開講授業一覧に関する留意事項】

前期および後期開始当初「開講授業一覧」の情報は、都度変更が発生する可能性があります。変更情報は、UNIPAにて随時お知らせいたします。

授業を選ぶときに確認してほしいこと

①「履修指定科目」は、1年次に必ず履修・修得しましょう。

「履修指定科目」は、本学で4年間の学修活動を送るにあたって基礎的な能力・スキルを身に付けることを目的に、学部ごとに履修することが指定された科目のことを呼びます。指定された科目はすべて履修を行ってください。

履修指定科目に関する履修上の注意

- ①履修指定科目は、学期開始前にクラス分けを行います。指定されたクラスで履修を行ってください。
- ②単位修得は必須ではありません。成績が不合格（単位を落とす）の場合でも、再履修の必要はありません。
- ③履修指定科目は、1年次（入学年度）のみ履修が可能です。2年次以降は、原則履修をすることはできません。成績が不合格の場合、GPAにも影響があるため、極力、1年次に単位修得を行ってください。
- ④履修指定科目は、教育課程表の科目名の先頭に◆印がついています。

各学部の履修指定科目については、本ガイドブック「3章 履修上の注意（学部専攻科目）」を参照してください。

②各科目群は、100番台から順番に学修しましょう。

履修は、100番台から順番に履修を進めることで、特定の科目群の内容を段階的に学ぶことができます。1年次であっても、200番台、300番台のレベルの科目を選択することも可能ですが、必ずシラバスを読んで、自身のレベルと科目のレベルを確認し、履修登録をして下さい。

レベル（履修配当年次）は、教育課程表、シラバス、履修登録画面から確認できます。

| レベル | 履修配当年次 |
|------|--------|
| 100番 | 1年次相当 |
| 200番 | 2年次相当 |
| 300番 | 3年次相当 |
| 400番 | 4年次相当 |

| レベル | 100番 | | | 200番 | | |
|-----|------------------|----|---------|------|-------------|----|
| 区分 | 科目 | 単位 | 科目 | 単位 | 科目 | 単位 |
| ◆ | 経営学概論 | ② | ビジネスゲーム | ② | 経営戦略論 | ② |
| | 現代社会とビジネス | ② | | | 経営管理論 | ② |
| | | | | | アントレナチャーシップ | ② |
| | | | | | eビジネス論 | ② |
| ◆ | 経営学概論(中国語) | ② | | | 経営学概論(中国語) | ② |
| | 日本のビジネス(中国語)(体験) | ② | | | 経営学概論(中国語) | ② |

①教育課程表のレベル表示

レベルが履修配当年次の目安を示しています。

②シラバス照会

ナンバリングコードと履修配当年次より確認ができます。

例：経営学概論 ナンバリングコードMGMT101

MGMT 1 01

教育課程表に記載されたレベルを1桁で表示

| | | | |
|--------|--|-----------|---------|
| 学年 | 2023年度後期 | ナンバリングコード | MGMT101 |
| 科目名称 | 経営学概論 | | |
| 担当教員 | 野村 千佳子 | | |
| 履修学年 | 経営学科 | | |
| 科目群 | 経営学 | 履修配当年次 | 1年 |
| 履修時間 | 火曜1時 | 単位数 | 2単位 |
| 授業方法区分 | オンライン | | |
| 到達目標 | ① ビジネスを創造するための様々な仕組みの存在を知り、特に重要なものの内容と意義を理解する。(経営学科D P1-①把握する力と関連) ② 企業を取り巻くステークホルダーやライバル、顧客といった外部環境との関わりを理解する。(経営学科D P1-①把握する力と関連) ③ 「経営」という行為がどのようなものかを理解する。(経営学科D P1-①把握する力と関連) ④ 単年の概念を使って簡単な経営分析や経営企画ができる。(経営学科D P1-②考え抜く力及び③実践する力と関連) | | |

| 授業科目 | 教員氏名 | 教室 | 単位数 |
|------------------------|---------------------|--------|-----|
| 61-1-010 経営学概論 | 野村 千世子 | オンライン | 2 |
| 62-1-057 マーケティング概論 | 伊東 洋晃 | オンライン | 2 |
| FE-1-204 コミュニティ基礎 | ALBUQUERQUE Alberto | 9-303 | 2 |
| G-2-042 ビジネス・コミュニケー... | 立石 美子 | 12-304 | 2 |

③履修登録画面の授業コード

履修科目を選択する際に表示される授業コードより、レベル（履修相当年次）を確認できます。

例：経営学概論 授業コード 61-1-010

61-1-010

↓
教育課程表に記載されたレベルを1桁で表示

③一度修得（合格した科目）をあらためて履修することはできません。

単位修得した科目は、再履修はできません。名称変更があった場合、成績表には修得した時点の科目名が表示されます。

履修登録の際、科目についての変更点等は各学部の「科目変遷表」を各自で確認の上、履修登録を行って下さい。「科目変遷表」は、入学した年度から卒業するまでの間の科目変更（変遷）を一覧にした表です。

入学時に開講していた科目が廃止になったり、名称変更が発生した場合、もしくは在学期間中に新しく設置された科目など、在籍4年間の科目の変化を確認することができます。

「科目変遷表」は、毎年度が始まる前に、「教育課程表」と一緒に公開されます。前年度からの変更点を確認する際に、参考にしてください。なお、1年生には、前年度の教育課程表が存在しないので、「科目変遷表」はありません。

2024年度 科目変遷表（サンプル）

【2022年度入学生対象】

| 科目区分 | 科目分類 | 2023年度（1年次） | 2024年度（2年次） | 2023年度 変更事項 | 履修についての注意事項 |
|----------|------|-------------------|------------------|----------------|---------------|
| | | 授業科目名 | 授業科目名 | | |
| 学部専攻科目 | 政治学 | <探究>から区分変更 | 現代中国の社会・経済 | 区分 | |
| 学部専攻科目 | 政治学 | 地域政治論 | 2023年度廃止 | 廃止 | |
| 学部専攻科目 | 法学 | 憲法Ⅰ | 憲法A | 名称 | |
| 学部専攻科目 | 法学 | 憲法Ⅱ | 憲法B | 名称/単位 | 2単位→4単位の単位変更。 |
| 学部専攻科目 | 法学 | インターンシップ（公務） | <キャリア形成支援>に区分変更 | 区分 | |
| 学部専攻科目以外 | 経営学 | — | 経営学概論 | 新設 | |
| 学部専攻科目以外 | スポーツ | スポーツと健康（バスケットボール） | スポーツ実践（バスケットボール） | | |

【科目変遷表で示される区分（上記、「変更事項」に記載される区分）】

- 新 設：新年度に新しく科目が設置された場合
- 廃 止：新年度に科目が廃止になった場合
- 休 講：新年度に科目が休講になった場合
- 名 称：前年度から科目名称が変わった場合
- 単 位：前年度から単位数が変わった場合
- レ ベ ル：前年度から科目の「レベル（履修相当年次）」が変更となった場合
- 区 分：前年度から科目の所属する科目区分もしくは科目群が変更となった場合

各資料のデータ掲載場所

学生向けポータルサイト（事務系）には、規程、ガイダンスの資料や各種手続きの様式等が格納されていますので、必要に応じて、ご活用ください。本ガイドブックで説明する資料は、すべて以下のサイトに学部ごとに掲載します。

学生向けポータルサイト（事務系）

https://ygustudents.sharepoint.com/sites/students_content



Ⅱ

履修登録

2章 履修登録

UNIPAでの履修登録について

履修登録はあらかじめ決められた期限内にUNIPAから行います。**履修登録を行わないと授業を受けていても単位を修得することができません。**各学期が始まる前には必ず履修登録を行ってください。

履修登録のルール

履修登録の基本的なルールは以下の通りです。

- ① 正当な理由なく所定の期日までに履修登録を行わないと除籍の対象となります。
- ② 履修登録修正期間終了後に科目の変更はできません。
- ③ 単位を修得した科目をもう一度履修することはできません。
- ④ 同じ時限に重複して履修登録をすることはできません。
※重複して履修登録をした場合には両科目とも無効になります。
- ⑤ 通年科目の履修登録は前期に行ってください。なお、登録単位数は前期に加算されます。
※通年科目の単位の修得は、後期成績発表時になります。
- ⑥ 教職課程科目は、教職課程履修届を提出した学生のみ履修登録が可能です。

履修登録の流れ

履修登録期間は修正期間も含めると約1か月あります。履修登録期間中は一度登録した科目を変更できます。実際に授業を受けてみて“思っていた授業と違う”“その他の授業も見てみたい”などあったらこの期間に履修を変更して自分に適した授業を選択（登録）し、時間割を固めていきましょう。ただし、授業によっては履修希望者が多く、履修期間内であっても途中で履修登録ができなくなってしまう科目（履修制限科目）もあります。予定より少し多めに履修登録するなど工夫して、履修計画が崩れることのないように注意しましょう。

なお、1回目の授業に関する教員からの連絡はUNIPAを通して行われますが、履修登録をしなければそれらの情報を見ることができません。授業に出席する前には必ず履修登録をしてください。

| 授業開始1週間前 | 授業開始（1週目） | 授業（2週目） | 授業（3週目） | 授業（4週目） |
|----------|-----------|---------|-----------|---------|
| | ①履修登録期間 | | ③履修登録修正期間 | |
| | ②授業開始～ | | | |
| | ④履修制限期間 | | | |

2024年度履修登録スケジュール

【前期】

| 内容 | 期間 | 内容・注意事項 |
|-----------|-------------------|---|
| ①履修登録期間 | 4月5日(金)～4月23日(火) | 左記の期間中にUNIPAで履修登録をしてください。 履修登録期間内であれば何度でも登録・修正・削除が可能です。 ※履修登録期間が終了するまでには必ず履修を確定し、履修登録画面から「提出」を押してください。 提出されていないと正式な履修登録となりませんので、注意してください。 |
| ②第1回授業開始 | 4月10日(水) | 授業は原則対面で行われますが、一部の授業はオンラインで授業を行います。受講する科目の授業形態や授業時間はUNIPAクラスプロフィール内の掲示や「授業時間割」で確認することができます。 ※授業に関する教員からのお知らせ(掲示)は履修登録をした翌日から見るできるようになります。 早めの登録を心がけてください。 |
| ③履修登録修正期間 | 4月24日(水)～4月30日(火) | 履修を取りやめたい場合は、この期間に修正をしてください。この期間以降はいかなる場合であっても履修の修正、削除はできません。 |
| ④履修制限期間 | 4月5日(金)～4月23日(火) | 履修希望者が教室の収容定員を上回った場合、履修制限をかけることがあります。詳細は、p.37の「履修制限について」を確認してください。 |

【後期】

| 内容 | 期間 | 内容・注意事項 |
|-----------|--------------------|---------|
| ①履修登録期間 | 9月18日(水)～10月4日(金) | 前期と同様 |
| ②第1回授業開始 | 9月23日(月) | |
| ③履修登録修正期間 | 10月7日(月)～10月11日(金) | |
| ④履修制限期間 | 9月18日(水)～10月4日(金) | |

UNIPA履修登録の操作方法

①メニューから履修>履修登録を選択します。

ポータル ▾ 学籍 ▾ 時間割 ▾ 授業評価結果照会 ▾ 授業評価 ▾ シラバス ▾ 履修 ▾ 出欠 ▾ 資格 ▾ 成績 ▾ Q&A ▾ マイステップ ▾ 就職 ▾ 開講授業一覧 ▾ 教育課程表(PDF) ▾
各種書式一覧 ▾ Web申請 ▾

重要 期限あり

重要情報はありません。

日表示 月表示 履修授業

インフォメーション スケジュール

②「>」をクリックしてください。

ポータル ▾ 学籍 ▾ 時間割 ▾ 授業評価結果照会 ▾ 授業評価 ▾ シラバス ▾ 履修 ▾ 出欠 ▾ 資格 ▾ 成績 ▾ Q&A ▾ マイステップ ▾ 就職 ▾ 開講授業一覧 ▾ 教育課程表(PDF) ▾
各種書式一覧 ▾ Web申請 ▾

1 説明画面 2 学籍情報変更申請 3 履修登録 4 学生時間割表

③現住所を入力してください。「>」をクリックしてください。

ポータル ▾ 学籍 ▾ 時間割 ▾ 授業評価結果照会 ▾ 授業評価 ▾ シラバス ▾ 履修 ▾ 出欠 ▾ 資格 ▾ 成績 ▾ Q&A ▾ マイステップ ▾ 就職 ▾ 開講授業一覧 ▾ 教育課程表(PDF) ▾
各種書式一覧 ▾ Web申請 ▾

学籍情報変更申請 学籍情報変更申請 [Bsb010]

現住所・連絡先 表示

☑は必須項目です。

| 項目名 | 現在の登録内容 | 変更内容 |
|-------|---------|----------------------|
| 郵便番号 | | <input type="text"/> |
| 住所1 | | <input type="text"/> |
| 住所2 | | <input type="text"/> |
| 住所3 | | <input type="text"/> |
| 電話番号1 | | <input type="text"/> |

- ④履修登録画面（カレンダー形式）が表示されます。（集中講義、実習科目等はカレンダー下に表示されます）
履修したい科目のある曜日時限の「+追加」をクリックします。

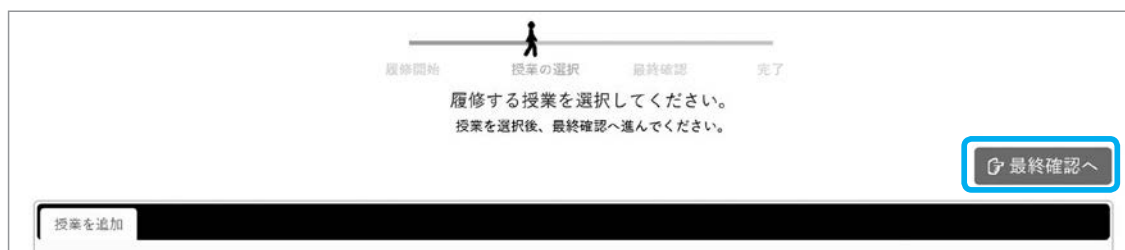


- ⑤その曜日時限に開講する科目の一覧が表示されます。履修したい科目を「選択」し、「確定」を押してください。



- ⑥ ④⑤を繰り返して、自身が履修したい科目をすべて登録してください。

- ⑦履修したい全科目の選択が完了したら、「最終確認へ」をクリックし、エラー表示が出ていないことを確認してください。



〈1・3年生の場合〉

⑧エラー表示が出ていないことを確認して「提出」をクリックしてください。

ポータル ▾ 学籍 ▾ 時間割 ▾ 授業評価結果照会 ▾ 授業評価 ▾ シラバス ▾ 履修 ▾ 出欠 ▾ 資格 ▾ 成績 ▾ Q&A ▾ マイステップ ▾ 就職 ▾ 開講授業一覧 ▾ 教育課程表(PDF) ▾ 各種書式一覧 ▾ Web申請 ▾

1 説明画面 2 学籍情報変更申請 3 履修登録 4 学生時間割表

履修登録 履修登録 [Kmd004]

履修開始 授業の選択 最終確認 完了

履修内容にエラーはありません。
提出へ進んでください。

エラー表示が出ていないことを確認してください。

授業の選択へ戻る

確認メールを配信しない **提出**

〈2・4年生の場合〉

2年生、4年生は履修登録画面にて進級・卒業の見込判定を行うことができます。既修得単位と当学期の履修単位を加算したときに、各学部で定められた進級・卒業要件を満たしているかを判定します。この見込判定機能では、定められた要件に基づき自動で判定がされますので進級・卒業できるかどうかを確認する際のひとつの指標としてください。

進級・卒業の要件の詳細は、[教育課程表](#)や[本履修ガイドブック](#)に掲載されています。履修登録を終える際は、必ず[自身の目で参照し、進級・卒業要件を充たしているか確認してください。](#)

⑧エラー表示が出ていないことを確認して「見込判定」へをクリックしてください。

2年次には進級判定、4年次に卒業判定を行います。

ポータル ▾ 学籍 ▾ 時間割 ▾ 授業評価結果照会 ▾ 授業評価 ▾ シラバス ▾ 履修 ▾ 出欠 ▾ 資格 ▾ 成績 ▾ Q&A ▾ マイステップ ▾ 就職 ▾ 開講授業一覧 ▾ 教育課程表(PDF) ▾ 各種書式一覧 ▾ Web申請 ▾

1 説明画面 2 学籍情報変更申請 3 履修登録 4 学生時間割表

履修登録 履修登録 [Kmd004]

履修開始 授業の選択 最終確認 見込判定 完了

履修内容にエラーはありません。
見込判定へ進んでください。

エラー表示が出ていないことを確認してください。

授業の選択へ戻る

見込判定へ

授業を追加

履修合計単位 14

2023年度 後期

⑨再度エラーが出ていないことを確認して「提出」をクリックしてください。

※授業を選択しただけでは登録はされません。必ず【提出】を行ってください。

【エラー表示について】

登録内容にエラーがある場合は、エラーメッセージが表示されます。

エラー表示があるということは、**履修登録ができていない**ということです。履修を確定する時には、エラー表示が出ていないことを必ず確認してください。

〈エラー表示の例〉

| エラーメッセージ | 対応方法 |
|-----------------------------|---|
| ○年次に履修登録が可能な単位の年間上限は○○単位です。 | 各学科各学年それぞれに年間・半期で履修できる単位数の上限が定められています。所属する学部で定められた上限単位数に従い、履修登録科目数（単位数）を減らしてください。 |

💡 操作上の注意

- ・UNIPAを開いてから1時間以上画面操作が行われない場合は自動的にログアウトされますので、こまめに一時保存を行ってください。
- ・UNIPAで履修登録するとき複数ブラウザ（PC、スマートフォン等）から同時にログイン、操作すると正しく履修登録ができません。必ず1つのブラウザから行うようにしてください。
- ・【アプリ版】UNIPAからは履修登録ができません。
- ・UNIPAのメニュー「履修」は履修登録期間のみ表示され、履修登録期間を過ぎるとアクセスできなくなります。また、期間中であってもメンテナンス時間中はUNIPA自体にログインできません。

履修登録時の注意事項

| 注意事項 | 説明 |
|--|---|
| ①一度単位を修得した科目は履修できません。 | ただし、不合格評価（成績D、NP、NS）を受けた科目は再履修することができます。 |
| ②以下の場合、履修登録画面に科目が表示されません。 a. 履修指定科目含む事前履修登録科目（総合英語Ⅱはのぞく） b. 履修制限科目 c. 健康栄養学部、スポーツ科学部の学部専攻科目および教職課程において、科目のレベル（履修相当年次）が自身の学年より上の科目 | a. の科目は、開講授業一覧および「第3章 各学部の履修上の注意」で確認できます。 b. については、後述の「履修制限について」を確認してください。 左記以外で履修登録画面に表示されない科目がある場合は、教務課に問い合わせてください。 |
| ③同じ科目名でも担当教員が異なる授業があります。 | 自身が履修する科目の担任教員名をよく確認してください。 |

履修制限について

履修登録期間中に定員超過等の理由で教員が履修登録の制限をし、履修できる学生の人数をしぼる場合があります。これを履修制限といいます。履修制限がかかった科目は担当教員に履修を認められた者のみが受講できます。自身が履修できるかどうかはUNIPAの掲示またはクラスプロフィール内の授業資料で知ることができます。科目を登録する際は必ずUNIPAで確認してください。



履修制限に関する注意

- ・履修が許可されているにも関わらず誤って履修登録を削除してしまった場合、**再度履修登録することはできません**。履修登録の修正を行うときは入力した時間割を必ず確認して、削除してしまうことがないように気を付けてください。
- ・履修制限により履修が認められなかった学生は、履修登録画面から該当科目を必ず削除してください。該当科目を削除しなかった場合はGPAの低下や履修登録の上限単位数に影響し、進級や卒業にマイナスの影響がありますので必ず削除してください。なお、履修登録期間終了後はいかなる理由があっても削除できません。
- ・履修制限が行われた科目は履修登録画面には表示されなくなります。対象科目はUNIPAの掲示および学生向けポータルサイトでお知らせします。

よくある質問

- Q. 履修登録したのに履修制限がかかってしまい、履修予定だった科目が減ってしまいました。卒業にも影響してしまうので困っています。
- A. 履修制限により科目数が減ることを踏まえたうえで履修計画を行ってください。履修登録期間中は多めに科目登録をしておけば履修制限による影響を受けにくいと思います。
- Q. 2つの授業のどちらを受講するか迷っているのですが、同じ曜日時限の授業をUNIPAで履修登録ができますか。
- A. 同じ曜日時限の授業を2つ以上登録することはできません。
- Q. 削除したい科目を消し忘れたのですが、削除できますか。
- A. 履修の削除ができるのは、履修登録期間中、履修修正期間のみです。この期間を過ぎた場合はいかなる理由であっても削除できません。
- Q. 履修登録修正期間に新たに科目を登録することはできますか。
- A. 履修登録修正期間の扱いは以下のとおりです。科目の新規登録ができるのは以下の③にあてはまる場合のみです。
- ①履修を取りやめたい授業の取消
 - ②履修登録を誤った科目の変更
 - ③履修制限科目の削除とその代わりとなる科目の追加
- 修正期間を過ぎるといかなる場合であっても履修追加、変更はできません。自身の取りたい科目の登録がきちんとできているか、この期間に必ず確認してください。
- Q. 履修登録した科目が正常に登録できているか確認できますか。
- A. 最終確認まで進み、提出ボタンが押されているかを確認してください。赤字でエラーが表示されている場合は登録が完了していません。不安や不明点がある場合はクリスタルタワー2階大学総合窓口までお越しください。
- Q. 履修登録単位数の上限数がオーバーしていると表示される場合はどうしたらいいですか。
- A. 履修登録単位数には単位修得の有無には関係なく登録した単位がすべて含まれます。また、通年科目は前期の履修登録単位数にカウントされ、後期には含まれません。（※実際に修得単位として計上されるのは後期末です。）上記を踏まえたうえで、もう一度自身の登録単位数を確認して、それでも収まらない場合は、クリスタルタワー2階大学総合窓口までお越しください。
- Q. 履修制限のかかっている科目を登録していたのに誤って削除してしまいました。再度登録したいです。
- A. 履修制限科目を削除してしまった場合、再度の登録はできません。履修制限のかかっていない科目であれば、履修登録期間中何度でも登録、削除ができます。
- Q. 履修登録を提出しましたが、履修登録提出未完了のメールが届きました。
- A. 履修登録画面を開いて、「提出ボタンが押されているか」、「エラー表示が出ていないか」を確認してください。それでも解決しない場合はクリスタルタワー2階大学総合窓口までお越しください。
- Q. 第1回目の授業を欠席しました。第2回目から授業に参加できますか。
- A. 第2回目からでも受講可能ですが、履修制限を行う科目の中には、「第1回目の授業参加」が受講の条件になっている科目もあります。この場合は、第2回目以降からの受講はできません。
- ※履修登録期間前に履修計画を行っておくと1週目から効率的に授業に参加できます。

Ⅲ

履修上の注意 (学部専攻科目)

3章 履修上の注意（学部専攻科目）

法学部

卒業要件

卒業するためには、各学部が定めるルール（履修規程）に定められた卒業要件単位数の修得が必要です。法学部の卒業要件は以下のとおりです。

【法学部卒業要件】

- ・学部専攻科目（政治学、法学、演習）から、62単位以上を修得すること。
- ・上記含めて、合計124単位を修得すること。

卒業要件は卒業するための最低条件であり、これを超えて履修をすることを制限するものではありません。本要件は、2024年度本学に在籍するすべての学生に適用されます。教職課程に関する科目は、原則として、卒業要件単位数の積算には含まれません。（進級判定には含まれます。）

【重要】卒業条件に関する留意事項

①外国人留学生の卒業条件について（在学生向け）

外国人留学生は、これまで、卒業のために「日本語Ⅰ」および「日本語Ⅱ」を必修条件としていましたが、2024年度より、本条件は廃止となります。単位修得できなかった場合の再履修は不要です。ただし、本学で日本語による学修を進めるため、積極的に日本語が学べる科目を履修し単位修得することを推奨します。

②教職課程における卒業要件単位数への加算について（2021年度以前入学生向け）

2021年度以前に入学した教職課程履修者については、教育職員免許状の取得を条件として、「教職専門科目」を履修し修得した単位を、16単位を限度として卒業要件に含めることができます。

3年次進級要件

- 2年次から3年次に進級するためには、2年次終了時の修得単位数が最低40単位が必要です。満たさない場合には、3年次に進級できません（2年次留年）。
- 教職課程で履修した科目も、修得単位数の積算に含みます。

科目の分類

教育課程表に記載された科目は、修得の条件により以下のように分類されます。

| 分類 | 内容 |
|--------|---|
| 履修指定科目 | 所定の年次において、履修が義務付けられた科目です。ただし、単位修得は必須ではありません。 ▶「教育課程表」の科目名の先頭に、◇印があります。 |
| 選択科目 | 履修と単位の修得が学生の判断に委ねられている科目です。 |
| 自由科目 | 卒業要件に含まれない科目です。主に教職課程に関する科目です。 |

履修登録ができる科目

- 法学部の学生は全学年、原則、教育課程表に記載された科目のすべてを、学年問わず自由に履修することができます。
- ただし、以下の科目および科目群は、履修できる年次に制限があります。
 - ① [演習] 科目群
 - ② 教職課程に関する科目
 - 1年次は100番のみ、2年次は200番のみというように、教育課程表に記載されたレベル（履修相当年次）に沿った履修が必要です。
 - ③ 履修指定科目

履修登録単位数の制限

履修登録できる単位数に制限があります。なお、通年科目については、前期の制限に含みます。入学年度により制限が異なりますので、注意してください。

2021年～2024年度入学生

| 区分 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 |
|---------|------|------|------|------|
| 年間上限単位数 | 48単位 | 48単位 | 48単位 | 48単位 |
| 半期上限単位数 | 24単位 | 24単位 | 24単位 | 24単位 |

2020年度以前の入学生

| 区分 | 第1年次 | | 第2年次 | | 第3年次 | | 第4年次 | |
|---------|------|----|------|----|------|----|---------|----|
| 年間上限単位数 | 40単位 | | 44単位 | | 44単位 | | 48単位 | |
| 学期区分 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 半期下限単位数 | 13単位 | | 12単位 | | 12単位 | | 特段の定めなし | |
| 半期上限単位数 | 27単位 | | 32単位 | | 32単位 | | | |

履修指定科目 【2024年度入学生対象】

1年次には大学が指定する履修指定科目を履修してください。履修指定科目は、事前にクラスが指定されるので、指定されたクラスで必ず履修を行ってください。

「履修指定科目」に関する説明は、本ガイドブックp.26も参考にしてください。

①一般学生

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 開講期 | 備考 |
|----------|--------|-----------|-------|---------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | 基礎演習Ⅰ | 前期 | |
| | | 基礎演習Ⅱ | 後期 | |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA | 前期 | |
| | | ICTリテラシーB | 後期 | |
| | | データサイエンス | 前期・後期 | 前期・後期のいずれかで履修 |
| | 言語スキル | 言語技術Ⅰ | 前期 | |
| | | 言語技術Ⅱ | 後期 | |

②外国人留学生（4月入学生）

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 開講期 | 備考 |
|----------|--------|------------|-------|--------------------------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | アカデミックスキルⅠ | 前期 | 日本語レベルにより、日本語クラス・中国語クラスに分かれて履修 |
| | | アカデミックスキルⅡ | 後期 | |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA | 前期 | 前期・後期のいずれかで履修 |
| | | ICTリテラシーB | 後期 | |
| | | データサイエンス | 前期・後期 | |
| | 語学 | 日本語Ⅰ | 前期 | |
| | | 日本語Ⅱ | 後期 | |
| | | 日本語特講Ⅰ | 前期 | |
| | | 日本語特講Ⅱ | 後期 | |

③外国人留学生（9月入学生）

9月より履修開始となるため、基本的に9月にⅠおよびA、4月にⅡおよびBを履修します。

●2024年度9月から履修する科目

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 |
|----------|--------|------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | アカデミックスキルⅠ |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA |
| | | データサイエンス |
| | 語学 | 日本語Ⅰ |
| | | 日本語特講Ⅰ |

●2025年度4月から履修する科目

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 |
|----------|--------|------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | アカデミックスキルⅡ |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーB |
| | 語学 | 日本語Ⅱ |
| | | 日本語特講Ⅱ |

【外国人留学生（4月入学生・9月入学生共通）の履修について】

外国人留学生は、日本語レベルに応じて「アカデミックスキルⅠ・Ⅱ」ではなく、一般学生と同様「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」のクラスに変更することができます。その場合、「言語技術Ⅰ・Ⅱ」も履修が必要です。クラス変更を希望する学生は、ガイダンスもしくは「アカデミックスキルⅠ」のクラスにて、担当の先生に相談してください。

大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目）

履修登録開始前までに、履修者が確定している科目は、大学があらかじめ履修登録を行います。事前登録を行った科目は、学生自身で履修登録を外すことはできません。登録されたクラスで履修をしてください。

【事前履修登録の対象科目】

- ①履修指定科目 ※対象科目は、p.43を参照すること。
- ②〔演習〕科目群のすべての科目
- ③「競技スポーツ実践」※強化指定クラブに所属している学生のみ
- ④「総合英語Ⅱ」※「総合英語Ⅰ」を修得した学生対象
- ⑤教職課程の一部科目（対象：教育実習研修、教職実践演習、教育実習Ⅰ・Ⅱ）

【例外】学生が自身で履修登録を外すことができる科目

上記のうち②演習科目群の科目および③「競技スポーツ実践」は、学生自身で事前履修登録を外し、別の科目を選択することができます。ただし、一度自身で登録を解除した場合、自身で再度履修登録を行うことはできません。もし、継続して履修を希望する場合は、それぞれ以下まで連絡してください。

- ▶ 「競技スポーツ実践」の履修登録を再登録したい → カレッジスポーツセンター事務室まで
- ▶ 「ゼミナール入門Ⅰ・Ⅱ」および「ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の履修登録を再登録したい → 大学総合窓口まで

オンラインで実施される授業

授業は原則対面（教室）にて実施されますが、以下科目は、オンライン（Zoom等）で実施します。

| 科目群 | 科目名 | 開講期 | 曜日時限 | 担当教員 | 備考 |
|---------|-----------|-----|------|-------|-------|
| 法学 | 民法C | 前期 | 木1 | 藤原 究 | |
| | 民法C | 後期 | 木1 | 藤原 究 | |
| 経営学 | 経営学概論 | 前期 | 火3 | 野村千佳子 | |
| | 経営学概論 | 後期 | 金1 | 蔣 辛未 | 中国語開講 |
| マーケティング | マーケティング概論 | 前期 | 木1 | 范 沈俐 | |
| | マーケティング概論 | 前期 | 金2 | 范 沈俐 | 中国語開講 |
| 会計学 | 簿記概論 | 前期 | 月1 | 李 会爽 | 中国語開講 |
| | 簿記概論 | 前期 | 木2 | 李 会爽 | |
| | 会計学概論 | 後期 | 月1 | 李 会爽 | 中国語開講 |
| | 会計学概論 | 後期 | 木2 | 李 会爽 | |
| 経済学 | 経済学概論 | 前期 | 水1 | 倉澤 一孝 | |
| | 経済学概論 | 前期 | 木1 | 劉 曙麗 | 中国語開講 |

【履修上の注意】

- ①上記授業は、1回目よりオンラインにて授業を行います。履修する場合は、UNIPAにて履修登録のうえ、クラスプロフィールより該当授業に関する情報（リンク先）等の確認し、授業を履修してください。
- ②上記以外に、履修登録開始後、履修登録者が教室座席数を上回った場合に、教員の判断によりオンライン授業に切替える場合があります。この場合も、UNIPAクラスプロフィール等から、適宜情報を確認し、教員の指示に従ってください。
- ③オンライン授業を履修するにあたっての留意事項は、p.84も参考にしてください。

中国語開講科目

一部の科目は、中国語で行います。同一名称の科目を、日本語と中国語の両方を履修し、単位修得することはできません。

| 科目群 | 科目名 | |
|------------|---|---|
| 政治学 | <ul style="list-style-type: none"> ・政治学概論 I・II ・日本政治社会論 I・II※ ・外交論入門 I・II※ | <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係論（概論） I・II ・比較政治 ・多国間交渉論 I・II※ |
| 経営学 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営学概論 ・日本のビジネス※ ・経営戦略論 ・経営管理論 ・経営組織論 | <ul style="list-style-type: none"> ・eビジネス論 ・ファイナンス ・ビジネスエコノミクス |
| マーケティング | <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング概論 ・流通論 ・消費者行動論 ・プロモーション戦略論 | <ul style="list-style-type: none"> ・リテールマーケティング ・ブランドマネジメント ・サービスマーケティング ・国際マーケティング |
| 会計学 | <ul style="list-style-type: none"> ・簿記概論 ・会計学概論 ・財務会計論 | <ul style="list-style-type: none"> ・工業簿記 ・商業簿記 ・管理会計論 |
| 経済学 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済学概論 ・ミクロ経済学 ・マクロ経済学 ・金融論 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際貿易 ・財政政策と金融政策 ・国際金融 |
| 人文・社会・自然科学 | <ul style="list-style-type: none"> ・中国の歴史・文化※ | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の文学 I・II※ |
| ICTスキル | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTリテラシーA ・ICTリテラシーB | <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンス |
| キャリア形成支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発入門※ | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発演習※ |
| 演習 | アカデミックスキル I・II | |

※印がついている科目は、中国語のみの開講です。日本語による授業開講はありません。

2024年度からの新設科目・名称変更等 【2023年度以前入学生対象】

| 変更分類 | 科目群 | 23年度科目名 | 24年度科目名 | 備考 |
|------|-----|---------|---------|----|
| 廃止 | 法学 | 経済法 | — | |
| 廃止 | 法学 | 倒産法 | — | |

※その他科目群の変更については、それぞれの章を確認してください。

[演習] 科目群の履修について

2年生以上のゼミナール系科目（いわゆるゼミ）は、学生自身が興味ある分野を見つけて、学部が定める募集期間で応募し、ゼミ選考を受ける必要があります。決められた期間に、必要な手続きを行わないと履修することができません。

ゼミ選考は、実際に自身が履修する学年の前年度に行われます（2年ゼミであれば1年次のうちに、3年ゼミであれば2年次のうちに実施）。応募期間を逃した場合、追加でゼミを履修することはできませんので、必ず自身で情報を確認して応募してください。

以下の説明は、2025年度より「ゼミナール入門Ⅰ」もしくは「ゼミナールⅠ」を履修する学生に向けた説明です。ゼミ系科目の履修のためには、前年度より応募する必要がありますので、2025年度履修を希望する学生は必ず読んでください。

「ゼミナール入門Ⅰ」の履修について

●募集対象学生：

- ・2024年4月入学した法学部の一般学生（日本人学生）および留学生
- ・2023年9月入学した法学部の留学生

●選考スケジュール

| 項目 | スケジュール（目安） | 備考 |
|--------|------------|--|
| 募集要項公表 | 11月中旬 | ・専用サイトが開設され、各ゼミの内容や募集要項の詳細が公表されます。サイト開設は、UNIPAで案内されます。 ・応募にあたり、応募条件を定めているゼミもあります。専用サイトに掲載された情報をしっかり確認しましょう。 |
| 応募期間 | 12月中旬 | ・応募は専用フォームから行います。 |
| 選考期間 | 12月中旬～1月中旬 | |
| 履修者発表 | 1月中旬 | ・合格後の手続きもあります。必ず確認してください。 |

- 「ゼミナール入門Ⅱ」の履修について：「ゼミナール入門Ⅰ」履修者は、原則「ゼミナール入門Ⅱ」を継続して履修します。「ゼミナール入門Ⅱ」から履修を開始もしくは別クラスを履修することはできません。

「ゼミナールⅠ」の履修について

●募集対象学生：4月入学の法学部・経営学部2年生

※9月入学の学生については、在籍学部から別途案内します。

●選考スケジュール

| 項目 | スケジュール（目安） | 備考 |
|--------|-------------|--|
| 募集要項公表 | 11月初旬 | ・専用サイトが開設され、各ゼミの内容や募集要項の詳細が公表されます。サイト開設は、UNIPAで案内されます。 ・応募にあたり、応募条件を定めているゼミもあります。専用サイトに掲載された情報をしっかり確認しましょう。 |
| 応募期間 | 11月中旬～下旬 | ・応募は専用フォームから行います。 |
| 選考期間 | 11月下旬～12月初旬 | |
| 履修者発表 | 12月初旬 | ・合格後の手続きもあります。必ず確認してください。 |

●「ゼミナールⅡ」以降の履修について

「ゼミナールⅠ」履修者は、原則「ゼミナールⅡ～Ⅳ」を継続して履修します。「ゼミナールⅡ」以降から、新たに履修もしくは別クラスを履修することはできません。

- 二次募集・三次募集について

ゼミの各クラスには定員が定められています。一次募集終了時点で定員に達していないゼミについては、教員の判断によりゼミの二次募集・三次募集を行う場合があります。もし、一次募集で希望のゼミに入れなかった場合も、二次募集以降で再度情報を確認し応募することが可能です。

卒業要件

卒業するためには、各学部が定めるルール（履修規程）に定められた卒業要件単位数の修得が必要です。経営学部の卒業要件は以下のとおりです。

【経営学部卒業要件】

- ・学部専攻科目（経営学、マーケティング、会計学、経済学、演習）から、62単位以上を修得すること。
- ・上記含めて、合計124単位を修得すること。

- 卒業要件は卒業するための最低条件であり、これを超えて履修をすることを制限するものではありません。
- 本要件は、2024年度本学に在籍するすべての学生に適用されます。
- 教職課程に関する科目は、原則として、卒業要件単位数の積算には含まれません。（進級判定には含まれます。）

【重要】卒業条件に関する留意事項

①外国人留学生の卒業条件について（在学生向け）

外国人留学生は、これまで、卒業のために「日本語Ⅰ」および「日本語Ⅱ」を必修条件としていましたが、2024年度より、本条件は廃止となります。単位修得できなかった場合の再履修は不要です。ただし、本学で日本語による学修を進めるため、積極的に日本語が学べる科目を履修し単位修得することを推奨します。

②教職課程における卒業要件単位数への加算について（2021年度以前入学生向け）

2021年度以前に入学した教職課程履修者については、教育職員免許状の取得を条件として、「教職専門科目」を履修し修得した単位を、16単位を限度として卒業要件に含めることができます。

3年次進級要件

- 2年次から3年次に進級するためには、2年次終了時の修得単位数が最低40単位が必要です。満たさない場合には、3年次に進級できません（2年次留年）。
- 教職課程で履修した科目も、修得単位数の積算に含みます。

科目の分類

教育課程表に記載された科目は、修得の条件により以下のように分類されます。

| 分類 | 内容 |
|--------|---|
| 履修指定科目 | 所定の年次において、履修が義務付けられた科目です。ただし、単位修得は必須ではありません。 ▶「教育課程表」の科目名の先頭に、◇印があります。 |
| 選択科目 | 履修と単位の修得が学生の判断に委ねられている科目です。 |
| 自由科目 | 卒業要件に含まれない科目です。主に教職課程に関する科目です。 |

履修登録ができる科目

- 経営学部の学生は全学年、原則、教育課程表に記載された科目のすべてを、学年問わず自由に履修することができます。
- ただし、以下の科目および科目群は、履修できる年次に制限があります。
 - ① [演習] 科目群
 - ② 教職課程に関するすべての科目
 - 1年次は100番のみ、2年次は200番のみというように、教育課程表に記載されたレベル（履修相当年次）に沿った履修が必要です。
 - ③ 履修指定科目

履修登録単位数の制限

履修登録できる単位数に制限があります。なお、通年科目については、前期の制限に含みます。入学年度により制限が異なりますので、注意してください。

2021年～2024年度入学生

| 区分 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 |
|---------|------|------|------|------|
| 年間上限単位数 | 48単位 | 48単位 | 48単位 | 48単位 |
| 半期上限単位数 | 24単位 | 24単位 | 24単位 | 24単位 |

2020年度以前の入学生

| 区分 | 第1年次 | | 第2年次 | | 第3年次 | | 第4年次 | |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 年間上限単位数 | 48単位 | | 48単位 | | 48単位 | | 50単位 | |
| 半期上限単位数 | 25単位 | 25単位 | 24単位 | 24単位 | 24単位 | 24単位 | 24単位 | 26単位 |

履修指定科目 【2024年度入学生対象】

1年次には大学が指定する履修指定科目を履修してください。履修指定科目は、事前にクラスが指定されるので、指定されたクラスで必ず履修を行ってください。

「履修指定科目」に関する説明は、本ガイドブックp.26も参考にしてください。

①日本人学生

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 開講期 | 備考 |
|----------|--------|-----------|-------|---------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | 基礎演習Ⅰ | 前期 | |
| | | 基礎演習Ⅱ | 後期 | |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA | 前期 | |
| | | ICTリテラシーB | 後期 | |
| | | データサイエンス | 前期・後期 | 前期・後期のいずれかで履修 |
| | 言語スキル | 言語技術Ⅰ | 前期 | |
| | | 言語技術Ⅱ | 後期 | |
| | 国際共修 | 国際共修入門 | 前期・後期 | 前期・後期のいずれかで履修 |

②外国人留学生（4月入学生）

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 開講期 | 備考 |
|----------|--------|------------|-------|--------------------------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | アカデミックスキルⅠ | 前期 | 日本語レベルにより、日本語クラス・中国語クラスに分かれて履修 |
| | | アカデミックスキルⅡ | 後期 | |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA | 前期 | 前期・後期のいずれかで履修 |
| | | ICTリテラシーB | 後期 | |
| | | データサイエンス | 前期・後期 | |
| | 語学 | 日本語Ⅰ | 前期 | |
| | | 日本語Ⅱ | 後期 | |
| | | 日本語特講Ⅰ | 前期 | |
| | | 日本語特講Ⅱ | 後期 | |
| 国際共修 | 国際共修入門 | 前期・後期 | | |

③外国人留学生（9月入学生）

9月より履修開始となるため、基本的に9月にⅠおよびA、4月にⅡおよびBを履修します。科目名は以下を確認してください。

●2024年度9月から履修する科目

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 |
|----------|--------|------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | アカデミックスキルⅠ |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA |
| | | データサイエンス |
| | 語学 | 日本語Ⅰ |
| | | 日本語特講Ⅰ |

●2025年度4月から履修する科目

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 |
|----------|--------|------------|
| 学部専攻科目 | 演習 | アカデミックスキルⅡ |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーB |
| | 語学 | 日本語Ⅱ |
| | | 日本語特講Ⅱ |

※「国際共修入門」は、上記どちらかの期間で履修します。別途、クラス分けされますので、指示に従ってください。

【外国人留学生（4月入学生・9月入学生共通）の履修について】

外国人留学生は、日本語レベルに応じて「アカデミックスキルⅠ・Ⅱ」ではなく、一般学生と同様「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」のクラスに変更することができます。その場合、「言語技術Ⅰ・Ⅱ」も履修が必要です。クラス変更を希望する学生は、ガイダンスもしくは「アカデミックスキルⅠ」のクラスにて、担当の先生に相談してください。

大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目）

履修登録開始前までに、履修者が確定している科目は、大学があらかじめ履修登録を行います。事前登録を行った科目は、学生自身で履修登録を外すことはできません。登録されたクラスで履修をしてください。

【事前履修登録の対象科目】

- ①履修指定科目 ※対象科目は、p.49を参照すること。
※ただし、「国際共修入門」については、履修登録開始後にクラス分けを実施するため、事前登録は行いません。
クラス分け後、自身で履修登録を行ってください。
- ②〔演習〕科目群のすべての科目
- ③〔競技スポーツ実践〕※強化指定クラブに所属している学生のみ
- ④〔総合英語Ⅱ〕※〔総合英語Ⅰ〕を修得した学生対象
- ⑤教職課程の一部科目（対象：教育実習研修、教職実践演習、教育実習Ⅰ・Ⅱ）

【例外】学生が自身で履修登録を外すことができる科目

上記のうち②演習科目群の科目および③〔競技スポーツ実践〕は、学生自身で事前履修登録を外し、別の科目を選択することができます。ただし、一度自身で登録を解除した場合、自身で再度履修登録を行うことはできません。もし、継続して履修を希望する場合は、それぞれ以下まで連絡してください。

- ▶〔競技スポーツ実践〕の履修登録を再登録したい → カレッジスポーツセンター事務室まで
- ▶〔ゼミナール入門Ⅰ・Ⅱ〕および〔ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ〕の履修登録を再登録したい
→ 大学総合窓口まで

概論科目の1年生クラス分けについて【2024年度入学生対象】

概論科目（経営学概論、マーケティング概論など、科目名の最後に“概論”がつく科目）は、特定の授業に履修者が集中しないよう、履修する曜日時限を指定します。自身の履修指定科目「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」もしくは「アカデミックスキル」のクラスによって、履修する曜日時限が指定されますので、注意してください。

| 科目名 | 「基礎演習」が水曜2限クラスの学生 「アカデミックスキル」が火曜2限クラスの学生 | 「基礎演習」が金曜3限クラスの学生 「アカデミックスキル」が金曜2限クラスの学生 |
|-----------|---|---|
| 経営学概論 | 前期・火曜1限（野村先生） | 後期・火曜1限（野村先生） |
| マーケティング概論 | 後期・火曜1限（伊東先生） | 前期・金曜1限（伊東先生） |
| 簿記概論 | 前期・月曜1限（荻野先生） | 前期・木曜1限（荻野先生） |
| 会計学概論 | 後期・月曜1限（荻野先生） | 後期・木曜1限（荻野先生） |
| 経済学概論 | 後期・木曜1限（劉先生） | 前期・月曜1限（今井先生） |

1年生は、概論科目を履修する際、必ず上記で指定されたクラスを履修登録してください。

なお、中国語開講クラスを希望する学生は、以下のクラスを履修することができます。

| 科目名 | 曜日時限、担当教員 |
|-----------|--------------|
| 経営学概論 | 後期・金曜1限（蔣先生） |
| マーケティング概論 | 前期・金曜2限（范先生） |
| 簿記概論 | 前期・月曜1限（李先生） |
| 会計学概論 | 後期・月曜1限（李先生） |
| 経済学概論 | 前期・木曜1限（劉先生） |

オンラインで実施される授業

授業は原則対面（教室）にて実施されますが、以下科目は、オンライン（Zoom等）で実施します。

| 科目群 | 科目名 | 開講期 | 曜日時限 | 担当教員 | 備考 |
|---------|-----------|-----|------|-------|-------|
| 経営学 | 経営学概論 | 前期 | 火1 | 野村千佳子 | |
| | 経営学概論 | 後期 | 火1 | 野村千佳子 | |
| | 経営学概論 | 後期 | 金1 | 蔣 辛未 | 中国語開講 |
| マーケティング | マーケティング概論 | 前期 | 金1 | 伊東 洋晃 | |
| | マーケティング概論 | 前期 | 金2 | 范 沈俐 | 中国語開講 |
| | マーケティング概論 | 後期 | 火1 | 伊東 洋晃 | |
| 会計学 | 簿記概論 | 前期 | 月1 | 荻野 弘昭 | |
| | 簿記概論 | 前期 | 月1 | 李 会爽 | 中国語開講 |
| | 簿記概論 | 前期 | 木1 | 荻野 弘昭 | |
| | 会計学概論 | 後期 | 月1 | 荻野 弘昭 | |
| | 会計学概論 | 後期 | 月1 | 李 会爽 | 中国語開講 |
| | 会計学概論 | 後期 | 木1 | 荻野 弘昭 | |
| 経済学 | 経済学概論 | 前期 | 月1 | 今井 久 | |
| | 経済学概論 | 前期 | 木1 | 劉 曙麗 | 中国語開講 |
| | 経済学概論 | 後期 | 木1 | 劉 曙麗 | |
| 法学 | 民法C | 後期 | 木1 | 藤原 究 | |

【履修上の注意】

- ①上記授業は、1回目よりオンラインにて授業を行います。履修する場合は、UNIPAにて履修登録のうえ、クラスプロフィールより該当授業に関する情報（リンク先）等の確認し、授業を履修してください。
- ②上記以外に、履修登録開始後、履修登録者が教室座席数を上回った場合に、教員の判断によりオンライン授業に切替える場合があります。この場合も、UNIPAクラスプロフィール等から、適宜情報を確認し、教員の指示に従ってください。
- ③オンライン授業を履修するにあたっての留意事項は、p.84も参考にしてください。

中国語開講科目

一部の学部専攻科目は、中国語で行います。同一名称の科目を、日本語と中国語の両方を履修し、それぞれで単位修得することはできません。

| 科目群 | 科目名 | |
|------------|---|---|
| 政治学 | <ul style="list-style-type: none"> ・政治学概論 I・II ・日本政治社会論 I・II※ ・外交論入門 I・II※ | <ul style="list-style-type: none"> ・国際関係論（概論） I・II ・比較政治 ・多国間交渉論 I・II※ |
| 経営学 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営学概論 ・日本のビジネス※ ・経営戦略論 ・経営管理論 ・経営組織論 | <ul style="list-style-type: none"> ・eビジネス論 ・ファイナンス ・ビジネスエコノミクス |
| マーケティング | <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング概論 ・流通論 ・消費者行動論 ・プロモーション戦略論 | <ul style="list-style-type: none"> ・リテールマーケティング ・ブランドマネジメント ・サービスマーケティング ・国際マーケティング |
| 会計学 | <ul style="list-style-type: none"> ・簿記概論 ・会計学概論 ・財務会計論 | <ul style="list-style-type: none"> ・工業簿記 ・商業簿記 ・管理会計論 |
| 経済学 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済学概論 ・ミクロ経済学 ・マクロ経済学 ・金融論 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際貿易 ・財政政策と金融政策 ・国際金融 |
| 人文・社会・自然科学 | <ul style="list-style-type: none"> ・中国の歴史・文化※ | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の文学 I・II※ |
| ICTスキル | <ul style="list-style-type: none"> ・ICTリテラシーA ・ICTリテラシーB | <ul style="list-style-type: none"> ・データサイエンス |
| キャリア形成支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発入門※ | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発演習※ |
| 演習 | アカデミックスキル I・II | |

※印がついている科目は、中国語のみの開講です。日本語による授業開講はありません。

2024年度からの新設科目・名称変更等 【2023年度以前入学生対象】

経営学部の学部専攻科目について、2024年度からの科目変更等はありません。

※その他科目群の変更については、それぞれの章を確認してください。

【演習】科目群の履修について

2年生以上のゼミナール系科目（いわゆるゼミ）は、学生自身が興味ある分野を見つけて、学部が定める募集期間で応募し、ゼミ選考を受ける必要があります。決められた期間に、必要な手続きを行わないとゼミを履修することができません。

ゼミ選考は、実際に自身が履修する学年の前年度に行われます（2年ゼミであれば1年次のうちに、3年ゼミであれば2年次のうちに実施）。応募期間を逃した場合、追加でゼミを履修することはできませんので、必ず自身で情報を確認して応募してください。

以下の説明は、2025年度より「ゼミナール入門Ⅰ」もしくは「ゼミナールⅠ」を履修する学生に向けた説明です。ゼミ系科目の履修のためには、前年度より応募する必要がありますので、履修を希望する学生が必ず読んでください。

「ゼミナール入門Ⅰ」の履修について

①一般学生向け

●募集対象学生：

- ・2024年4月入学した経営学部の一般学生（日本人学生）および留学生
- ・2023年9月入学した経営学部の留学生

●スケジュール

| 項目 | スケジュール（目安） | 備考 |
|--------|------------|---|
| 応募方法説明 | 12月中 | 「基礎演習」授業内で説明されます。 |
| 応募期間 | 1月中旬～1月末 | 1月最終週の「基礎演習」授業内にて希望調査を行います。講義を欠席した場合も、期日までは回答が可能です。 |
| 履修者発表 | 3月中 | クラス配属の結果は、3月中にUNIPAで発表されます。必ず結果を確認してください。 |

②大学院進学希望の留学生向け

●募集対象学生：2022年9月もしくは2023年4月入学した経営学部に入学者のうち、国内大学院進学を希望する学生

●スケジュール

| 項目 | スケジュール（目安） | 備考 |
|--------|------------|------------------------|
| 応募方法説明 | 12月頃 | 「アカデミックスキル」授業内で説明されます。 |
| 応募期間 | 2月上旬～中旬 | 応募は専用フォームから行います。 |
| 選考 | 2月下旬～3月上旬 | 応募者は、書類審査および面接を行います。 |
| 履修者発表 | 3月中旬 | |

【留意事項】

「ゼミナール入門Ⅰ」履修者は、原則「ゼミナール入門Ⅱ」を継続して履修します。「ゼミナール入門Ⅱ」から履修を開始もしくは別クラスを履修することはできません。

「ゼミナールⅠ」の履修について

- 募集対象学生：2023年4月入学の法学部・経営学部の一般学生および留学生
※ 9月入学の学生については、在籍学部から別途案内します。
- 選考スケジュール

| 項目 | スケジュール（目安） | 備考 |
|--------|-------------|--|
| 募集要項公表 | 11月初旬 | ・専用サイトが開設され、各ゼミの内容や募集要項の詳細が公表されます。サイト開設は、UNIPAで案内されます。 ・応募にあたり、応募条件を定めているゼミもあります。専用サイトに掲載された情報をしっかり確認しましょう。 |
| 応募期間 | 11月中旬～下旬 | ・応募は専用フォームから行います。 |
| 選考 | 11月下旬～12月初旬 | |
| 履修者発表 | 12月初旬 | ・合格後の手続きもあります。必ず確認してください。 |

- 「ゼミナールⅡ」以降の履修について

「ゼミナールⅠ」履修者は、原則「ゼミナールⅡ～Ⅳ」を継続して履修します。「ゼミナールⅡ」以降から、新たに履修もしくは別クラスを履修することはできません。

- 二次募集・三次募集について

ゼミの各クラスには定員が定められています。一次募集終了時点で定員に達していないゼミについては、教員の判断によりゼミの二次募集・三次募集を行う場合があります。もし、一次募集で希望のゼミに入れなかった場合も、二次募集以降で再度情報を確認し応募することが可能です。

【重要：9月入学生の演習科目の履修について】

通常、演習系の科目は、4月に「(科目名)Ⅰ」、9月に「(科目名)Ⅱ」を履修しますが、9月入学生は入学時期が異なるため、一部、履修時期が異なります。履修計画上の参考にしてください。

例：2024年度入学生の場合

| 年度 | 開講期 | 4月入学生 | | 9月入学生 |
|------|-----|----------|------------|--------------------|
| | | 日本人学生 | 外国人留学生 | 外国人留学生 |
| 2024 | 前期 | 基礎演習Ⅰ | アカデミックスキルⅠ | － |
| | 後期 | 基礎演習Ⅱ | アカデミックスキルⅡ | アカデミックスキルⅠ |
| 2025 | 前期 | ゼミナール入門Ⅰ | ゼミナール入門Ⅰ | アカデミックスキルⅡ |
| | 後期 | ゼミナール入門Ⅱ | ゼミナール入門Ⅱ | － |
| 2026 | 前期 | ゼミナールⅠ | ゼミナールⅠ | ゼミナール入門Ⅰ |
| | 後期 | ゼミナールⅡ | ゼミナールⅡ | ゼミナール入門Ⅱ ゼミナールⅠ |
| 2027 | 前期 | ゼミナールⅢ | ゼミナールⅢ | ゼミナールⅡ |
| | 後期 | ゼミナールⅣ | ゼミナールⅣ | ゼミナールⅢ |
| 2028 | 前期 | － | － | ゼミナールⅣ |

健康栄養学部

卒業要件

卒業するためには、各学部が定めるルール（履修規程）に定められた卒業要件単位数の修得が必要です。健康栄養学部の卒業要件は以下のとおりです。

2023～2024年度入学生

| 科目区分 | 卒業要件単位数 |
|---------------|--------------|
| 学部専攻科目（健康栄養学） | 必修科目を含め104単位 |
| 学部専攻科目以外 | 必修科目含め 20単位 |
| 合計 | 124単位 |

2021～2022年度入学

| 科目区分 | 卒業要件単位数 |
|---------------|--------------|
| 学部専攻科目（健康栄養学） | 必修科目を含め100単位 |
| 学部専攻科目以外 | 必修科目含め 24単位 |
| 合計 | 124単位 |

なお、卒業要件は卒業するための最低条件であり、これを超えて履修をすることを制限するものではありません。

3年次進級要件

- 2年次から3年次に進級するためには、2年次終了時の修得単位数が最低40単位が必要です。満たさない場合には、3年次に進級できません（2年次留年）。
- 教職課程で履修した科目は、修得単位数の積算に含みません。

科目の分類

教育課程表に記載された科目は、修得の条件により以下のように分類されます。

| 分類 | 内容 |
|--------|--|
| 必修科目 | 必ず履修し単位修得しなくてはならない科目です。試験等に不合格となり、単位修得できなかった場合には、再履修をし、単位を修得する必要があります。 ▶ 「教育課程表」の科目名の先頭に、*印があります。 |
| 履修指定科目 | 所定の年次において、履修が義務付けられた科目です。ただし、単位修得は必須ではありません。 ▶ 「教育課程表」の科目名の先頭に、◇印があります。 |
| 選択必修科目 | 指定された科目群から必要な単位数以上の修得が必要な科目です。 |
| 選択科目 | 履修と単位の修得が学生の判断に委ねられている科目です。 |
| 自由科目 | 卒業要件に含まれない科目です。主に教職課程に関する科目です。 |

履修登録ができる科目

本ガイドブックp.19で説明のとおり、教育課程表に記載された科目は、学部専攻科目と学部専攻科目以外の2つに分類されます。

この区分により、履修できる年次にルールがありますので、留意してください。

●学部専攻科目

履修できる学年が指定されています。教育課程表で指定するレベル（履修相当年次）以上でないと、履修登録はできません。

（例：1年生は、200番以上の科目を履修登録することはできません。）

●学部専攻科目以外

教育課程表に記載された科目は、学年を問わずすべての科目を履修することができます。自身のレベルにあわせて科目選択をしてください。

履修登録単位数の上限

1年間に履修登録できる単位数には上限があります。年次で条件が異なりますので、注意してください。

| 入学年度 | 区分 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 |
|-------------|---------|------|------|------|------|
| 2022～2024年度 | 年間上限単位数 | 44単位 | 48単位 | 48単位 | 48単位 |
| 2021年度 | | 44単位 | 44単位 | 44単位 | 48単位 |

※通年科目については、前期の制限に含みます。

履修指定科目 [2024年度入学生対象]

1年次には大学が指定する履修指定科目を履修する必要があります。履修指定科目は、事前にクラス（曜日時限）が指定されますので、指定されたクラスで必ず履修を行ってください。

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 開講期 | 備考 |
|----------|--------|----------|-----|--------|
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | データサイエンス | 前期 | 1クラスのみ |

大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目）

履修登録開始前までに、履修者が確定している科目は、大学があらかじめ履修登録を行います。事前登録を行った科目は、学生自身で履修登録を外すことはできません。登録されたクラスで履修をしてください。

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 備考 |
|----------|--------|----------|---------------------|
| 学部専攻科目 | 導入分野 | 基礎演習Ⅰ | 必修科目 |
| | | 基礎演習Ⅱ | |
| | | 情報処理演習Ⅰ | |
| | | 情報処理演習Ⅱ | |
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | データサイエンス | 履修指定科目 |
| | 語学 | 総合英語Ⅱ | 前期に「総合英語Ⅰ」を修得した学生対象 |

オンラインで実施される授業

授業は原則対面（教室）にて実施されますが、以下科目は、オンライン（Zoom等）で実施します。

| 科目群 | 科目名 | 開講期 | 曜日時限 | 担当教員 |
|--------|-------|-----|------|-------|
| 専門基礎分野 | 臨床生理学 | 前期 | 火2 | 足立 拓史 |

【履修上の注意】

- ①上記授業は、1回目よりオンラインにて授業を行います。授業履修の場合は、UNIPAにて履修登録のうえ、クラスプロフィールより該当授業に関する情報（リンク先）等の確認し、授業を履修してください。
- ②上記以外に、履修登録開始後、履修登録者が教室座席数を上回った場合に、教員の判断によりオンライン授業に切替える場合があります。この場合も、UNIPAクラスプロフィール等から、適宜情報を確認し、教員の指示に従ってください。
- ③オンライン授業を履修するにあたっての留意事項は、p.84も参考にしてください。

科目区分ごとの注意事項

●学部専攻科目（健康栄養学）

- ①必修科目（教育課程表を参照）を必ず履修、単位修得してください。
- ②必修科目以外については以下をよく確認し、履修をしてください。

| 選択科目 | 単位数 | 履修相当年次 | 注意事項 |
|--------------------------|-----|--------|---|
| 基礎生物学 | 2 | 1 | 学部教育の必要上、履修登録し受講すること。 |
| 基礎化学 | 2 | 1 | |
| 食生活論 | 2 | 1 | |
| カウンセリング演習 | 1 | 1 | |
| 医学概論 | 2 | 3 | |
| HACCP管理演習 | 1 | 3 | |
| 生化学Ⅱ | 2 | 4 | |
| 統計学演習Ⅱ | 1 | 3 | 学部教育の必要上、履修登録し受講すること。 ただし、別科目の再履修と重複する場合は、この限りではありません。 |
| 健康栄養特講A～H | 1 | 4 | 管理栄養士国家試験の受験希望者は履修登録し、受講すること。 |
| スポーツ栄養管理 | 2 | 3 | 履修を推奨する科目。 視野を広げ、より専門性を高めることができます。 |
| 栄養管理海外研修 | 2 | 2 | |
| 専門演習Ⅰ | 1 | 3 | |
| 地域の食と栄養活動実習Ⅱ (地域食育活動) | 1 | 4 | |
| 専門演習Ⅱ | 1 | 4 | 専門演習Ⅰを履修し、継続して専門演習の履修を希望する者は、履修登録し受講すること。 |

●学部専攻科目以外

- ①学部専攻科目以外の科目群から、2023～2024年度入学生は20単位、2021～2022年度入学生は24単位以上を修得してください。科目群の指定はありません。
- ②前ページで説明した事前登録を行う科目以外に、履修を推奨する科目は以下のとおりです。なお、履修する場合は、自身で履修登録を行ってください。
 - ・総合英語Ⅰ・Ⅱ：「栄養英語」や「栄養学基礎英語」の基礎となる科目です。（※2022年度以降入学生対象）
 - ・スポーツ実践（種目名）：身体活動時の栄養特性や栄養指導を理解する上で基礎となる科目です。

国家試験の受験に向けて履修が必要な科目およびその他要件

国家試験を受験する場合は、生化学Ⅱおよび健康栄養特講（すべて）を必ず履修してください。また、学部の実施する集中補習講座（春期・夏期）および関連する学習・勉強会、模擬試験などへの参加も基本的には必須となります。なお、国家試験の受験を希望しない場合およびその他・特別な理由がある場合はこの限りではありません。

2024年度からの新設科目・名称変更等 【2023年度以降入学生対象】

| 変更分類 | 科目群 | 23年度科目名 | 24年度科目名 | 備考 |
|------|------------|------------------|------------------|--------------------------------|
| 単位数 | 学部専攻) 必修科目 | 栄養学基礎英語 (1単位) | 栄養学基礎英語 (2単位) | 2023年度以降入学生対象 (※2025年度より開講) |
| 廃止 | 学部専攻) 必修科目 | 栄養英語 | — | |

スポーツ科学部

卒業要件

卒業するためには、各学部が定めるルール（履修規程）に定められた卒業要件単位数の修得が必要です。各科目群で、細かく卒業条件が定められていますので、教育課程表を確認しながら、履修漏れのないよう履修していきましょう。

なお、卒業要件は卒業するための最低条件であり、これを超えて履修することを制限するものではありません。

- 2024年度入学生（1年生）および2023年度入学生（2年生）対象

※必ず自身の入学年度を参考にしてください。

| 科目区分 | | 2024年度入学生 | | 2023年度入学生 | | |
|----------------------|--------------|-----------|-------|-----------|-------|------|
| ①学部専攻科目（スポーツ科学） | 基礎科目 スポーツ | 基礎演習系 | | 8単位必修 | 8単位必修 | 42単位 |
| | | 人文・社会科学系 | | 14単位 | 14単位 | |
| | | 自然科学系 | | 14単位 | 14単位 | |
| | | 実技実習系 | a | 2単位 | 2単位 | |
| | | | b | 2単位 | 2単位 | |
| | c | | 1単位 | 1単位 | | |
| | d | | 1単位 | — | | |
| | 探究科目 スポーツ | 探究演習系 | | 8単位 | 8単位 | 36単位 |
| | | 競技スポーツ系 | | 28単位 | 28単位 | |
| | | 生涯スポーツ系 | | | | |
| | 形成科目 キャリア | 領域横断演習系 | | 12単位 | 12単位 | |
| | | 競技スポーツ演習系 | | | | |
| | | 生涯スポーツ演習系 | | | | |
| | | 保健体育指導系 | | | | |
| | | キャリアアップ系 | | | | |
| ②学部専攻科目以外 | | 28単位 | 28単位 | | | |
| ③科目区分制限なし（教職専門科目を除く） | | 6単位 | 6単位 | | | |
| 合計 | | 124単位 | 124単位 | | | |

【重要】2023年度入学生（2年生）のみなさんへ

2024年度から、カリキュラムの大幅な変更が行われます。学部ガイダンスの説明をよく聞き、変更点を正確に把握してください。

- ①科目区分の名称変更 教育課程表等に記載されていた科目区分の名称が変更されます。
- ②卒業要件単位数の変更 学部専攻科目における卒業要件単位数が、**74単位→90単位**に変更されます。
- ③コース選択制の廃止 競技スポーツコース、生涯スポーツコースの**コース選択が不要**になります。

2024年度の教育課程表をみながら、①～③を確認し、計画的に履修を進めてください。

●2022年度以前入学生（3年生以上）対象

| 科目区分 | | | | 2022年度入学生 | | 2021年度入学生 | | |
|----------------------|-------|--------------------------|---------|-----------|------|-----------|------|------|
| ①学部専攻科目（スポーツ科学） | 共通科目 | A群 | | 8単位必修 | | 8単位必修 | | |
| | | B群 | | 10単位 | | 10単位 | | |
| | | C群 | | 10単位 | | 10単位 | | |
| | | D群 | a科目群 | 3単位 | 8単位 | 3単位 | 8単位 | 42単位 |
| | | | b科目群 | 3単位 | | 3単位 | | |
| | c科目群 | | 1単位 | 1単位 | | | | |
| | d科目群 | | － | 1単位 | | | | |
| | コース科目 | 共通 | | 8単位必修 | | 8単位必修 | | |
| | | 競技スポーツコース* 生涯スポーツコース* | a科目群：講義 | 6単位 | 18単位 | 6単位 | 18単位 | 26単位 |
| | | | b科目群：講義 | 6単位 | | 6単位 | | |
| c科目群：演習 | | | 2単位 | 2単位 | | | | |
| キャリア形成科目 | | 6単位 | | 6単位 | | | | |
| ②学部専攻科目以外 | | | | 28単位 | | 28単位 | | |
| ③科目区分制限なし（教職専門科目を除く） | | | | 22単位 | | 22単位 | | |
| 合計 | | | | 124単位 | | 124単位 | | |

※「競技スポーツコース」か「生涯スポーツコース」どちらかのコースを選択し、卒業要件を満たすことが必要です。

3年次進級要件

2年次から3年次に進級するためには、2年次終了時の修得単位数が最低40単位が必要です。これを満たさない場合には、3年次に進級できません。（2年次留年）

科目の分類

教育課程表に記載された科目は、修得の条件により以下のように分類されます。

| 分類 | 内容 |
|--------|---|
| 必修科目 | 必ず履修し単位修得しなくてはならない科目です。試験等に不合格となり、単位修得できなかった場合には、再履修をし、単位を修得する必要があります。 ▶「教育課程表」の科目名の先頭に、*印があります。 |
| 履修指定科目 | 所定の年次において、履修が義務付けられた科目です。ただし、単位修得は必須ではありません。 ▶「教育課程表」の科目名の先頭に、◇印があります。 |
| 選択必修科目 | 指定された科目群から必要な単位数以上の修得が必要な科目です。 |
| 選択科目 | 履修と単位の修得が学生の判断に委ねられている科目です。 |
| 自由科目 | 卒業要件に含まれない科目です。主に教職課程に関する科目です。 |

履修登録ができる科目の制限

本ガイドブック p.19で説明のとおり、教育課程表に記載された科目は、学部専攻科目と学部専攻科目以外の2つに分類されます。この区分により、履修できる年次にルールがありますので、留意してください。

●学部専攻科目

履修できる学年が指定されています。教育課程表で指定するレベル（履修相当年次）以上でないと、履修登録はできません。

（例：1年生は、200番以上の科目を履修登録することはできません。）

●学部専攻科目以外

教育課程表に記載された科目は、学年を問わずすべての科目を履修することができます。自身のレベルにあわせて科目選択をしてください。

履修登録単位数の上限

履修登録にあたり、年次ごとに登録できる単位数が定められています。

| 区分 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 |
|---------|------|------|------|------|
| 年間上限単位数 | 44単位 | 44単位 | 44単位 | 48単位 |

履修指定科目 【2024年度入学生対象】

1年次には大学が指定する履修指定科目を履修する必要があります。履修指定科目は、事前にクラス（曜日時限）が指定されますので、指定されたクラスで必ず履修を行ってください。

| 科目区分 | 科目群 | 科目名 | 開講期 | 備考 |
|----------|--------|-----------|-------|---------------------|
| 学部専攻科目以外 | ICTスキル | ICTリテラシーA | 前期 | |
| | | ICTリテラシーB | 後期 | |
| | | データサイエンス | 後期 | |
| | 語学 | 日本語Ⅰ | 前期・後期 | 外国人留学生対象 |
| | | 日本語Ⅱ | 前期・後期 | |
| | | 日本語特講Ⅰ | 前期・後期 | |
| | | 日本語特講Ⅱ | 前期・後期 | |
| | | 総合英語Ⅱ | 後期 | 前期に「総合英語Ⅰ」を修得した学生対象 |

大学にて事前に履修登録を代行する科目（事前履修登録科目）

履修登録開始前までに、履修者が確定している科目は、大学があらかじめ履修登録を行います。事前履修登録科目は、学生自身で履修登録を外すことはできません。登録されたクラスで履修をしてください。

【事前履修登録の対象科目】

- ①履修指定科目
- ②以下の演習系科目（以下科目については、クラス分けに基づき、事前登録を行います。）
 - 2024年度入学生（1年生）：スポーツキャリア演習Ⅰ・Ⅱ
 - 2023年度入学生（2年生）：スポーツキャリア演習Ⅱ
 - 2022年度入学生（3年生）：スポーツ専門演習Ⅰ・Ⅱ
 - 2021年度入学生（4年生）：スポーツ専門演習Ⅱ
- ③教職課程の一部科目（対象：教職実習研修、教職実践演習、教育実習Ⅰ・Ⅱ）
- ④「総合英語Ⅱ」※「総合英語Ⅰ」を修得した学生対象

コース選択および変更方法 【2022年度以前入学生対象（3年生以上）】

スポーツ科学部の学生は、2年次に「競技スポーツコース」もしくは「生涯スポーツコース」のいずれかを選択する必要があります。登録したコースの情報に基づき卒業判定が行われますので、自身が選択したコースの卒業要件を満たせるよう、4年次までの履修を進めましょう。

《登録したコースの確認方法》

登録した情報は、UNIPA「学籍情報照会」→「▼所属」欄から確認することができます。

The image shows a screenshot of the UNIPA portal. On the left, a dropdown menu is open under '学籍' (Records), with '学籍情報照会' (Student Record Inquiry) selected. An arrow points from this menu to a table of student information.

| ▼ 所属 | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 入学種別/Admission type | 入学 |
| 就学種別 | 学部生 |
| 入学年度/Enrollment year | 2019 |
| 入学期NO/Enrollment No. | 前期 |
| みなし入学年度/Pre-enrollment year | 2019 |
| みなし入学期NO/Pre-enrollment No. | 前期 |
| 所属学科組織/Faculty | 大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 |
| カリキュラム学科組織/Major | 大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 (生涯) コース |

《登録したコースの変更方法》

登録したコースの変更を希望する場合は、指導教員（「スポーツ専門演習」担当教員）に相談してください。その上で「コース変更願」を作成し、履修登録期間中に教務委員会委員長に提出してください。なお「コース変更願」は、スポーツ科学部事務室で受け取ることができます。

2024年度からの新設科目・名称変更等【2023年度以前入学生対象】

①2023年度以前入学生対象（2～4年生共通）

ア. 科目名に数字を使用していた科目の名称変更

これまで科目名に数字が使われていた科目のうち、一部科目については、2024年度から数字を削除します。なお、科目内容に変更はありません。成績証明書等には、修得時点での科目名称が表示されます。

例： 2023年度まで 2024年度～
『実技実習 a 1（トレーニング／体づくり運動）』 ⇒ 『実技実習 a（トレーニング／体づくり運動）』

数字が削除

科目名から数字が削除される科目は、以下のとおりです。

| 科目群（2年次） | 科目群（3・4年次） | 科目名 |
|-----------|------------|--|
| 実技実習系 | 共通科目D群 | ・実技実習 a 1～a 7（種目名） ・実技実習 b 1～b 7（種目名） ・実技実習 c 1～c 3（種目名） ・実技実習 d 1～d 3（種目名） |
| 競技スポーツ演習系 | 競技スポーツコース | 競技スポーツ演習 1～7、10（分野名） |
| 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツコース | 生涯スポーツ演習 1～8（分野名） |

イ. 演習科目の半期化

これまで、1～4年生必修の演習系科目はすべて通年科目でしたが、2024年度から、原則半期化されます。科目名の変更については、教育課程表を確認してください。本科目は事前にクラス分けされますので、履修登録は教務課にて事前に行います。

ウ. 科目名称変更

| 科目群（2年次） | 科目群（3・4年次） | 科目名 |
|----------|------------|---------------------------------|
| 競技スポーツ系 | 競技スポーツコース | 旧：競技スポーツ情報戦略論 新：競技スポーツ戦略・戦術論 |

エ. 休講

| 科目群（2年次） | 科目群（3・4年次） | 科目名 |
|-----------|------------|----------------------|
| 競技スポーツ演習系 | 競技スポーツコース | 競技スポーツ演習（トレーニング）（休講） |

オ. 2024年度廃止科目

2024年度に廃止となる科目は、以下のとおりです。

| 科目群（2年次） | 科目群（3・4年次） | 科目名 |
|---|------------|---------------------|
| 競技スポーツ系 | 競技スポーツコース | 競技スポーツトレーニング論 |
| | | 競技スポーツ戦術論 |
| 生涯スポーツ系 | 生涯スポーツコース | スポーツ行政論 |
| | | レクリエーション論 |
| | | 生涯スポーツ栄養論 |
| 競技スポーツ演習系 | 競技スポーツコース | 競技スポーツ演習8（データサイエンス） |
| 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツコース | 生涯スポーツ演習9（健康科学） |
| キャリアE群 （※科目群が廃止となるため、2年次教育課程表から削除します。） | キャリアE群 | スポーツ英語a1（会話） |
| | | スポーツ英語a2（会話） |
| | | スポーツ英語a4（会話） |
| | | スポーツ英語b3（読解） |

②2023年度入学生対象（2年生）

2024年度から、【キャリア形成科目】科目群の、競技スポーツサポート演習科目、生涯スポーツサポート演習科目、種目別コーチング科目がすべて廃止となるため、2年次教育課程表から削除します。対象科目は以下のとおりです。

| 科目群（2年次） | 科目名 |
|-----------|----------------------|
| 競技スポーツ演習系 | 競技スポーツサポート演習1～7（分野名） |
| 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツサポート演習1～8（分野名） |
| 領域横断演習系 | 種目別コーチング演習1～13（種目名） |

【コース科目c科目】群の科目（競技・生涯スポーツ演習）が、【キャリア形成科目】群（競技・生涯スポーツ演習系）に変更となります。

| 旧科目群 | | 新科目群 | | 科目名 |
|---------------------|-------------------|----------|-----------|---------------------------|
| コース科目 | 競技スポーツコース c科目群 | キャリア形成科目 | 競技スポーツ演習系 | 競技スポーツ演習（マネジメント） |
| | | | | 競技スポーツ演習（バイオメカニクス） |
| | | | | 競技スポーツ演習（ゲーム分析） |
| | | | | 競技スポーツ演習（体力） |
| | | | | 競技スポーツ演習（心理） |
| | | | | 競技スポーツ演習（傷害） |
| | | | | 競技スポーツ演習（トレーニング）※2024年度休講 |
| | | | | 競技スポーツ演習（チームマネジメント） |
| | 生涯スポーツコース c科目群 | | 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツ演習（スポーツプロモーション） |
| | | | | 生涯スポーツ演習（マネジメント） |
| | | | | 生涯スポーツ演習（地域スポーツ） |
| | | | | 生涯スポーツ演習（子どものスポーツ活動） |
| | | | | 生涯スポーツ演習（高齢者・要介護者のスポーツ活動） |
| | | | | 生涯スポーツ演習（野外活動・教育） |
| 生涯スポーツ演習（スポーツメディア論） | | | | |

上記以外の変更事項は、以下のとおりです。

| 科目群（2年次） | 科目名 | 変更 |
|---------------------------|---|--------------------------|
| 生涯スポーツ系 | 運動処方論 | 科目のレベルが、300番から200番になります。 |
| 旧：生涯スポーツコース 新：キャリアアップ系 | 旧：生涯スポーツ演習7（健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）） 新：健康運動指導等研修（事前事後指導を含む） | 科目区分と科目名が変更となります。 |
| 旧：競技スポーツコース 新：キャリアアップ系 | トレーニング指導実習 | 科目区分が変更となります。 |

2024年度新設科目は、以下のとおりです。すべて2025年度から開講となります。

| 科目群（2年次） | 科目名 |
|----------|------------------|
| 領域横断演習系 | スポーツ科学社会実装演習Ⅰ・Ⅱ |
| キャリアアップ系 | コーチング演習（水泳）Ⅰ・Ⅱ |
| | コーチング演習（サッカー）Ⅰ・Ⅱ |
| | コーチング演習（ホッケー）Ⅰ・Ⅱ |
| | コーチング演習（指導実践）Ⅰ・Ⅱ |

③2022年度以前入学生対象（3・4年生）

2024年度に〔キャリア形成科目〕科目群にて廃止となる科目は、以下のとおりです。

| 科目群（3・4年次） | 科目名 |
|------------|----------------------------|
| キャリアB群 | 競技スポーツサポート演習2（バイオメカニクス） |
| | 競技スポーツサポート演習6（傷害） |
| キャリアC群 | 生涯スポーツサポート演習1（スポーツプロモーション） |
| | 生涯スポーツサポート演習2（スポーツマネジメント） |
| | 生涯スポーツサポート演習3（子どもスポーツ） |
| | 生涯スポーツサポート演習4（高齢者スポーツ） |
| | 生涯スポーツサポート演習6（野外活動・教育） |
| | 生涯スポーツサポート演習8（健康科学） |

IV

履修上の注意 (学部専攻科目以外)

4章 履修上の注意（学部専攻科目以外）

学部専攻科目以外の各科目群について、履修上の注意事項を確認してください。

人文・社会・自然科学

- ①科目群【探究】については、2024年度より【人文・社会・自然科学】に名称変更されます。2023年度以前に修得した科目については、そのまま【人文・社会・自然科学】科目群の修得単位数としてみなします。
- ②原則として対面開講ですが、例年受講生の多い科目については初回からオンライン（ZOOMによる同時双方向）で実施する場合があります。UNIPAの掲示に注意してオンライン参加してください。
- ③対面・オンラインに関わらず、受講者数が上限に達した場合は受講者数の適正化を行うことがあります。必ず初回から出席（またはオンライン参加）するようにしてください。
- ④一部の科目は教職課程で必要となるものがあります。教職課程の希望者は計画的に履修するよう心掛けましょう。

ICTスキル

- ①1年生は、以下の科目が、それぞれ「履修指定科目」となっています。指定された曜日時限に必ず履修をしてください。

| 学部 | 履修指定科目 |
|---------|------------------------------|
| 法学部 | ICTリテラシーA、ICTリテラシーB、データサイエンス |
| 経営学部 | ICTリテラシーA、ICTリテラシーB、データサイエンス |
| 健康栄養学部 | データサイエンス |
| スポーツ科学部 | ICTリテラシーA、ICTリテラシーB、データサイエンス |

- ②教職課程履修者（ただし、健康栄養学部を除く）は、1年次に「ICTリテラシーA」および「ICTリテラシーB」のいずれの単位も修得できなかった場合、2年次に再履修が必要です。
- ③ICTスキル系科目で「履修指定科目」となっている科目により、「ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム」を構成しています。（健康栄養学部は専門科目も構成に含みます。）本学のこのプログラムは、文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」通称 MDASH Literacy の認定を受けています。詳しくは補足資料を参照してください。
- ④200番台、300番台の科目は100番台の科目の履修を前提としています。まだ、ICTスキルを十分に身に付けていない学生は、100番台の科目から履修しましょう。
- ⑤後期開講の「ICTリテラシーA」は9月入学生を対象としています。9月入学生のみが履修可能で、4月入学生は履修できません。

《補足資料》

数理・データサイエンス・AI認定プログラムについて

学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、適切に理解し活用する基礎的な能力（リテラシーレベル）や、課題を解決するための実践的な能力（応用基礎レベル）を育成するため、本学のICTスキル系科目の100番台科目をプログラム名「ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム」として、文部科学省より「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」通称 MDASH Literacy の認定を受けました。

MDASH: Approved Program for Mathematics Data science and AI Smart Higher Education designated by Gov of Japan.



【プログラム名称】

「ICTスキルとデータサイエンス修得プログラム」

【本教育プログラムを修了すると身につくこと】

必修科目を学ぶことで、ICTスキルとデータサイエンスを同時に学び、本教育プログラムを終了すると学生生活に必要な文書作成、表計算などのICTスキルと、社会でデータサイエンスを活用するための基礎的な能力が身につきます。

ICTスキルは、卒業後の職場ではもちろんのこと、社会の様々な場面で活用できます。また、データサイエンスを学ぶことで、ビッグデータやAIとともに生活する現代社会において、知らないことによる様々なリスクを回避し、活用することに興味を持つことができます。

【修了要件】

- ・ 法学部、経営学部、スポーツ科学部

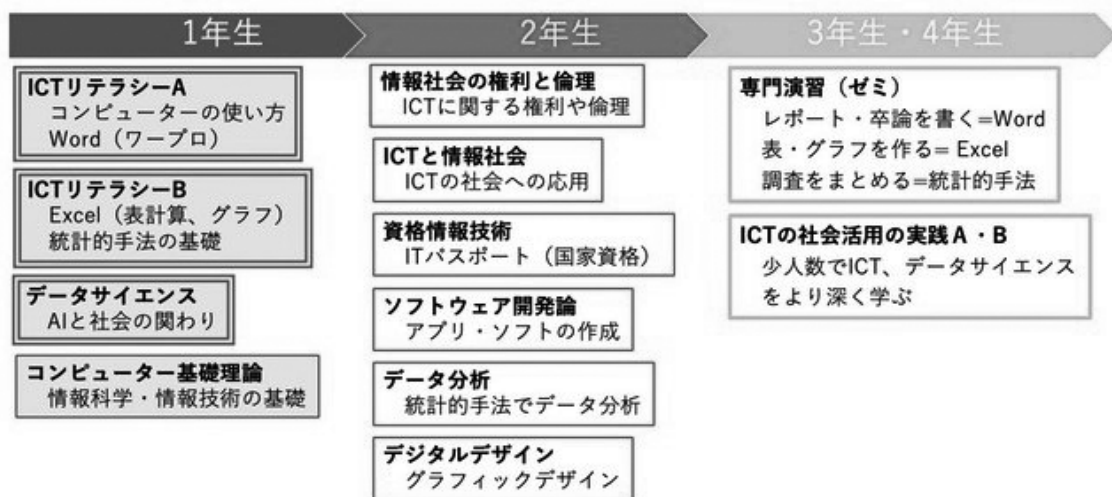
「ICTリテラシーA」「ICTリテラシーB」「データサイエンス」3科目必修

- ・ 健康栄養学部

「情報処理演習Ⅰ」「情報処理演習Ⅱ」「データサイエンス」3科目必修

※プログラムについての詳細は、山梨学院大学LEDセンター WEBサイトをご覧ください。

https://www.ygu.ac.jp/led/resource_detail.php?id=0155



2重枠が本教育プログラムに係る科目。他はプログラム修了者向けの周辺科目。

言語スキル

- ① 法学部および経営学部の1年生は「言語技術Ⅰ・Ⅱ」が履修指定科目となっています。指定された曜日時限に必ず履修をしてください。

ヒューマンスキル

履修条件の指定はありません。シラバスを読んで、履修したい科目を選んでください。

国際共修

- ①「国際共修入門」は、経営学部（1年次履修指定科目）と法学部（選択科目／学年不問）の学生が対象です。
- ②経営学部の学生は、1年次の前期または後期に「国際共修入門」を履修します。履修する学期（前期または後期）やクラスは指定されますので、そのとおりに履修登録してください。
- ③その他の国際共修科目は、全て選択科目です。履修条件などの詳細は、シラバスを確認してください。

語学（英語）

- ①英語科目は、全て選択科目です。
- ②「総合英語Ⅰ」の履修希望者は、学期開始前（前期は3月（在学学生対象）と4月（新入生対象）、後期は9月）に行われる「英語科目ガイダンス」に出席し、その中で「英語クラス分けテスト」を受ける必要があります。「英語クラス分けテスト」の結果により、クラス分けが行われます。必ず指定されたクラスを履修してください。
- ③「総合英語Ⅱ」は、「総合英語Ⅰ」単位修得者のみ履修可能です。原則、「総合英語Ⅰ」と同じ曜日時限に事前登録されます。「英語クラス分けテスト」の受験は不要です。
- ④その他、詳しい履修上の注意は、「英語学修ガイドブック」およびシラバスを参照してください。

語学（日本語）【外国人留学生（外国人留学生入学者選抜にて入学した学生）対象】

- ①日本語科目には、履修指定科目と選択科目があります。すべての外国人留学生は、履修指定科目を履修する必要があります。教務課にて、履修登録を行いますので、指定されたクラスを必ず履修してください。

●履修指定科目：日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語特講Ⅰ、日本語特講Ⅱ

- ②外国人留学生は、学期開始前（4月入学者は3月末、9月入学者は9月初旬）に行われる「日本語クラス分けテスト」を必ず受ける必要があります。
- ③「日本語クラス分けテスト」の結果により、履修指定科目のクラス分けが行われます。必ず指定されたクラスを履修してください。
- ④履修指定科目である「日本語Ⅰ・Ⅱ」履修者は、学期末（定期試験期間中）に行われる「日本語実力テスト」を必ず受ける必要があります。

語学（中国語）

- ①中国語科目は、全て選択科目です。ただし、中国語が母語の学生は履修できません。
- ②中国語科目には、「基礎中国語Ⅰ・Ⅱ」「初級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」があります。
- ③各科目のレベルや履修条件については、シラバスをよく確認してください。
- ④いずれの科目も初回の授業で中国語のレベルを確認しますので、必ず出席してください。

スポーツ

- ①「スポーツ実践（各競技名）」および「競技スポーツ実践A～F」は、履修可能な学生が異なります。
- ②「競技スポーツ実践A～F」は強化育成クラブに所属する学生のみが履修可能な履修指定科目です。
履修登録前に、教務課が指定の曜日時限に事前履修登録をします。ただし、学生自身による事前履修登録の解除が可能です。
入学後に強化育成クラブに入部をした学生の受講の可否については各指導者に確認をしてください。
- ③「スポーツ実践（各競技名）」は強化育成クラブに所属する学生以外が履修できます。
- ④「スポーツ実践（各競技名）」および「競技スポーツ実践A～F」は、1年間で2科目、2単位まで修得が可能です。
- ⑤「スポーツ実践（各競技名）」および「競技スポーツ実践A～F」は、在学中に合計6単位まで修得が可能です。
- ⑥「スポーツ実践（各競技名）」は人数適正化のために抽選を実施します。初回は別途出ます指示に従って集合してください。
- ⑦スポーツ科学部は、「スポーツ」科目群の科目の開講はありません。

キャリア形成支援

- ①次の3科目を除き、すべて1回目の授業から対面授業です。
オンライン開講 = 「グローバル人材の形成」「キャリア開発入門（中国語開講）」「キャリア開発演習（中国語開講）」
- ②「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン基礎」「キャリアデザイン発展」は順に履修するよう設計されています。「入門 → 基礎 → 発展」の順での履修を推奨します。
- ③2024年度より「インターンシップ」（法・経開講）および「インターンシップ（公務）」（法開講）は2単位から4単位に変更されます。就活に役立つ経験となりますので履修を推奨します。

オンラインで実施される授業

授業は原則対面（教室）にて実施されますが、以下科目は、オンライン（Zoom等）で実施します。

| 科目群 | 科目名 | 開講期 | 曜日時限 | 担当教員 | 備考 |
|------------|------------|-----|------|-------|-------|
| 人文・社会・自然科学 | ジェンダー学Ⅰ | 前期 | 金4 | 茅根 美保 | |
| | ジェンダー学Ⅰ | 前期 | 金5 | 茅根 美保 | |
| | ジェンダー学Ⅱ | 後期 | 金4 | 茅根 美保 | |
| | ジェンダー学Ⅱ | 後期 | 金5 | 茅根 美保 | |
| | 文化人類学Ⅰ | 前期 | 金3 | 茅根 美保 | |
| | 文化人類学Ⅱ | 後期 | 金3 | 茅根 美保 | |
| | 倫理学Ⅰ | 前期 | 金1 | 桑名 法晃 | |
| | 倫理学Ⅰ | 前期 | 金2 | 桑名 法晃 | |
| | 倫理学Ⅱ | 後期 | 金1 | 桑名 法晃 | |
| | 倫理学Ⅱ | 後期 | 金2 | 桑名 法晃 | |
| | 宗教と人間Ⅰ | 前期 | 金3 | 桑名 法晃 | |
| | 宗教と人間Ⅱ | 後期 | 金3 | 桑名 法晃 | |
| | 歴史学Ⅰ | 前期 | 月2 | 小菅 信子 | |
| | 歴史学Ⅱ | 後期 | 月2 | 小菅 信子 | |
| | 日本史Ⅰ | 前期 | 月5 | 大隅亜希子 | |
| | 日本史Ⅱ | 後期 | 月5 | 大隅亜希子 | |
| | 地誌学 | 前期 | 月3 | 茗荷 傑 | |
| | 地理学Ⅰ | 前期 | 月4 | 茗荷 傑 | |
| | 地理学Ⅱ | 後期 | 月4 | 茗荷 傑 | |
| | 論理学Ⅰ | 前期 | 月3 | 田中 凌 | |
| 論理学Ⅱ | 後期 | 月3 | 田中 凌 | | |
| 哲学Ⅰ | 前期 | 月2 | 田中 凌 | | |
| 哲学Ⅱ | 後期 | 月2 | 田中 凌 | | |
| ICTスキル | 資格情報技術 | 前期 | 水3 | 原 敏 | |
| | 資格情報技術 | 後期 | 水2 | 原 敏 | |
| キャリア形成支援 | キャリア開発入門 | 前期 | 水3 | 李 博 | 中国語開講 |
| | キャリア開発入門 | 前期 | 水5 | 李 博 | 中国語開講 |
| | キャリア開発演習 | 後期 | 水3 | 李 博 | 中国語開講 |
| | キャリア開発演習 | 後期 | 水5 | 李 博 | 中国語開講 |
| | グローバル人材の形成 | 後期 | 木2 | 原 百年 | |

2024年度名称変更・廃止等科目一覧

2023年度より名称変更・科目群変更・廃止となる科目の一覧です。

| 科目群 | 区分 | 23年度科目名 | 24年度科目名 | 補足 |
|----------------|-------|------------------|------------------|------------|
| 人文・社会・ 自然科学 | 新設 | — | 日本の文学Ⅰ | 中国語開講のみ |
| | 新設 | — | 日本の文学Ⅱ | 中国語開講のみ |
| | 名称変更 | ジェンダー論Ⅰ | ジェンダー学Ⅰ | |
| | 名称変更 | ジェンダー論Ⅱ | ジェンダー学Ⅱ | |
| | 名称変更 | 生物と環境Ⅰ | 生物学Ⅰ | |
| | 名称変更 | 生物と環境Ⅱ | 生物学Ⅱ | |
| | 名称変更 | 自然の探究Ⅰ | 宇宙科学 | |
| | 名称変更 | 自然の探究Ⅱ | エネルギー科学 | |
| | 名称変更 | 人間と科学Ⅰ | 地球科学Ⅰ | 2024年度休講 |
| | 名称変更 | 人間と科学Ⅱ | 地球科学Ⅱ | 2024年度休講 |
| | 廃止 | 青年と社会 | — | |
| | 廃止 | 国際エコロジーの探究 | — | |
| | 廃止 | 生活世界の探究 | — | |
| | 廃止 | 葡萄栽培とワイン醸造 | — | |
| 言語スキル | 新設 | — | アクティブ・リーディング | A～C修得者も履修可 |
| | 新設 | — | アクティブ・ライティング | A～C修得者も履修可 |
| | 廃止 | アクティブ・リーディングA | — | |
| | 廃止 | アクティブ・リーディングB | — | |
| | 廃止 | アクティブ・リーディングC | — | |
| | 廃止 | アクティブ・ライティングA | — | |
| | 廃止 | アクティブ・ライティングB | — | |
| ヒューマン スキル | 名称 | 学びと社会のデザインⅡ A | 学びと社会のデザインⅡ | |
| | 廃止 | 学びと社会のデザインⅡ B | — | |
| キャリア 形成支援 | 科目群変更 | クオリティ・オブ・ライフの探究 | クオリティ・オブ・ライフの探究 | 【探究】より変更 |
| | 新設 | — | キャリア開発入門 | 中国語開講のみ |
| | 新設 | — | キャリア開発演習 | 中国語開講のみ |
| | 単位数 | インターンシップ 2単位 | インターンシップ4単位 | 法、経のみ |
| | 単位数 | インターンシップ(公務) 2単位 | インターンシップ(公務) 4単位 | 法のみ |
| | 廃止 | キャリア形成論 | — | |
| 語学 | 新設 | — | 実用英語(日常生活) A | |
| | 新設 | — | 実用英語(日常生活) B | |
| | 新設 | — | 実用英語(旅行・留学) A | |
| | 新設 | — | 実用英語(旅行・留学) B | |
| | 廃止 | コミュニケーション基礎英語A | — | |
| | 廃止 | コミュニケーション基礎英語B | — | |
| | 廃止 | コミュニケーション初級英語A | — | |
| | 廃止 | コミュニケーション初級英語B | — | |
| | 廃止 | コミュニケーション中級英語A | — | |
| | 廃止 | コミュニケーション中級英語B | — | |
| | 廃止 | 日本語文法 | — | |
| | 廃止 | 日本語コミュニケーション | — | |
| | 廃止 | 日本語文法 | — | |

2024年度休講科目一覧

以下の科目は、2024年度休講です。教育課程表にも、科目名のうしろに、休講の表記がされています。
履修登録画面には表示されません。

| 科目群 | 科目名 |
|------------|----------------|
| 人文・社会・自然科学 | 地球科学Ⅰ |
| | 地球科学Ⅱ |
| | 科学史 |
| キャリア形成支援 | ファイナンシャル・リテラシー |
| | 実践キャリア論 |
| 語学 | 資格英語（TOEIC）Ⅱ A |
| | 資格英語（TOEIC）Ⅱ B |
| | アカデミック日本語Ⅱ A |
| | アカデミック日本語Ⅱ B |
| | キャリア日本語Ⅱ A |
| | キャリア日本語Ⅱ B |

V

授業を受ける前に
確認しておくこと

5章 授業を受ける前に確認しておくこと

授業の出席方法

授業の出席の登録はUNIPAで行います。登録ができるのはスマートフォンからのみです。授業の際には必ずスマートフォンを携帯しましょう。なお、出席の確認方法は科目によって異なりますので、担当教員の指示に従ってください。

【UNIPAでの出席登録方法】

①スマホ版UNIVERSAL PASSPORTのログイン画面を開いてアカウント情報を入力します。



UNIPAで出席の登録ができるのは、スマートフォンからのみです。

※スマートフォンを忘れてしまった場合やバッテリーが無くなってしまった等の場合は、担当教員に申し出ましょう。

②ログインに成功すると出席登録画面が表示されます。「認証コード^{*1}」を入力して「出席登録する」を押下します。

^{*1} 「認証コード」は担当教員から授業の中で提示されます。この認証コードは毎回異なりますので、授業に参加しないと知ることができません。

③正常に処理が行われると下記の画面が表示されます。携帯を閉じる前に、この画面が出ていることを必ず確認してください。



授業情報の確認方法

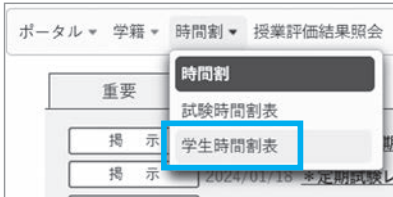
時間割の確認方法

履修期間中に授業の登録をして履修が確定すると、UNIPAで時間割表を確認することができますようになります。時間割表では、履修中の科目の開講曜日時限、担当教員、教室などが確認できます。

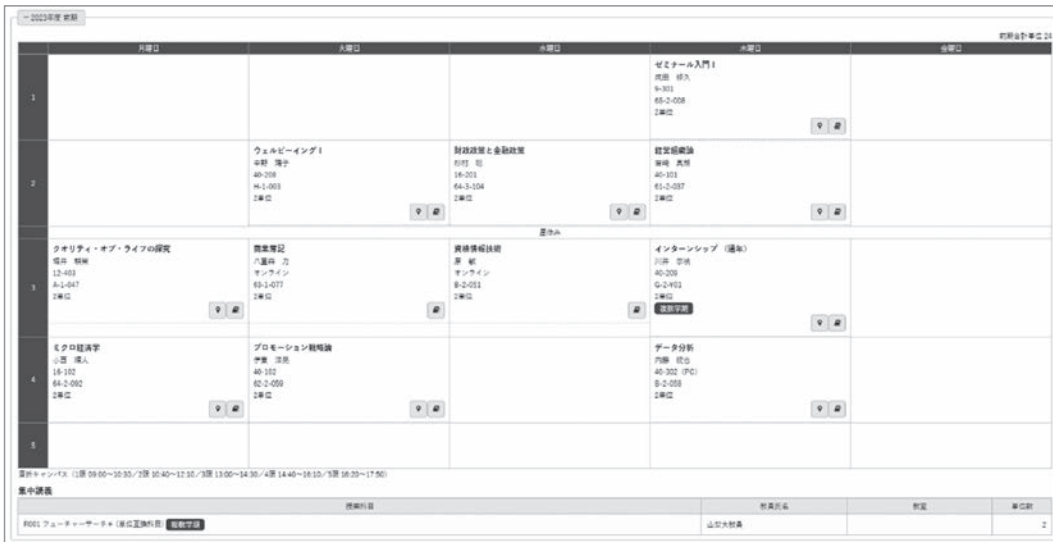
時間割は以下の2つの方法で確認することができます。

●メインメニューから確認する方法

①UNIPAのメインメニューから、時間割 > 学生時間割表を選択します。



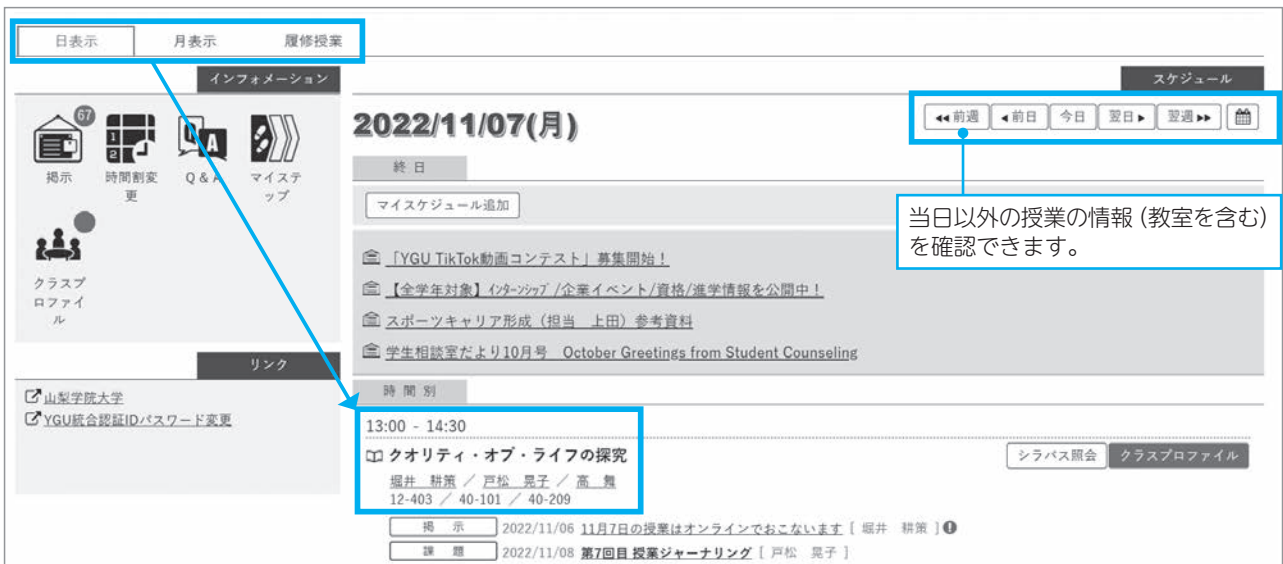
②履修登録した授業が曜日（月～金曜日）×時限（1限～5限）で画面に表示されます。（※集中講義は表の下に表示）



| 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|--|--|--|--|--|
| | | | | ゼミナール入門1 授業 時限 61-201 61-2-008 2単位 |
| | ウェルビーイング1 40-208 64-2-003 2単位 | 経営情報と金融政策 61-201 64-2-104 2単位 | | 経営概論 64-101 61-2-037 2単位 |
| クオリティ・オブ・ライフの探究 12-403 64-1-047 2単位 | 商業簿記 12限 2時 オンライン 61-1-077 2単位 | 資格情報技術 8限 2時 オンライン 8-2-011 2単位 | インターンシップ (通知) 11限 2時 40-209 61-2-011 2単位 | |
| モクロ経済学 18-102 64-2-002 2単位 | プロモーション戦略 40-102 62-2-009 2単位 | | データ分析 7限 2時 40-202 (PC) 8-2-008 2単位 | |

●Home画面から確認する方法

①UNIPAのHome画面から「日表示」タブ>スケジュールエリアで曜日時限、科目名、担当教員が確認できます。



Home画面の「日表示」タブを選択し、スケジュールエリアを確認します。

当日以外の授業の情報(教室を含む)を確認できます。

13:00 - 14:30
クオリティ・オブ・ライフの探究
堀井 耕策 / 戸松 晃子 / 高 舞
12-403 / 40-101 / 40-209

教室について

授業を行う教室は科目によって異なります。どの教室で行われるかは時間割表で確認することができます。時間割表等に表示されている教室の表示は以下のように見ます。

【教室表示の見方】

9 - 3 00

① ② ③

①建物番号（～号館）

②階数

③通し番号

樹徳館 多目的室

④

⑤

④建物名称

⑤部屋名称

教員からの授業に関する連絡

履修登録した授業の履修制限、休講・補講、教室変更、定期試験に関する情報や講義資料の共有など、授業に関する教員からの連絡はUNIPAから通知されます。通知の内容は以下の方法で確認できます。

①UNIPAのHome画面から「掲示」を選択します。



②「授業」タブをクリックします。



③授業担当教員からののお知らせが表示されます。



なお、「授業に関するお知らせ」は、UNIPAで履修登録を行った翌日から確認できるようになります。そのため、授業に参加する直前または当日に履修登録をした場合は、授業に関する教員からののお知らせを見ることができません。お知らせが見ることができないと、第1回目の授業に参加できない、授業を受けることができなくなるなどの不利益が生じます。受講したい授業があったら**授業の前日までに必ず履修登録をしてください**。

また、履修登録期間中にはUNIPAの機能「クラスプロファイル」> 授業資料に教員からのお知らせが届くこともあります。この「授業資料」機能には「掲示」のような閲覧の制限はありません。授業に参加する前には「授業資料」機能も確認しましょう。

オンライン授業を受講するときの注意点

オンライン授業となる場合


授業は原則としてキャンパス内で対面にて実施しますが、一部科目はオンラインで開講されます。「オンライン授業」とは、時間割にある開講時限に授業が実施され、Zoom等のツールを使い、双方向で行う授業のことを指します。基本的にパソコンもしくはスマートフォン等で受講することになりますので、授業を受ける時に支障がないよう通信環境や受講環境を整えておきましょう。

● オンライン授業である場合の表示

学期開始前にオンライン授業として実施されることが決まっている科目は、授業情報の教室欄に「オンライン」と記載されています。

例1：(履修登録した授業で見る場合) UNIPA > メインメニュー > 時間割 > 学生時間割

民法A (法：I-Pクラス)
成澤 寛
オンライン
12-1-047
2単位



例2：(授業時間割から見る場合) UNIPA > メインメニュー > 開講授業一覧

| 曜日 | 時限 | 科目群 | 授業科目名 | 教員 | 代表教室 |
|----|----|-----|-------|------|-------|
| 木 | 3 | 法学 | 民法A | 成澤 寛 | オンライン |

なお、履修登録開始後に履修者人数が教室座席数を超えたためオンライン授業に切替わる科目があります。オンラインに切り替わった科目は、UNIPA > 掲示 から定期的にお知らせします。通知がきたら確認するようにしましょう。

キャンパス内でオンライン授業を受講する場合

授業は原則として対面で実施されますが、時間割の組み合わせ次第(例：1限が対面授業、2限がオンライン授業、3限が対面授業など)では、キャンパス内でオンライン授業を受講しなければならない場合があります。そういった場合は、オンライン授業を受講する学生向けに教室を開放していますので、指定のあった教室で受講するようにしてください。指定の教室は、学生向けポータルサイトまたはUNIPAの掲示でお知らせします。(キャンパス内のフリースペースなどで受講することもできます。)

また、オンライン授業は、自宅、寮等で受講することも可能です。

教員への問合せ方法

オフィスアワー

教員は担当授業がある日は大学にいますが、研究を行うため大学にいない日もあります。大学生活を送っていると「教員と直接お話がしたい!」という場合があると思います。そういった場合には「オフィスアワー」を見てください。オフィスアワーには教員の空き時間や研究室の場所が掲載されています。教員の空き時間を確認する時に活用しましょう。なお、オフィスアワーは学生向けポータルサイトに掲載しています。

UNIPA授業Q&A登録

- 「(専門用語) ○○と△△って何が違うの?」
- 「オンライン授業のURLはどこに載っているの?」
- 「この授業に出席するのに記録には“欠席”となっている…なぜ?」
- 「病気のため課題の締切りに間に合わないかもしれない…」
- 「今回のテストの採点について聞きたいことがある」

上記のような授業に関する疑問があったらUNIPAのクラスプロフィールから担当教員に直接質問してみましょう。

(操作手順)

- ① UNIPAのインフォメーションからクラスプロフィールをクリックして、連絡をとりたい教員の科目を選択します。



- ② “授業Q & A登録”のアイコンをクリックします。



- ③ **+新規** をクリックします。
- ④ 必須項目 (✓のついている項目) を入力します。
- ⑤ **[確定]** をクリックします。

※授業に関する大学・学部の共通ルールや授業以外の質問については、以下の方法で担当部署へ問い合わせるか、クリスタルタワー2階の大学総合窓口まで来てください。

UNIPA > メインメニュー > Q&A > Q&A登録

クラスプロファイル

UNIPAの機能の中に「クラスプロファイル」という機能があります。クラスプロファイルは授業の中で一番使用する機能です。

ここでは、「クラスプロファイル」の中で使用頻度の高い機能の説明をします。下記以外の機能の説明については、学生向けポータルサイトにあるマニュアルを参照してください。

【クラスプロファイル機能の使い方】

Home画面のインフォメーションウィンドウにあるクラスプロファイルをクリックしてください。

履修している科目の一覧が出るので、対象の科目を選択してください。

※アイコン右上の●は「未読の新着情報があること」を示しています。



①授業資料

授業で使用した資料はここで共有されます。（※資料が共有されるか否かは科目担当教員によります。）ここには授業資料が共有されるとともに、**第1回目・第2回目の授業の前には授業の形態、レポート課題、授業参加までに用意すべきこと、授業に参加する条件等**が表示されます。担当教員からの指示を見 overs と、その科目を履修できない、GPAが下がる等の不利益が生じます。第1回目・第2回目の授業前にはとくに、授業資料に掲載されている内容を必ず確認するようにしましょう。

②課題提出

ここには授業担当教員からの課題が提示されます。課題一覧から対象の課題を選択すると、課題の内容が確認できます。なお、それぞれの課題には提出期限があります。提出期限を過ぎると課題は提出できなくなるので注意してください。

③授業Q&A登録

履修している授業について、担当教員に質問や連絡があるときに使用します。「+新規」をクリックして必須項目（「✓印」の項目）を入力して確定を押してください。しばらく時間がかかるときもありますが、教員から返答がきます。なお、皆さんからの質問や連絡がわかりやすいと回答までの時間も短くなります。連絡を行う時は用件をわかりやすく書くことを心がけ、投稿する時間や文書のマナーに気をつけて投稿しましょう。

④ WebNote

課題などを提出する際に「WebNoteにコピー」すると学習データが蓄積されます。蓄積されたデータはポートフォリオとして格納されます。

⑤授業評価回答

学期末に授業評価アンケートを行っています。皆さんからいただいた回答は大学の教育改善のために活用されています。授業内で担当教員から授業評価アンケート回答の案内があったらご協力をお願いします。

上記機能の詳細、その他機能の説明は、学生向けポータルサイトに公開されているUNIPAマニュアルを参照してください。

ライティングサポートデスク

ライティングサポートデスクは、小論文、レポート、自己PRの文章が「上手に書けない!」、「書いてはみたけれど、これで良いのか分からない…」などと悩んでいる人、もっと主張とまとまりのある文章を書けるようになりたいと考えている人をサポートします。「書く力」をつけたい方、どなたでも利用できます。

ライティングサポートデスクの活動

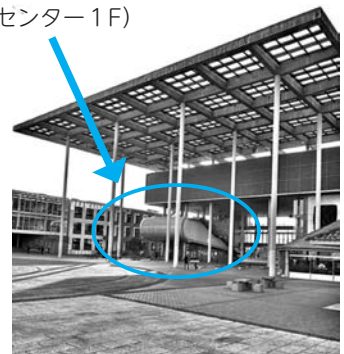
ライティングサポートデスクは、以下の個別相談や講座・ワークショップなどを通し、ライティングを基礎とした学びを支援しています。教員のほか、研修を受けた学生サポーターやSA（ステューデント・アシスタント）もライティングの相談に対応します。

- ・文章作成についての個別相談（1回30分間程度）
- ・授業でのノートやメモの取り方を身につけるためのワークショップの開催
- ・レポートの文章作成をスムーズに進めるためのワンポイント・アドバイス講座

利用案内

- 期 間：各学期の授業および試験期間
- 開 室 日：月～金曜日2～4限（10：30～16：10）
- 相談内容：レポート、小論文、自己PR文などの文章作成にかかわること。
- 場 所：キャンパスセンター1階
（右写真参照：屋根が広く突き出ている建物の1階）

ライティングサポートデスク
（キャンパスセンター1F）



利用シミュレーション

サポートデスクに来る

レポートの下書き・アイデアのメモなどを持参

相談・アドバイスを受ける

相談時間は1件につき30分間。添削ではなく、自分で書く力をつけるアドバイスをします。

アドバイスをもとに文章を書き直す。

文書の完成・活用

文章は書き直すほど読みやすく、相手に伝わりやすくなり、完成度が高くなります。出来上がった文書を再チェックするために、サポートデスクにまた来てください。

授業以外でも英語を使いたい、勉強したいという方は、ぜひ English Cafe Lesson を活用してください。

経験豊富でフレンドリーな英語講師による“無料”レッスンが受けられます。1対1での実践的な練習を通し、英語力を向上させるとともに、英語への苦手意識を克服し、自信をつけていきましょう。

- 授業形態：個人レッスン
対面（English Cafe）またはオンライン
- レッスン時間：1回30分
- レッスン内容：受講生それぞれの英語レベル、
学習目的に合わせたレッスンが受けられます。
- 予約方法：グローバルラーニングセンター（GLC）の
WEBサイト↓から予約



- 場所：新9号館2階

YGUグローバル・エキスパート認定制度（※2022年度以降の入学生が対象）

グローバルラーニングセンターおよび学生センターが提供する「国際化」に関連する機会（授業・授業外のイベント参加や諸活動、海外留学、語学試験受験など）を積極的に活用し、語学と国際共修の両方面で高度な実践力を修得したと認められる学生を表彰する認定制度です。

該当科目履修やイベント参加等によりポイントが付与され、累積獲得ポイントが一定以上になると表彰されます。（※詳細はUNIPA およびグローバルラーニングセンターのホームページにて案内します）

「YGU グローバル・エキスパート認定」は2022年度から始まった新しい制度で、法学部・経営学部・スポーツ科学部の学生が対象です。

| レベル | 必要ポイント数 | 褒賞金 |
|--------|---------|------|
| ルーキー | 80pt | 1万円 |
| ジュニア | 150pt | 3万円 |
| シニア | 300pt | 5万円 |
| エキスパート | 500pt | 10万円 |



YGUグローバル・エキスパート認定

総合図書館

本学の図書館では、学術研究・調査または学習を目的として、図書・雑誌・新聞等の資料閲覧、図書の貸出を行っています。

また、日本文化・歴史を感じさせる本や英語で書かれた日本の漫画なども紹介しています。充実した学生生活を送るために、図書館を大いに活用しましょう。

利用案内については、山梨学院大学総合図書館WEBサイトをご覧ください。

<https://www.ygu.ac.jp/lib/index.html>

利用時間

授業期間 9:00-20:00

授業外期間 9:00-17:00

土曜日（図書館カレンダー確認）、夏季休暇中 9:30-16:30

休館日

- ・日曜日・国民の祝日（授業のある日は開館）
- ・夏季・冬季休暇中の一定期間
- ・その他、図書館長が必要と認めた日

※開館時間・休館日の変更は館内掲示や図書館カレンダーを参照してください。



利用上の注意

- ・館内の施設や図書を大切に扱い、他の利用者の迷惑になる行為はしないでください。
- ・館内での喫煙と飲食は禁止ですが、ペットボトル等フタのできる飲み物は持ち込みできます。
- ・携帯電話はマナーモードにして、通話は1Fエントランス・2Fリフレッシュスペースで行ってください。
- ・貴重品の管理は十分に注意してください。

MEMO

第一章

第二章

第三章

第四章

第五章

第六章

第七章

VI

教職課程

6章 教職課程

教職課程について

教職課程は、教員就職を目指す学生のための教員免許状の取得を目的とした教育プログラムです。本学の教職課程は、履修希望の前年秋に履修者募集を行い、翌年度の履修者登録から3年間をかけて、必要な単位を修得することで所定の免許状の取得が可能です*。教職課程の履修は、卒業のために必要とされる通常の履修単位に加えて、教職課程に沿った単位の修得が必要となるため、学修上の負担が小さくありません。そしてそれ以上に、教員としての適性や教養、教壇に立つ者としての姿勢や態度が強く求められるため、履修希望者は、しっかりと自身の将来を見据えて本プログラムを履修する必要があります。

*2024年度より履修開始年次が撤廃され、履修開始年度から3年間をかけて教職課程を履修することができます。

取得できる免許状

| 学部・学科 | 教員免許状の種類 | 免許教科 |
|--------------------|-------------|------|
| 法学部法学科 | 中学校教諭一種免許状 | 社会 |
| | 高等学校教諭一種免許状 | 公民 |
| 経営学部経営学科 | 中学校教諭一種免許状 | 社会* |
| | 高等学校教諭一種免許状 | 商業 |
| スポーツ科学部 スポーツ科学科 | 中学校教諭一種免許状 | 保健体育 |
| | 高等学校教諭一種免許状 | 保健体育 |
| 健康栄養学部管理栄養学科 | 栄養教諭一種免許状 | — |

*2024年度入学生から取得可能

教職課程のスケジュール（標準的な履修）

| 教職課程 | イベント | 時期 |
|-------|----------------------|-----------------|
| 履修前年度 | 教職課程募集ガイダンス | 10月 1月（追加募集） |
| | 履修認定適性検査 | 10月 1月（追加募集） |
| 1年目 | 教職課程履修ガイダンス | 3月末 |
| | 教職課程履修届の提出 受講料の納入 | 4月 |
| | 教職課程プログラムの開始 | 4月～ |
| 2年目 | 教職課程履修ガイダンス | 3月末 |
| | 教育実習先の内諾に向けた交渉（各自） | 4月 |
| | 介護等体験実習*実施（中学校教諭希望者） | 6～12月 |
| 3年目 | 教職課程履修ガイダンス | 3月末 |
| | 教育実習*の実施 | 5～11月 |
| | 教員免許状申請説明会 | 11月 |
| | 教員免許状授与 | 3月 |

*教職課程2年目、3年目に実施される「介護等体験実習」「教育実習」については、p.107以降を確認してください。

教職課程の受講料

教職課程は通常の課程と異なるため、受講希望者は所定の期日までに、以下に示す受講料の納入が必要となります。また、いったん納入された教職課程受講料は、いかなる理由でも返還されません。(支払時期：教職課程履修開始年度4月の履修登録時)

| 希望する免許状の種類 | 受講料 (教育実習費含む) |
|--------------|---------------|
| 中学校教諭と高等学校教諭 | 35,000円 |
| 高等学校教諭 | 30,000円 |
| 栄養教諭 | 30,000円 |

教職課程の履修方法

(1) 教職課程の概要

教員免許状は、教育職員免許状法の定めるところにより、大学の定める基礎資格および所定の必要単位を修得した者に授与されます。教員免許状取得のためには、卒業に必要な単位のほかに、以下に示すA～Cの3つの科目群から、必要な単位を修得する必要があります。

基礎

A. 基礎資格充足のための科目^{*1}

取得する免許の種類に関わらず、最低限履修しておくべき基礎的教養に相当する科目群



教科・教職専門

B. 教科及び教職に関する科目

教員として必要とされる共通部分である教職教養に相当する科目群

C. 教科及び教科の指導法に関する科目 (中・高)

栄養に係る教育に関する科目 (栄養)

それぞれの教科等に応じた専門的教養に相当する科目群 (修得単位の内訳は学科・免許状の種類によって異なる。)

Bの科目群のうちの多くは、卒業要件外の扱いである「自由科目」^{*2}として位置づけられているため、教職課程履修者は、通常の卒業要件単位数(124単位)に加えて、教職に必要な単位を修得する必要があります。したがって1年次のうちから履修方法を十分に理解したうえで、計画的に履修することが重要になります。

^{*1} 基礎資格は学士の学位 (=大学の卒業資格) を有することが必要です。

また、栄養教諭一種免許状については、学士の学位に加えて、管理栄養士養成課程を修了しなければなりません。

^{*2} 「自由科目 (自由単位)」については、各学科の「教育課程表」のうち最下部に記載された「教職専門科目」に関する科目が対象となります。

(2) 教職課程履修希望者が1年次において気をつけること

教職課程は基本的に2年次に始まるプログラムですが、履修計画を立てるうえで、1年次のうちから注意すべき事項がいくつかあります。教職課程の履修を希望する場合は、以下のポイントを考慮して履修計画を立てましょう。

ポイント1

「基礎資格充足のための科目」(A) は、1年次から科目履修が可能です。これらの科目は、2年次以降も履修は可能ですが、余裕をもった履修計画を進めるために、できるだけ1年次のうちに履修を済ませておくことが望ましいです。

ポイント2

「教科及び教科の指導法に関する科目(中・高)」(C)のうち、一部の科目は1年次からすでに履修可能となりますので、1年次のうちから計画的に履修を進めてください。

ポイント3

重要

法学部・経営学部・スポーツ科学部では、学部専攻科目以外の外国語関連科目のうち、本学教職課程において「基礎資格充足のための科目」(A)を満たす科目は以下の通りです。

- ・総合英語ⅠおよびⅡ
- ・実用英語(日常生活)AおよびB
- ・実用英語(旅行・留学)AおよびB

その他の「資格英語(TOEIC)ⅠA・ⅠB」「資格英語(TOEIC)ⅡA・ⅡB」「基礎中国語Ⅰ・Ⅱ」「初級中国語Ⅰ・Ⅱ」「中級中国語Ⅰ・Ⅱ」を選択した場合、教職免許状の取得はできません。教職課程履修希望者は、1年次においては、原則「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」を選択してください。

ポイント4

重要

教職課程を履修するためには、履修希望前年度の10月に実施される教職課程募集ガイダンスに出席したうえで、履修認定適性検査を受検し、それに合格して受講資格を得ることが必要です。履修希望者は、後期授業開始の頃にUNIPAに掲示される案内を見落とすことがないよう、くれぐれも気をつけてください。(ガイダンスと適性検査は1月にも追加募集の形で実施されますが、原則としてこれらの募集プロセス実施後の履修希望には一切応じません。次年度にガイダンスと適性検査を受けてください。)

(3) 教職課程の履修単位

先に説明したA～Cの各科目群において、各学科に応じて、次表に掲げる単位を修得する必要があります。

A. 基礎資格充足のための科目

【法学部法学科】 【経営学部経営学科】

| 科目 | 授業科目名 | 単位数 | 備考 |
|-----------------------------------|--------------------|-----|---|
| 日本国憲法 | ○日本国憲法 | 2 | 2単位を修得 |
| 体育 | △スポーツ実践 (バスケットボール) | 1 | 2単位以上を修得 (選択必修) ※「競技スポーツ実践」は強化育成クラブ に所属している学生のみ履修可 |
| | △スポーツ実践 (バレーボール) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (バドミントン) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (柔道) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (軽スポーツⅠ) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (軽スポーツⅡ) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (トレーニング実践) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (卓球) | 1 | |
| | △競技スポーツ実践A | 1 | |
| | △競技スポーツ実践B | 1 | |
| | △競技スポーツ実践C | 1 | |
| | △競技スポーツ実践D | 1 | |
| | △競技スポーツ実践E | 1 | |
| △競技スポーツ実践F | 1 | | |
| 外国語コミュニケーション | △総合英語Ⅰ | 2 | 4単位以上を修得 (選択必修) ※原則として、総合英語Ⅰ・Ⅱを履修すること |
| | △総合英語Ⅱ | 2 | |
| | △実用英語 (日常生活) A | 1 | |
| | △実用英語 (日常生活) B | 1 | |
| | △実用英語 (旅行・留学) B | 1 | |
| 数理、データ活用 及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | △ICTリテラシーA | 2 | 2単位以上を修得 (選択必修) |
| | △ICTリテラシーB | 2 | |

○印は教職必修科目、△印は教職選択必修科目

【スポーツ科学部スポーツ科学科】

| 科目 | 授業科目名 | 単位数 | 備考 |
|-----------------------------------|---------------------|-----|--|
| 日本国憲法 | ○日本国憲法 | 2 | 2単位を修得 |
| 体育 | △実技実習 a (スケート) | 1 | 1単位以上を修得 (選択必修) |
| | △実技実習 b (ラグビー) | 1 | |
| | △実技実習 b (ホッケー) | 1 | |
| | △実技実習 c (レスリング) | 1 | |
| | △実技実習 c (空手道) | 1 | |
| | △実技実習 d (野外活動：キャンプ) | 1 | 1単位以上を修得 (選択必修) |
| △実技実習 d (野外活動：水辺) | 1 | | |
| △実技実習 d (野外活動：雪上) | 1 | | |
| 外国語コミュニケーション | △総合英語 I | 2 | 4単位以上を修得 (選択必修) ※原則として、総合英語 I・II を修得すること |
| | △総合英語 II | 2 | |
| | △実用英語 (日常生活) A | 1 | |
| | △実用英語 (日常生活) B | 1 | |
| | △実用英語 (旅行・留学) A | 1 | |
| | △実用英語 (旅行・留学) B | 1 | |
| 数理、データ活用 及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | △ICTリテラシーA | 2 | 2単位以上を修得 (選択必修) |
| | △ICTリテラシーB | 2 | |

○印は教職必修科目、△印は教職選択必修科目

【健康栄養学部管理栄養学科】

| 科目 | 授業科目名 | 単位数 | 備考 |
|-----------------------------------|--------------------|-----|---|
| 日本国憲法 | ○日本国憲法 | 2 | 2単位を修得 |
| 体育 | △スポーツ実践 (バスケットボール) | 1 | 2単位以上を修得 (選択必修) ※「競技スポーツ実践」は強化育成クラブ に所属している学生のみ履修可 |
| | △スポーツ実践 (バレーボール) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (バドミントン) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (柔道) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (軽スポーツ I) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (軽スポーツ II) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (トレーニング実践) | 1 | |
| | △スポーツ実践 (卓球) | 1 | |
| | △競技スポーツ実践A | 1 | |
| | △競技スポーツ実践B | 1 | |
| | △競技スポーツ実践C | 1 | |
| | △競技スポーツ実践D | 1 | |
| | △競技スポーツ実践E | 1 | |
| | △競技スポーツ実践F | 1 | |
| 外国語コミュニケーション | △総合英語 I | 2 | 4単位以上を修得 (選択必修) ※原則として、総合英語 I・II を修得すること |
| | △総合英語 II | 2 | |
| | △実用英語 (日常生活) A | 1 | |
| | △実用英語 (日常生活) B | 1 | |
| | △実用英語 (旅行・留学) A | 1 | |
| | △実用英語 (旅行・留学) B | 1 | |
| 数理、データ活用 及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | ○情報処理演習 I | 1 | 2単位を修得 |
| | ○情報処理演習 II | 1 | |

○印は教職必修科目、△印は教職選択必修科目

B. 教科及び教職に関する科目

【法学部法学科・経営学部経営学科・スポーツ科学部スポーツ科学科（共通）】

・対象：中学校教諭一種及び高等学校教諭一種

| 第一欄 | 免許法に規定する科目及び最低修得単位数 | | | 本学で定める単位数 | | 配当 年次 | 備 考 |
|---|-------------------------------------|--|---------------------|--|-----|----------|------------------------|
| | 科目 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目名 | 単位数 | | |
| 第二欄 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 中28 高24 | ※各学科、および取得しようとする免許状の種類によってこの欄の内容は異なる。後出のC「教科及び教科の指導法に関する科目」の項を参照すること | | | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む） | | | | | |
| 第三欄 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 10 | ○学校と教育の歴史 | 2 | 3 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む） | | ○教職概論 | 2 | 2 | チーム学校運営への対応を含む |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む） | | ○教育社会学（中・高） | 2 | 2 | 学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | ○教育心理学（中・高） | 2 | 2 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | ○特別支援教育概論 | 1 | 2 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む） | | ○教育課程論 | 2 | 2 | カリキュラム・マネジメントを含む |
| 第四欄 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳の理論及び指導法 | 中10 高8 | ◎道徳教育指導論（中） | 2 | 3 | |
| | | 総合的な学習（探究）の時間の指導法 | | ○総合的な学習・探究の時間の指導法 | 1 | 3 | |
| | | 特別活動の指導法 | | ○特別活動論 | 2 | 2 | |
| | | 教育の方法及び技術 | | ○教育方法論（中・高） | 2 | 2 | |
| | | 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 | | ○教育におけるICT活用 | 1 | 2 | |
| | | 生徒指導の理論及び方法 | | ○生徒指導・教育相談 | 2 | 2 | カウンセリングに関する基礎的な知識を含む |
| | | 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法 | | | | | |
| | | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | | ○進路指導論 | 2 | 2 | |
| 第五欄 | 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 中5 高3 | ○教育実習研修 | 2 | 4 | 事前事後指導 |
| | | | | ○教育実習Ⅰ | 2 | 4 | |
| | | | | ◎教育実習Ⅱ | 1 | 4 | |
| | | 教職実践演習 | | 2 | 2 | 4 | |
| 第六欄 | 大学が独自に設定する科目 | 中4 高12 | ◎介護等体験実習（事前事後指導を含む） | 2 | 3 | | |
| 中学校教諭一種免許状：合計59単位以上 高等学校教諭一種免許状：合計59単位以上 | | | | 中学校教諭一種免許状（社会）：合計64単位以上 中学校教諭一種免許状（保健体育）：合計69単位以上 高等学校教諭一種免許状（公民）：合計63単位以上 高等学校教諭一種免許状（商業）：合計63単位以上 高等学校教諭一種免許状（保健体育）：合計64単位以上 | | | |

○印は教職必修科目（中・高一種） ◎印は教職必修科目（中一種のみ）

（注）第六欄「大学が独自に設定する科目」の必要単位数は、当該欄中の配置科目による修得単位数のほか、第二欄から第五欄までの法令が定める最低修得単位数を超えて修得した単位数の合計がこれに充当されるものであり、本学では第二欄から第五欄までに定める各欄の要件単位数を満たすことにより充足されます。

【健康栄養学部管理栄養学科】

・対象：栄養教諭一種

| 第一欄 | 免許法に規定する科目及び最低修得単位数 | | | 本学で定める単位数 | | 配当年次 | 備考 |
|-----------------------------------|-------------------------------------|--|-----|----------------------|--|------|------------------------|
| | 科目 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目名 | 単位数 | | |
| 第二欄 | 栄養に係る教育に関する科目 | | | 4 | ※この欄の内容については、後出のC「栄養に係る教育に関する科目」の項を参照すること。 | | |
| 第三欄 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 8 | ○学校と教育の歴史 | 2 | 2 | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む） | | ○教職概論 | 2 | 2 | チーム学校運営への対応を含む |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む） | | ○教育社会学（栄養教諭） | 1 | 3 | 学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | ○教育心理学（栄養教諭） | 1 | 3 | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | ○特別支援教育概論 | 1 | 2 | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む） | | ○教育課程論 | 2 | 2 | カリキュラム・マネジメントを含む |
| 第四欄 | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容 | 6 | ○道徳教育指導論（栄養教諭） | 1 | 2 | |
| | | | | ○総合的な学習・探究の時間の指導法 | 1 | 3 | |
| | | | | ○特別活動論 | 2 | 3 | |
| | | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む） | | ○教育方法論（栄養教諭） | 1 | 2 | 情報機器及び教材の活用を含む |
| | | 生徒指導の理論及び方法 | | ○生徒指導論 | 2 | 3 | |
| 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法 | ○教育相談 | 2 | 3 | カウンセリングに関する基礎的な知識を含む | | | |
| 第五欄 | 教育実践に関する科目 | 栄養教育実習 | 2 | ○栄養教育実習指導 | 1 | 3 | |
| | | | | ○栄養教育実習 | 1 | 4 | |
| | | 教職実践演習 | | ○教職実践演習（栄養教諭） | 2 | 4 | |
| 栄養教諭一種免許状：合計22単位以上 | | | | 栄養教諭一種免許状：合計26単位 | | | |

○印は教職必修科目

単位の扱い方

「B.教科及び教職に関する科目」のうち、学則に定める教職課程に関する専門科目*の単位の取扱いについて、以下記載事項を考慮してください。

・教職専門科目の単位数は、各学部「履修規程」に定める履修制限単位数には含みません。

*学則に定める教職課程に関する専門科目とは、B「教科及び教職に関する科目」の一覧表中の、第三欄～第六欄（中・高の場合）および第三欄～第五欄（栄養教諭の場合）に置かれた科目群のことを指します。

対象となる科目は、教育課程表の「教職課程」欄を確認してください。

C. 「教科及び教科の指導法に関する科目」及び「栄養に係る教育に関する科目」

【法学部法学科・経営学部経営学科】

①対象：中学校教諭一種（社会）

| 施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する開設授業科目 | | | 備考 | |
|---------------------------|-------------|------------|---------------|------|-----|----|------|
| 科目区分 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目名 | | 単位数 | | 配当年次 |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 日本史・外国史 | ○ | 日本史Ⅰ | 2 | 1 | |
| | | | | 日本史Ⅱ | 2 | 1 | |
| | | | ○ | 世界史 | 2 | 1 | |
| | | 地理学（地誌を含む） | ○ | 地理学Ⅰ | 2 | 1 | |
| | | | | 地理学Ⅱ | 2 | 1 | |
| ○ | 地誌学 | | 2 | 1 | | | |
| 「法律学、政治学」 | 1以上 | ○ | 法学概論 | 2 | 1 | | |
| | | ○ | 政治学概論Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 政治学概論Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | | 国際法Ⅰ | 2 | 3 | | |
| | | | 国際法Ⅱ | 2 | 3 | | |
| | | | 国際政治Ⅰ | 2 | 2 | | |
| | | | 国際政治Ⅱ | 2 | 2 | | |
| | | | 国際関係論（概論）Ⅰ | 2 | 2 | | |
| | | | 国際関係論（概論）Ⅱ | 2 | 2 | | |
| 「社会学、経済学」 | 1以上 | ○ | 社会学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 社会学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | ○ | 経済学概論 | 2 | 1 | | |
| | | | 公共経済学 | 2 | 3 | | |
| | | | 国際貿易 | 2 | 3 | | |
| | | | 国際金融 | 2 | 3 | | |
| 「哲学、倫理学、宗教学」 | 1以上 | ○ | 哲学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 哲学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | ○ | 倫理学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 倫理学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| | | ○ | 宗教と人間Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 宗教と人間Ⅱ | 2 | 1 | | |
| 各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む） | 8以上 | ○ | 社会科教育法 | 4 | 3 | | |
| | | ○ | 社会科・公民科教育法 | 4 | 3 | | |
| 合計28単位以上 | | | 合計32単位以上 | | | | |

○印は教職必修科目

②対象：高等学校教諭一種（公民）

| 施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | 備考 |
|------------------|---------------------------|------|---------------|------------|-----|------|----|
| 科目区分 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目名 | | 単位数 | 配当年次 | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 1以上 | ○ | 法学概論 | 2 | 1 | |
| | | | ○ | 政治学概論Ⅰ | 2 | 1 | |
| | | | | 政治学概論Ⅱ | 2 | 1 | |
| | | 国際法Ⅰ | 2 | 3 | | | |
| | 国際法Ⅱ | 2 | 3 | | | | |
| | 国際政治Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | 国際政治Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 国際関係論（概論）Ⅰ | 2 | 2 | | | | |
| | 国際関係論（概論）Ⅱ | 2 | 2 | | | | |
| | 「社会学、経済学（国際経済を含む）」 | 1以上 | ○ | 社会学Ⅰ | 2 | 1 | |
| | | | 社会学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| ○ | | | 経済学概論 | 2 | 1 | | |
| | | | 公共経済学 | 2 | 3 | | |
| | | | 国際貿易 | 2 | 3 | | |
| | 国際金融 | 2 | 3 | | | | |
| | 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | 1以上 | ○ | 哲学Ⅰ | 2 | 1 | |
| | | | 哲学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| ○ | | | 倫理学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 倫理学Ⅱ | 2 | 1 | | |
| ○ | | | 宗教と人間Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | | | 宗教と人間Ⅱ | 2 | 1 | | |
| ○ | | | 心理学Ⅰ | 2 | 1 | | |
| | 心理学Ⅱ | 2 | 1 | | | | |
| | 各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む） | 4以上 | ○ | 社会科・公民科教育法 | 4 | 3 | |
| 合計24単位以上 | | | 合計36単位以上 | | | | |

○印は教職必修科目

③対象：高等学校教諭一種（商業）

| 施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する開設授業科目 | | | 備考 | |
|------------------|---------------------------|---------|-------------------|-------------|------|----|--|
| 科目区分 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 商業の関係科目 | 1以上 | ○ 経営学概論 | 2 | 1 | |
| | | | | ○ マーケティング概論 | 2 | 1 | |
| | ○ 簿記概論 | 2 | 1 | | | | |
| | | | ○ 会計学概論 | 2 | 1 | | |
| | | | ○ 経済学概論 | 2 | 1 | | |
| | | | ○ ビジネスゲーム | 2 | 1 | | |
| | | | 工業簿記 | 2 | 1 | | |
| | | | 商業簿記 | 2 | 1 | | |
| | | | 経営戦略論 | 2 | 2 | | |
| | | | 経営管理論 | 2 | 2 | | |
| | | | 経営組織論 | 2 | 2 | | |
| | | | アントレプレナーシップ | 2 | 2 | | |
| | | | eビジネス論 | 2 | 2 | | |
| | | | 国際経営 | 2 | 2 | | |
| | | | 技術経営 | 2 | 2 | | |
| | | | ファイナンス | 2 | 2 | | |
| | | | ビジネスエコノミクス | 2 | 2 | | |
| | | | 流通論 | 2 | 2 | | |
| | | | プロモーション戦略論 | 2 | 2 | | |
| | | | 消費者行動論 | 2 | 2 | | |
| | | | 財務会計論 | 2 | 2 | | |
| | | | 管理会計論 | 2 | 2 | | |
| | | | 金融論 | 2 | 2 | | |
| | | | 人的資源管理 | 2 | 3 | | |
| | | | イノベーション・マネジメント | 2 | 3 | | |
| | | | 経営倫理 | 2 | 3 | | |
| | | | オペレーション管理 | 2 | 3 | | |
| | | | 情報セキュリティ | 2 | 3 | | |
| | | | ツーリズムマネジメント | 2 | 3 | | |
| | | | ものづくり経営 | 2 | 3 | | |
| | | | 農業経営 | 2 | 3 | | |
| | | | リテールマーケティング | 2 | 3 | | |
| | | | ブランドマネジメント | 2 | 3 | | |
| | | | サービスマーケティング | 2 | 3 | | |
| | | | 国際マーケティング | 2 | 3 | | |
| | | | 税務会計論 | 2 | 3 | | |
| | | | 公共経済学 | 2 | 3 | | |
| | | | 国際貿易 | 2 | 3 | | |
| | | | 国際金融 | 2 | 3 | | |
| | | | コンピューター基礎理論 | 2 | 1 | | |
| | | | ソフトウェア開発論 | 2 | 2 | | |
| | | | データ分析 | 2 | 2 | | |
| | | | 産業と職業の研究 | 2 | 1 | | |
| | | | 企業法A | 2 | 2 | | |
| | | | ワークルール論：働くための基礎知識 | 2 | 1 | | |
| | 職業指導 | 1以上 | ○ 進路・職業指導 | 4 | 4 | | |
| | 各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む) | 4以上 | ○ 商業科教育法 | 4 | 3 | | |
| 合計24単位以上 | | | 合計36単位以上 | | | | |

○印は教職必修科目

【スポーツ科学部スポーツ科学科】

①対象：中学校教諭一種（保健体育）

| 施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | | 履修方法 | |
|-------------------------------|--|----------------------|--------------------------------|-------------------------|-------|----------|------|----------|----------|
| 科目区分 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目 | 備考 | 単位数 | | 配当年次 | | |
| | | | | | 必須 | 選択 | | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 体育実技 | 1以上 | △ 実技実習 a (トレーニング/体づくり運動) | | | 1 | 1・2 | 4科目を選択必修 | |
| | | | △ 実技実習 a (ダンス) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (器械運動) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (陸上競技:短距離・跳躍・投てき) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (陸上競技:長距離) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (水泳・水中運動) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | 1以上 | △ 実技実習 b (バスケットボール) | | | | 1 | 1・2 | 3科目を選択必修 |
| | | | △ 実技実習 b (サッカー) | | | | 1 | 1・2 | |
| | | | △ 実技実習 b (バレーボール) | | | | 1 | 1・2 | |
| | | | △ 実技実習 b (ソフトボール) | | | | 1 | 1・2 | |
| | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む) | 1以上 | △ スポーツ哲学(体育原理を含む) | 体育原理を含む | | 2 | 1・2 | 3科目を選択必修 | |
| | | | △ スポーツ史 | 体育史を含む | | 2 | 1・2 | | |
| △ スポーツ社会学 | | | 体育社会学を含む | | 2 | 1・2 | | | |
| △ スポーツ経営学 | | | 体育経営管理学を含む | | 2 | 1・2 | | | |
| △ スポーツ心理学 | | | 体育心理学を含む | | 2 | 1・2 | | | |
| ○ | | スポーツ教育論 | | | 2 | 1・2 | | | |
| | | 野外活動・教育論 | | | 2 | 1・2 | | | |
| | | コーチング論(運動学、運動方法学を含む) | 運動学、運動方法学を含む | 2 | 1・2 | | | | |
| | | スポーツコミュニケーション論 | | 2 | 2・3・4 | | | | |
| | | スポーツプロモーション論 | | 2 | 2・3・4 | | | | |
| 生理学(運動生理学を含む) | 1以上 | ○ スポーツ生理学 | 運動生理学を含む | 2 | 1・2 | | | | |
| | | スポーツ栄養学 | | 2 | 1・2 | | | | |
| | | スポーツバイオメカニクス | | 2 | 1・2 | | | | |
| | | 体力論 | | 2 | 1・2 | | | | |
| | | スポーツ医学 | | 2 | 1・2 | | | | |
| | | スポーツ傷害論 | | 2 | 1・2 | | | | |
| 健康体力論 | | 2 | 2・3・4 | | | | | | |
| 健康心理論 | | 2 | 2・3・4 | | | | | | |
| 衛生学・公衆衛生学 | 1以上 | ○ | 衛生学(公衆衛生学を含む) | | 2 | 2・3・4 | | | |
| 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む) | 1以上 | ○ | 学校保健学(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む) | 小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む | 2 | 2・3・4 | | | |
| 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む) | 8以上 | ○ | 保健体育科教育法1(体育) | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | ○ | 保健体育科教育法2(保健) | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | ○ | 保健体育科指導論 | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | ○ | 保健科内容・指導論 | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | △ | 体育科内容・指導論1(体育理論) | | 2 | 3・4 | 1科目を選択必修 | | | |
| △ | 体育科内容・指導論2(体育実技) | | 2 | 3・4 | | | | | |
| 合計28単位以上 | | | 合計37単位以上 | | | | | | |

○印は教職必修科目、△印は教職選択必修科目

②対象：高等学校教諭一種（保健体育）

| 施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する開設授業科目 | | | | | 履修方法 | |
|--------------------|---------------------------------|--|----------------------------|----------|----------|-------|------|----------|----------|
| 科目区分 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目 | 備考 | 単位数 | | 配当年次 | | |
| | | | | | 必須 | 選択 | | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 体育実技 | 1以上 | △ 実技実習 a (トレーニング/体づくり運動) | | | 1 | 1・2 | 4科目を選択必修 | |
| | | | △ 実技実習 a (ダンス) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (器械運動) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (陸上競技:短距離・跳躍・投てき) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (陸上競技:長距離) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | | △ 実技実習 a (水泳・水中運動) | | | 1 | 1・2 | | |
| | | 1以上 | △ 実技実習 b (バスケットボール) | | | | 1 | 1・2 | 3科目を選択必修 |
| | | | △ 実技実習 b (サッカー) | | | | 1 | 1・2 | |
| | | | △ 実技実習 b (バレーボール) | | | | 1 | 1・2 | |
| | | | △ 実技実習 b (ソフトボール) | | | | 1 | 1・2 | |
| | 1以上 | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む) | △ スポーツ哲学(体育原理を含む) | 体育原理を含む | | 2 | 1・2 | 3科目を選択必修 | |
| | | | △ スポーツ史 | 体育史を含む | | 2 | 1・2 | | |
| | 1以上 | ○ スポーツ教育論 野外活動・教育論 コーチング論(運動学、運動方法学を含む) スポーツコミュニケーション論 スポーツプロモーション論 地域スポーツ論 子どもスポーツ論 高齢者スポーツ論(要介護者を含む) 障がい者スポーツ論 | ○ スポーツ生理学 | 運動生理学を含む | | 2 | 1・2 | | |
| | | | ○ スポーツ栄養学 | | | 2 | 1・2 | | |
| | | | ○ スポーツバイオメカニクス | | | 2 | 1・2 | | |
| ○ 体力論 | | | | | 2 | 1・2 | | | |
| ○ スポーツ医学 | | | | | 2 | 1・2 | | | |
| ○ スポーツ傷害論 | | | | | 2 | 1・2 | | | |
| ○ 健康体力論 | | | | | 2 | 2・3・4 | | | |
| ○ 健康心理論 | | | | | 2 | 2・3・4 | | | |
| 1以上 | ○ 衛生学(公衆衛生学を含む) | | | 2 | 2・3・4 | | | | |
| 1以上 | ○ 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む) | 小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む | | 2 | 2・3・4 | | | | |
| 8以上 | 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む) | ○ 保健体育科教育法1(体育) | | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | ○ 保健体育科教育法2(保健) | | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | ○ 保健体育科指導論 | | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | ○ 保健科内容・指導論 | | | 2 | 2・3・4 | | | |
| | | △ 体育科内容・指導論1(体育理論) | | | 2 | 3・4 | | | |
| △ 体育科内容・指導論2(体育実技) | | | 2 | 3・4 | 1科目を選択必修 | | | | |
| 合計24単位以上 | | | 合計37単位以上 | | | | | | |

○印は教職必修科目、△印は教職選択必修科目

【健康栄養学部管理栄養学科】

・対象：栄養教諭

| 施行規則に定める科目区分等 | | | 左記に対応する開設授業科目 | | | 備考 |
|---------------|-------------------------|-----|---------------|-----|------|----|
| 科目区分 | 各科目に含める必要事項 | 単位数 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | |
| 栄養に係る教育に関する科目 | 栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 | 4以上 | ○食教育論 | 2 | 2 | |
| | 幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 | | | | | |
| | 食生活に関する歴史的及び文化的事項 | | | | | |
| | 食に関する指導の方法に関する事項 | | ○食育指導法 | 2 | 3 | |
| 合計4単位以上 | | | 合計4単位 | | | |

○印は教職必修科目

介護等体験実習 ※対象：中学校教諭一種免許状（社会）（保健体育）取得希望者

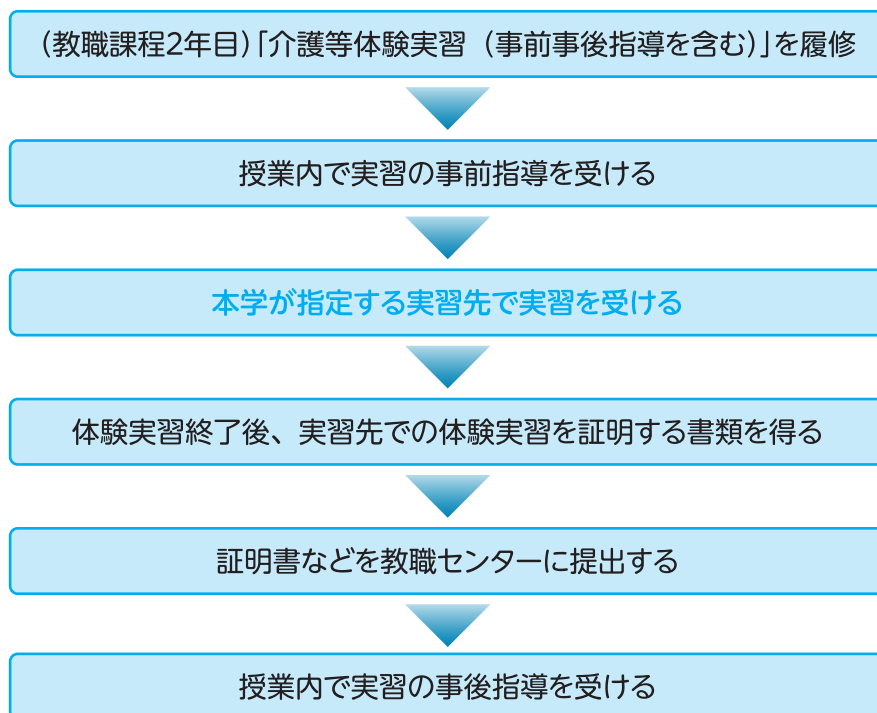
介護等体験特例法の規定により、義務教育の免許状取得希望者は、特別支援学校及び社会福祉施設での最低7日間の「介護等体験」が義務づけられています。その趣旨は、「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる」というものです。

（1）実習の対象者

- ①法学部法学科・経営学部経営学科
中学校教諭一種免許状「社会」取得希望者
- ②スポーツ科学部スポーツ科学科
中学校教諭一種免許状「保健体育」取得希望者

教職課程2年目以降に「介護等体験実習（事前事後指導含む）」を履修し、そこでの指導のもと実習先での体験を行う必要があります。

（2）介護等体験実習の流れ



（3）介護等体験実習の留意事項

- ①実習先から体験実習の終了後に発行される証明書は、**免許状申請の際に必要な重要な書類です。実習後速やかに教職センターに提出**してください。
- ②体験実習の期間中は、大学の授業を欠席しなくてはならないため、**公欠届を提出するなど適切な対応**をしてください。
- ③教育実習とは異なり、教職センター経由で実習の受け入れ先（実習先と時期）を調整します。

(4) 体験実習先について

実習先の一覧は以下のとおりです。

| 機関 | 実習期間 | 実習先 |
|--------|------|----------------------------------|
| 特別支援学校 | 2日間 | 山梨県立わかば支援学校 山梨県立わかば支援学校ふじかわ分校 |
| 社会福祉施設 | 5日間 | 山梨県社会福祉協議会を通じて受け入れ先を決定 |

(5) 「介護等体験」実習にかかる経費

社会福祉施設体験費用として、10,000円を徴収します。また、実習先によっては、細菌・結核検査などが求められることがあります。その場合の検査費用等は自己負担となります。そのほか、実習に伴う必要経費（食費・交通費など）は自己負担となります。

教育実習

教職課程履修者は全員、「教育実習」の履修が必要不可欠です。教育実習は、教職課程での最後の総仕上げという位置づけで、今まで大学で学んだすべてのことをふまえ、中学校や高等学校等での実地指導をすることであり、いわば教職の体験学習ともいえます。しかし、体験学習とはいえ、実習先では実際に生徒たちと接する教員としての役割が求められる以上、安易な気持ちや軽率な言動は許されません。そのため、履修要件において厳格な前提基準が設定されているほか、入念な事前・事後指導が用意されています。

(1) 教育実習の受講資格

教育実習を受講するためには、次の各号の要件を満たす必要があります。

①教職課程3年目以上に在学し、次表に掲げる「教育実習実施の前年度までに修得すべき科目および科目数」の要件を含め、免許状の取得見込みが確実であること。

| 教員免許状の種類 | 免許教科 | | 教育実習実施の前年度までに修得しておかなければならない科目及び科目数 |
|-------------|------|---|---|
| 中学校教諭一種免許状 | 社会 | ○社会科・公民科教育法 ○社会科教育法 | 左記の科目のほか、以下の13科目中○印を含む9科目以上 学校と教育の歴史 ○教職概論 ○教育社会学（中・高） ○教育心理学（中・高） 特別支援教育概論 ○教育課程論 道徳教育指導論（中） 総合的な学習・探究の時間の指導法 特別活動論 ○教育方法論（中・高） 教育におけるICT活用 生徒指導・教育相談 進路指導論 |
| 高等学校教諭一種免許状 | 公民 | ○社会科・公民科教育法 | |
| 高等学校教諭一種免許状 | 商業 | ○商業科教育法 | |
| 中学校教諭一種免許状 | 保健体育 | ○保健体育科教育法1（体育） ○保健体育科教育法2（保健） ○保健体育科指導論 | 左記の科目のほか、以下の12科目中○印を含む9科目以上 学校と教育の歴史 ○教職概論 ○教育社会学（栄養教諭） ○教育心理学（栄養教諭） 特別支援教育概論 ○教育課程論 道徳教育指導論（栄養教諭） 総合的な学習・探究の時間の指導法 特別活動論 ○教育方法論（栄養教諭） 生徒指導論 教育相談 |
| 高等学校教諭一種免許状 | 保健体育 | | |
| 栄養教諭一種免許状 | | ○食育指導法 | |

- ②「教育実習研修」あるいは「栄養教育実習指導」の履修による事前指導を受けていること。
- ③伝染の恐れのある疾病または実習に従事する上で妨げとなる機能上の欠陥等がないこと。
- ④教育実習受入校の正常な教育活動を妨げるおそれがないこと。

(2) 教育実習の期間等

教育実習の単位を修得するためには、教育実習指導教員のもと、4年次において次表に掲げる教育実習の事前と事後の指導に関する科目を履修のうえ、取得しようとする免許状の種類に応じて、同じく次表に掲げる期間の教育実習を行うことが不可欠です。

| 教員免許状の種類 | 免許教科 | 教育実習の期間 | 教育実習の事前と事後の指導に関する科目 |
|-------------|------|---------|---------------------|
| 中学校教諭一種免許状 | 社会 | 3週間以上 | 教育実習研修 |
| | 保健体育 | | |
| 高等学校教諭一種免許状 | 公民 | 2週間以上 | |
| | 商業 | | |
| | 保健体育 | | |
| 栄養教諭一種免許状 | | 1週間以上 | |

(3) 実習校の確保

原則として教育実習希望者は、実習先の学校を自分で確保する必要があります。教職課程2年目に各自で出身中学校や高等学校等を訪問して、実習の受け入れの交渉を行い、内諾を得てください。ただし、健康栄養学部については、教職指導教員の指示に従ってください。

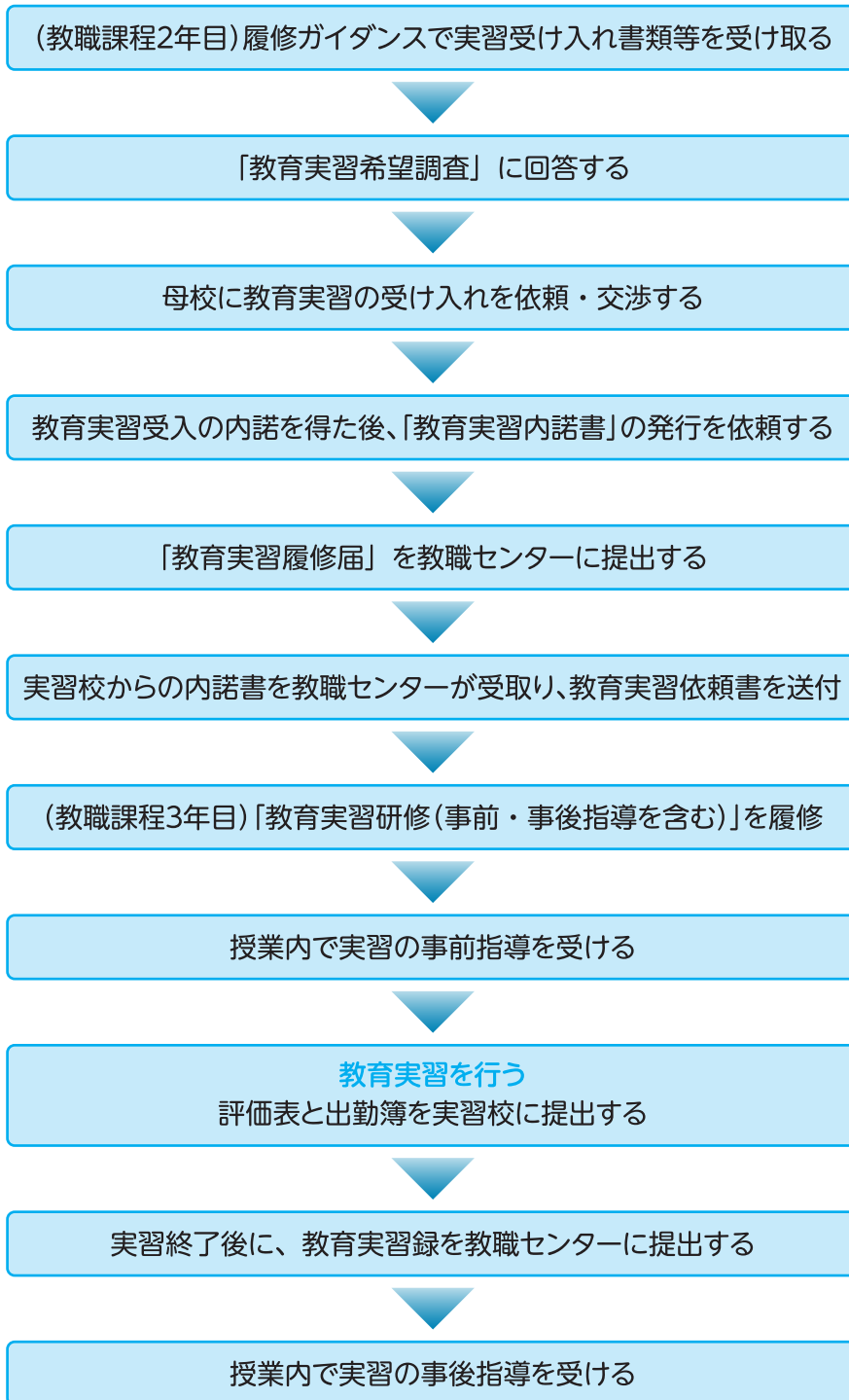
(4) 実習教科

原則として、実習生が取得しようとする免許教科の授業科目を担当します。

(5) 教育実習に必要な経費

実習校から、実習費を求められる場合がありますが、これについてはp.96の教職課程の受講料に含まれているため、教職センターにて手続きを行います。実習に伴う、それ以外の必要経費（交通費など）は、自己負担となります。

(6) 教育実習手続の流れ



教員免許状の交付

免許状は本学の教職課程において必要単位を修得した卒業生に対して山梨県教育委員会より本学を通じて一括授与されます。10月に免許状取得見込確実な卒業予定者を対象に、免許状申請説明会を行い、免許状申請手続に必要な書類を配付します。免許状申請を行わない者で、卒業後に免許状が必要になったときは、個人で本籍地の都道府県教育委員会に申請することで免許状の授与を受けることができます。

(1) 免許状申請に要する申請書類

- ①教員免許状授与願（教職センターより配付）
〈身分証明書、履歴書、宣誓書を含む〉
- ②免許状申請手数料
一免許状あたり3,300円（山梨県収入証紙代）
- ③基礎資格証明書（本学で発行）
- ④単位修得証明書（本学で発行）
- ⑤戸籍抄本

教職課程に関する窓口

| | |
|------|---|
| 場所 | 40号館1階 |
| 窓口時間 | 月曜日～金曜日 9:00～17:00 |
| 電話番号 | 055-224-1355 |
| 取扱事務 | ①授業及び履修に関する相談 ②教育実習・介護等体験実習に関する相談と手続き ③教採試験、教職大学院・専攻科への進学に関する相談 ④その他 |

VII

資格取得

7章 資格取得

本学では、各学科におけるカリキュラムを通じて、様々な資格が取得もしくは受験資格を得ることができます。各資格の内容を確認の上、取得を目指す場合は、カリキュラムを確認して、必要な単位を修得してください。

取得できる資格の種類

| 番号 | 学部 資格名 | 法 | 経 | 健 | ス ※3 | 参照 ページ |
|----|--|---|---|---|---------|-----------|
| A | 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 (対象：法学部・経営学部・健康栄養学部) ※1 | ○ | ○ | ○ | | p.116 |
| B | 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 (対象：スポーツ科学部) ※1 | | | | ○ | p.118 |
| C | パラスポーツ指導員 | | | | ○ | p.124 |
| D | トレーニング指導者 (JATI) | | | | ○ | p.126 |
| E | 健康運動指導士 | | | | ○ | p.128 |
| | 健康運動実践指導者 | | | | ○ | p.128 |
| F | JPSU スポーツトレーナー | | | | ○ | p.131 |
| G | JFA 公認C級コーチ | | | | ○ | p.135 |
| H | 管理栄養士 | | | ○ | | ※2 |

※1 「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者」は、学部によって取得できる資格が異なります。

詳細はp.118以降を参照してください。

※2 「管理栄養士」の資格取得にあたっては、健康栄養学部からの指示により履修に努めてください。

(本履修ガイドブックには詳細は記載していません。)

※3 スポーツ科学部で取得できる資格に関する授業科目名は、教育課程表の変更に伴って変更される場合があります。

詳細については、スポーツ科学部（民間資格取得委員会）が開催する「民間資格説明会」等で、スポーツ科学部教員に相談してください。

資格に関する問合せ先

| 資格名 | 問合せ先 |
|---|---------------------|
| 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 (対象：法学部・経営学部・健康栄養学部) | カレッジスポーツセンター事務室 |
| 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 (対象：スポーツ科学部) | 教務部教務課（スポーツ科学部棟事務室） |
| パラスポーツ指導員 | |
| トレーニング指導者 (JATI) | |
| 健康運動指導士 | |
| 健康運動実践指導者 | |
| JPSU スポーツトレーナー | |
| JFA 公認C級コーチ | |

A. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（対象：法学部・経営学部・健康栄養学部）

（1）公認スポーツ指導者とは

公認スポーツ指導者とは、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる人材を育成することを趣旨として設けられた、公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「日本スポーツ協会」という）が認定する資格のことです。

本学は、2008年度より、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース」の承認校として認定されました。これにより、本学に開設する授業科目のうち、日本スポーツ協会が定める「共通科目Ⅲ免除適応コース」に該当する科目の単位を修得すると、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格のうち基礎資格となる「コーチングアシスタント」を取得することができます。また、さらに高度で専門的に分化した「競技別指導者資格」（「コーチ3」・「教師」など）や「マネジメント指導者資格」の取得に必要な「共通科目Ⅲ」の免除資格を得ることが可能です。これによって日本スポーツ協会が定める他の要件を充足することで、日本スポーツ協会が認定するさまざまな資格取得への道が開かれます。

（関連サイト：公益財団法人日本スポーツ協会 <https://www.japan-sports.or.jp/>）

（2）履修ルール（免除資格充足のための履修内容）

次表に掲げる学部専攻科目以外（科目群：スポーツ）の単位をすべて修得することで、「コーチングアシスタント」および共通科目検定試験（オンラインテスト）の受験資格を得ることができます。

| 区 分 | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|------------------------|---------|-----|-----------------|
| 学部専攻科目以外 （科目群：スポーツ） | スポーツと法 | 2 | 8科目の単位を 全て修得 |
| | スポーツ経営学 | 2 | |
| | スポーツ科学 | 2 | |
| | スポーツ社会学 | 2 | |
| | トレーニング論 | 2 | |
| | スポーツ指導論 | 2 | |
| | コーチング基礎 | 2 | |
| | スポーツ心理学 | 2 | |

（3）資格取得方法

●資格取得条件

ア) 指導者マイページを作成していること。

※指導者マイページは、公認スポーツ指導者向けのインターネットサービスであり、共通科目検定試験（オンラインテスト）を受験する際に必要となります。

（URL： <https://my.japan-sports.or.jp>）

イ) リファレンスブックを購入していること。

ウ) 上記8科目の単位を全て修得し、在学中に受講完了申請を行っていること。

エ) 共通科目検定試験（オンラインテスト：受験料無料）に合格していること。

●申請方法

免除適応コースの受講完了申請は、大学が一括して日本スポーツ協会へ申請します。申請期間は以下の2回であり、各期間の1ヶ月前にはUNIPA等を通じて通知します。なお、申請期間によって、資格認定日が異なるため注意してください。

| 受講完了申請期間 | 資格認定日 |
|------------|-------|
| 2月1日～3月31日 | 10月1日 |
| 8月1日～9月30日 | 4月1日 |

●資格申請に関わる費用

| 種 別 | 金 額 | 合 計 |
|---------------|-------------|---------|
| 基本登録料 ※1 | 10,000円／4年間 | 18,140円 |
| 初期登録手数料 | 3,300円 | |
| リファレンスブック代 ※2 | 4,840円（紙版） | |

※1 登録料は4年ごとに4年間分を一括納入する必要があります。

※2 資格申請にあたり、日本スポーツ協会はリファレンスブック（テキスト）の購入を義務付けています。共通科目検定試験（オンラインテスト）の解答等に必要となる重要なテキストです。リファレンスブックは電子版（3,520円）の購入も可能です。

（4）有効期間と更新について

資格の有効期間は4年間と定められており、4年ごとに更新登録手続きが必要です。有効期限を過ぎても更新登録しない場合には、公認スポーツ指導者の資格を失うこととなります。更新登録には、有効期限の6か月前までに所定の更新研修を受講する必要があります。更新研修は、日本スポーツ協会、都道府県体育・スポーツ協会、中央・都道府県競技団体等が開催しています。

B. 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（対象：スポーツ科学部）

（１）公認スポーツ指導者とは（資格の種類）

公認スポーツ指導者とは、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる人材を育成することを趣旨として設けられた公益財団法人日本スポーツ協会（以下、「日本スポーツ協会」という）が認定する資格です。

本学はスポーツ科学部を対象に、2016年度から、「日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会免除適応コース」の承認校として認定されています。本学で定めたコースに基づき単位を修得すると、以下の資格および受験資格を取得することができます。

本学で開設された科目の履修により取得できる資格および受験資格（以降、まとめて、「免除適応コース」と呼ぶ）

①「コーチングアシスタント」（スポーツ指導者基礎資格）

②「共通科目Ⅲ」免除適応資格

※日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を取得する際に必要となります。

※本資格は在学中のみ申請可能であり、卒業後に申請する場合は新たに所定の講習等を受け直す必要があります。

③「ジュニアスポーツ指導員」受験資格

④「アシスタントマネジャー」受験資格

⑤「水泳コーチ3」受験資格

⑥「ホッケーコーチ3」受験資格

（２）履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

①「コーチングアシスタント」 および ②「共通科目Ⅲ」 免除適応資格

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、「コーチングアシスタント」および共通科目検定試験（以下、「オンラインテスト」という）の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|-------|-----------|------------|-----------|------------------|
| 共通科目 | A群 | スポーツ基礎演習 | 4 | 11科目の単位を 全て修得 |
| | | スポーツキャリア形成 | 4 | |
| | B群 | スポーツ哲学 | 2 | |
| | | コーチング論 | 2 | |
| | | スポーツ経営学 | 2 | |
| | | スポーツ社会学 | 2 | |
| | | スポーツ心理学 | 2 | |
| | C群 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | トレーニング論 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| コース科目 | 生涯スポーツコース | b科目群 | 障がい者スポーツ論 | 2 |

※スポーツキャリア形成 = スポーツキャリア演習2

2023年度入学生（2年生）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|----------|--------------|-----|------------------|
| スポーツ基礎科目 | 基礎演習系 | スポーツキャリア演習 1 | 4 | 11科目の単位を 全て修得 |
| | | スポーツキャリア演習 2 | 4 | |
| | 人文・社会科学系 | スポーツ哲学 | 2 | |
| | | コーチング論 | 2 | |
| | | スポーツ経営学 | 2 | |
| | | スポーツ社会学 | 2 | |
| | | スポーツ心理学 | 2 | |
| | 自然科学系 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | トレーニング論 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| スポーツ探究科目 | 生涯スポーツ系 | 障がい者スポーツ論 | 2 | |

2024年度入学生（1年生）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|----------|----------------|-----------|------------------|
| スポーツ基礎科目 | 基礎演習系 | スポーツキャリア演習 I | 2 | 13科目の単位を 全て修得 |
| | | スポーツキャリア演習 II | 2 | |
| | | スポーツキャリア演習 III | 2 | |
| | | スポーツキャリア演習 IV | 2 | |
| | 人文・社会科学系 | スポーツ哲学 | 2 | |
| | | コーチング論 | 2 | |
| | | スポーツ経営学 | 2 | |
| | | スポーツ社会学 | 2 | |
| | | スポーツ心理学 | 2 | |
| | 自然科学系 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | トレーニング論 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| | スポーツ探究科目 | 生涯スポーツ系 | 障がい者スポーツ論 | |

※スポーツキャリア演習 I・II = スポーツキャリア演習 1
 スポーツキャリア演習 III・IV = スポーツキャリア演習 2

③「ジュニアスポーツ指導員」

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、「ジュニアスポーツ指導員」検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|---------------|------------------------------|-----|--|
| 共通科目 | B群 | スポーツ心理学 | 2 | 5科目の単位を 全て修得 |
| | C群 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| コース科目 | 生涯スポーツ コース | b科目群 子どもスポーツ論 | 2 | |
| | | c科目群 生涯スポーツ演習（子どものスポーツ活動） | 2 | |
| キャリア形成科目 | A群 | 種目別コーチング演習1（陸上競技：短距離・障害） | 4 | 種目別コーチング演習 1～13から、いずれか 1科目の単位を修得 |
| | | 種目別コーチング演習2（陸上競技：長距離・駅伝） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習3（水泳） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習4（スケート） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習5（バスケットボール） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習6（サッカー） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習7（ラグビー） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習8（ホッケー） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習9（バレーボール） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習10（ソフトボール） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習11（柔道） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習12（レスリング） | 4 | |
| | | 種目別コーチング演習13（空手道） | 4 | |

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------------------|-----------|----------------------|-----|-----------------|
| スポーツ基礎科目 | 人文・社会科学系 | スポーツ心理学 | 2 | 5科目の単位を 全て修得 |
| | 自然科学系 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| スポーツ探究科目 | 生涯スポーツ系 | 子どもスポーツ論 | 2 | |
| キャリア形成科目 | 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツ演習（子どものスポーツ活動） | 2 | |
| | キャリアアップ系 | (1) コーチング演習（水泳） I | 2 | |
| | | (1) コーチング演習（水泳） II | 2 | |
| | | (2) コーチング演習（ホッケー） I | 2 | |
| | | (2) コーチング演習（ホッケー） II | 2 | |
| | | (3) コーチング演習（サッカー） I | 2 | |
| | | (3) コーチング演習（サッカー） II | 2 | |
| | | (4) コーチング演習（指導実践） I | 2 | |
| (4) コーチング演習（指導実践） II | 2 | | | |

④ 「アシスタントマネジャー」

次表に掲げるスポーツ学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、「アシスタントマネジャー」検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|-------|----------------|---------|-----|-----------------|
| 共通科目 | B群 | スポーツ経営学 | 2 | 2科目の単位を 全て修得 |
| コース科目 | 生涯スポーツコース a科目群 | 地域スポーツ論 | 2 | |

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|----------|---------|-----|-----------------|
| スポーツ基礎科目 | 人文・社会科学系 | スポーツ経営学 | 2 | 2科目の単位を 全て修得 |
| スポーツ探究科目 | 生涯スポーツ系 | 地域スポーツ論 | 2 | |

⑤ 「水泳コーチ3」コース

次表に掲げるスポーツ学部スポーツ科学科の学部専攻科の単位を修得することで、「水泳コーチ3」検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|----|-----------------|-----------------|-----------------|
| 共通科目 | C群 | スポーツバイオメカニクス | 2 | 3科目の単位を 全て修得 |
| | D群 | a科目群 | 実技実習 a（水泳・水中運動） | |
| キャリア形成科目 | A群 | 種目別コーチング演習3（水泳） | 4 | |

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区 分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|----------|--------------|-----------------|-----------------|
| スポーツ基礎科目 | 自然科学系 | スポーツバイオメカニクス | 2 | 4科目の単位を 全て修得 |
| | 実技実習系 | a群 | 実技実習 a（水泳・水中運動） | |
| キャリア形成科目 | キャリアアップ系 | コーチング演習（水泳）Ⅰ | 2 | |
| | | コーチング演習（水泳）Ⅱ | 2 | |

⑥「ホッケーコーチ3」コース

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、「ホッケーコーチ3」検定試験の受験資格を得ることができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区 分 | | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|-----------|------|-------------------|-----|-----------------|
| 共通科目 | D群 | b科目群 | 実技実習b（ホッケー） | 1 | 4科目の単位を 全て修得 |
| コース科目 | 競技スポーツコース | c科目群 | 競技スポーツ演習（ゲーム分析） | 2 | |
| | | | 競技スポーツ演習（傷害） | 2 | |
| キャリア形成科目 | A群 | | 種目別コーチング演習8（ホッケー） | 4 | |

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区 分 | | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|-----------|----|-----------------|-----|-----------------|
| スポーツ基礎科目 | 実技実習系 | b群 | 実技実習b（ホッケー） | 1 | 5科目の単位を 全て修得 |
| キャリア形成科目 | 競技スポーツ演習系 | | 競技スポーツ演習（ゲーム分析） | 2 | |
| | | | 競技スポーツ演習（傷害） | 2 | |
| | キャリアアップ系 | | コーチング演習（ホッケー）Ⅰ | 2 | |
| | | | コーチング演習（ホッケー）Ⅱ | 2 | |

（3）資格取得方法

●資格取得条件

①から⑥の資格を取得するためには、以下の条件を全て満たす必要があります。

①「コーチングアシスタント」および②「共通科目Ⅲ」免除適応資格

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 各自で指導者マイページを作成していること。
- ウ) 各自でリファレンスブック（4,400円）を購入していること。
- エ) 在学中に大学を通して受講完了申請（無料）を行っていること。
- オ) 各自で「共通科目Ⅲ」オンラインテスト（無料）に申込を行い、合格していること。
- カ) 各自で資格登録（資格認定）の手続きを完了すること。

③「ジュニアスポーツ指導員」および④「アシスタントマネジャー」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 上記②「共通科目Ⅲ」の免除適応資格を得ていること、または同時に申請していること。
- ウ) 在学中に大学を通して受講完了申請（無料）を行っていること。
- エ) 大学を通して専門科目検定試験の受験申込（3,300円）を行い、合格していること。
- オ) 各自で資格登録（資格認定）の手続きを完了すること。

⑤「水泳コーチ3」および⑥「ホッケーコーチ3」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 上記②「共通科目Ⅲ」の免除適応資格を得ていること、または同時に申請していること。
- ウ) 在学中に大学を通して受講完了申請（無料）を行っていること。
- エ) 各連盟または協会が開催する専門科目検定試験に合格していること。
- オ) 各自で資格登録（資格認定）の手続きを完了すること。

●申請方法

- ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。(UNIPA等を通じて通知されます。)
- イ) 「受講完了申請」は大学が一括して申請します。
- ウ) 「受講完了申請」は年2回あります。資格認定日が異なるため注意してください。
- ・ 8月1日～9月30日まで (資格認定は翌年度の4月1日)
 - ・ 2月1日～3月31日まで (資格認定は翌年度の10月1日)

●資格申請に関わる費用

| 種別 | 金額 |
|--------------------|--------|
| リファレンスブック代 | 4,400円 |
| 専門科目検定試験 検定料 | 3,300円 |
| 「共通科目Ⅲ」オンラインテスト受験料 | 無料 |
| 受験完了申請料 | 無料 |

以下の資格登録料は4年ごとに4年間分を一括納入する必要があります。

| 種別 | 金額 | 内容 | |
|---------|-------------|------------------------|---------------|
| 基本料 | 10,000円／4年間 | 保有する資格数に関わらず、一律でかかる登録料 | |
| 初期登録手数料 | 3,300円／1資格 | その資格を初めて登録する際にかかる手数料 | |
| 資格別登録料 | コーチングアシスタント | 0円 | |
| | ジュニアスポーツ指導員 | 0円 | |
| | アシスタントマネジャー | 0円 | 保有する資格にかかる手数料 |
| | 水泳コーチ3 | 10,000円 | |
| | ホッケーコーチ3 | 4,000円 | |

※上記の金額は2023年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

資格の有効期間は4年間と定められており、4年ごとに更新登録手続きが必要です。有効期限を過ぎても更新登録しない場合には、公認スポーツ指導者の資格を失うこととなります。更新登録には、有効期限の6か月前までに所定の更新研修を受講しなければなりません。更新研修は、日本スポーツ協会、都道府県体育・スポーツ協会、中央・都道府県競技団体等が開催しています。

C. パラスポーツ指導員

(1) パラスポーツ指導員とは

公益財団法人日本パラスポーツ協会は、我が国におけるパラスポーツの普及と発展をめざして、パラスポーツの振興と競技力向上にあたるパラスポーツ指導員の資質と指導力の向上を図るため、「日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導者制度」を制定しています。

本学スポーツ科学部は、2016年度から、「パラスポーツ指導員」資格の養成校として認定され、本学に開設する授業科目のうち、日本パラスポーツ協会が定める対象科目に該当する科目の単位を修得すると、「初級パラスポーツ指導員」「中級パラスポーツ指導員」の資格が取得できます。

①「初級パラスポーツ指導員」

地域で活動する指導者で、主に初めてスポーツに参加する障がい者に対し、スポーツの喜びや楽しさを重視したスポーツの導入を支援する者です。

②「中級パラスポーツ指導員」

地域におけるパラスポーツのリーダーとしての役割を持ち、指導現場で十分な知識・技術と経験に基づいた指導ができる者です。

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

①「初級パラスポーツ指導員」

「初級パラスポーツ指導員」については、次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、資格要件を満たすことができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|-------|--------------------|-----------|-----|------------|
| コース科目 | 生涯スポーツコース b 科目群 | 障がい者スポーツ論 | 2 | 1 科目の単位を修得 |

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|---------|-----------|-----|------------|
| スポーツ探究科目 | 生涯スポーツ系 | 障がい者スポーツ論 | 2 | 1 科目の単位を修得 |

②「中級パラスポーツ指導員」

「中級パラスポーツ指導員」は、「初級パラスポーツ指導員」資格に該当する科目に加え、次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得し、80時間以上のパラスポーツにおける活動実績があれば、「中級パラスポーツ指導員」の資格要件を満たすことができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|-----------|-----------------------------|-----|------------|
| 共通科目 | B 群 | スポーツ心理学 | 2 | 7 科目の単位を修得 |
| | | スポーツ社会学 | 2 | |
| | C 群 | 体力論 | 2 | |
| | | スポーツ傷害論 | 2 | |
| コース科目 | 競技スポーツコース | a 科目群 障がい者競技スポーツ論 | 2 | |
| | | c 科目群 競技スポーツ演習（傷害） | 2 | |
| キャリア形成科目 | C 群 | 生涯スポーツサポート演習5 （障がい者スポーツ） | 2 | |

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|-----------|-----------------------------|-----|---------------|
| スポーツ基礎科目 | 人文・社会科学系 | スポーツ心理学 | 2 | 7科目の単位を 修得 |
| | | スポーツ社会学 | 2 | |
| | 自然科学系 | 体力論 | 2 | |
| | | スポーツ傷害論 | 2 | |
| スポーツ探究科目 | 競技スポーツ系 | 障がい者競技スポーツ論 | 2 | |
| キャリア形成科目 | 競技スポーツ演習系 | 競技スポーツ演習（傷害） | 2 | |
| | 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツ演習 （障がい者スポーツ）※（仮称） | 2 | |

※「生涯スポーツサポート演習5（障がい者スポーツ）」は2025年度に廃止され、他の科目が新設される予定。

（3）資格取得方法

●資格取得条件

①「初級パラスポーツ指導員」

- ア）（2）履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ）在学中に大学を通して一括申請手続きをすること。

②「中級パラスポーツ指導員」

- ア）（2）履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ）在学中に大学を通して一括申請手続きをすること。
- ウ）「活動実績証明書」のコピーを提出すること。（80時間以上のパラスポーツにおける活動実績が必要）

●申請方法

「初級・中級パラスポーツ指導員」資格に該当する単位を修得済みの者（卒業年次の場合は修得見込みの者も可）で、資格取得を希望する者に対してガイダンスを行います。

- ア）申請のためのガイダンスに出席してください。（UNIPA等を通じて通知されます）
- イ）大学が一括して申請します。

●資格申請に関わる費用

| 区分 | 内訳 | | 合計 |
|--------------|--------|--------|--------|
| ①初級パラスポーツ指導員 | 申請・認定料 | 5,500円 | 9,300円 |
| | 登録料 | 3,800円 | |
| ②中級パラスポーツ指導員 | 申請・認定料 | 5,500円 | 9,300円 |
| | 登録料 | 3,800円 | |

※上記の申請等に関する金額は、2023年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

（4）有効期間と更新について

各資格の有効期間および更新に関する情報は、以下のとおりです。

| 区分 | 有効期限 | 更新方法 | 費用 |
|--------------|---------------------------|---|--------|
| ①初級パラスポーツ指導員 | 毎年4月1日から翌年 3月31日までの1年間 | 年度末に次年度登録更新の案内が「パラス ポーツ協会」から個人宛に郵送されるため、 案内に沿って入金を行います。 | 3,800円 |
| ②中級パラスポーツ指導員 | | | |

D. トレーニング指導者 (JATI)

(1) トレーニング指導者とは

特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会（以下、「JATI」という）認定の資格です。「トレーニング指導者（JATI-ATI）」とは、スポーツ選手や一般人を対象としたトレーニング指導の専門家として活動するための基礎資格として位置づけられており、対象や目的に応じて、科学的根拠に基づく適切な運動プログラムを作成・指導するために必要な知識を習得したと認められた者に授与されます。

本学スポーツ科学部は、2016年度から、JATIの「トレーニング指導者」養成校として認定され、JATIが定める対象科目に該当する科目の単位を修得すると、認定試験の受験資格を得ることができます。また、認定試験に合格し、所定の手続きを経ることで「トレーニング指導者」の資格を取得できます。

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、養成講習会の受講が免除され、養成校を対象としたトレーニング指導者認定試験を受験することができます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|-------|-----------|-----------------------|---------------|------------------|
| 共通科目 | B群 | スポーツ心理学 | 2 | 15科目の単位を 全て修得 |
| | | コーチング論（運動学、運動方法学を含む） | 2 | |
| | C群 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| | | 体力論 | 2 | |
| | | スポーツ生理学 | 2 | |
| | | スポーツバイオメカニクス | 2 | |
| | | トレーニング論 | 2 | |
| | | 機能解剖学 | 2 | |
| | | スポーツ傷害論 | 2 | |
| D群 | a科目群 | 実技実習 a（トレーニング／体づくり運動） | 1 | |
| コース科目 | 競技スポーツコース | a科目群 | 競技スポーツマネジメント論 | 2 |
| | | | 競技スポーツデータ論 | 2 |
| | | b科目群 | 競技スポーツ栄養論 | 2 |
| | 生涯スポーツコース | b科目群 | 健康体力論 | 2 |

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 |
|----------|----------|----------------------|-----|--------------|
| スポーツ基礎科目 | 人文・社会科学系 | スポーツ心理学 | 2 | 15科目の単位を全て修得 |
| | | コーチング論（運動学、運動方法学を含む） | 2 | |
| | 自然科学系 | スポーツ医学 | 2 | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | |
| | | 体力論 | 2 | |
| | | スポーツ生理学 | 2 | |
| | | スポーツバイオメカニクス | 2 | |
| | | トレーニング論 | 2 | |
| | | 機能解剖学 | 2 | |
| | | スポーツ傷害論 | 2 | |
| 実技実習系 | a群 | 実技実習a（トレーニング／体づくり運動） | 1 | |
| スポーツ探究科目 | 競技スポーツ系 | 競技スポーツマネジメント論 | 2 | |
| | | 競技スポーツデータ論 | 2 | |
| | | 競技スポーツ栄養論 | 2 | |
| | 生涯スポーツ系 | 健康体力論 | 2 | |

（3）資格取得方法

●資格取得条件

- ア）（2）履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ）「認定試験」に合格すること。
- ウ）各自で「日本トレーニング指導者協会」入会手続きを行うこと。

●申請方法

- ア）申請のためのガイダンスに出席してください。（UNIPA等を通じて通知されます。）
- イ）在学中は大学が一括して申請します。
- ウ）卒業後に個人で申請することも可能です。

●資格申請に関わる費用

| 種別 | 金額 | 合計 |
|--------------------|------------|---------|
| 認定試験受験料 | 33,000円 | 44,000円 |
| 日本トレーニング指導者協会会員登録料 | 年会費11,000円 | |

※申請等に関する金額は、2023年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

（4）有効期間と更新について

各資格の有効期間および更新に関する情報は、以下のとおりです。

| 区分 | 有効期限 | 更新方法 | 費用 |
|-----------|------|-----------------------------|---------|
| トレーニング指導者 | 5年間 | 継続単位を5年間で15単位以上取得することが必要。※1 | 22,000円 |

※1 継続単位は、日本トレーニング指導者協会が主催する各種研修会・ワークショップのほか、所定の自己学習活動、執筆・学会発表等の活動で取得することが可能です。

E. 健康運動指導士、健康運動実践指導者

(1) 健康運動指導士、健康運動実践指導者とは

いずれの資格も「公益財団法人健康・体力づくり事業財団」が認定する資格となります。

本学スポーツ科学部は、2018年度から、健康・体力づくり事業財団の「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の養成校として認定され、本学に開設する授業科目のうち、健康・体力づくり事業財団が定める対象科目に該当する科目の単位を修得すると、「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の認定試験の受験資格が得られ、認定試験に合格し、所定の手続きを経ることで「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の資格を取得することができます。

①「健康運動指導士」

「保健医療関係者と連携しつつ、個々人の心身の状態に応じた、安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムを作成および実践指導計画の調整等を行う役割を担う者」とされています。

②「健康運動実践指導者」

「積極的な健康づくりを目的とした運動を安全かつ効果的に実践指導できる能力を有すると認められる者」とされています。

(2) 履修ルール（免除資格充足のための履修方法）

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得することで、養成講習会の受講が免除され、養成校を対象とした認定試験を受験する資格が与えられます。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | ①健康運動指導士 | ②健康運動実践指導者 | |
|-------|---------------------------------|--------------|---------------------------|----------|------------|---|
| 共通科目 | C群 | 体力論 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツバイオメカニクス | 2 | ○ | ○ | |
| | | 機能解剖学 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツ医学 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツ生理学 | 2 | ○ | ○ | |
| | D群 | a科目群 | 実技実習 a（トレーニング／体づくり運動） | 1 | ○ | ○ |
| | | | 実技実習 a（ダンス） | 1 | ○ | ○ |
| | | | 実技実習 a（陸上競技：長距離） | 1 | ○ | ○ |
| | | | 実技実習 a（水泳・水中運動） | 1 | ○ | ○ |
| コース科目 | 競技スポーツコース | b科目群 | トレーニング指導実習※ | 1 | — | ○ |
| | 生涯スポーツコース | b科目群 | 健康体力論 | 2 | ○ | ○ |
| | | | 健康心理論 | 2 | ○ | ○ |
| | | | 運動処方論 | 2 | ○ | ○ |
| | | | 高齢者スポーツ論（要介護者を含む） | 2 | ○ | ○ |
| | | c科目群 | 生涯スポーツ演習（高齢者・要介護者のスポーツ活動） | 2 | ○ | ○ |
| | 生涯スポーツ演習※（健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）） | | 2 | ○ | — | |
| | | | 合計 | 16科目 | 16科目 | |

○印は必修科目 ※この科目については、集中講義にて開講します。

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | ①健康運動指導士 | ②健康運動実践指導者 | |
|----------|-----------|-------------------------------|-----------------------|----------|------------|---|
| スポーツ基礎科目 | 自然科学系 | 体力論 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツバイオメカニクス | 2 | ○ | ○ | |
| | | 機能解剖学 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツ医学 | 2 | ○ | ○ | |
| | | スポーツ生理学 | 2 | ○ | ○ | |
| | 実技実習系 | a群 | 実技実習 a（トレーニング／体づくり運動） | 1 | ○ | ○ |
| | | | 実技実習 a（ダンス） | 1 | ○ | ○ |
| | | | 実技実習 a（陸上競技：長距離） | 1 | ○ | ○ |
| | | | 実技実習 a（水泳・水中運動） | 1 | ○ | ○ |
| スポーツ探究科目 | 生涯スポーツ系 | 健康体力論 | 2 | ○ | ○ | |
| | | 健康心理論 | 2 | ○ | ○ | |
| | | 運動処方論 | 2 | ○ | ○ | |
| | | 高齢者スポーツ論（要介護者を含む） | 2 | ○ | ○ | |
| キャリア形成科目 | 生涯スポーツ演習系 | 生涯スポーツ演習 （高齢者・要介護者のスポーツ活動） | 2 | ○ | ○ | |
| | キャリアアップ系 | 健康運動指導等研修（事前事後指導を含む）※ | 2 | ○ | — | |
| | | トレーニング指導実習 ※ | 1 | — | ○ | |
| | | | 合計 | 16科目 | 16科目 | |

○印は必修科目 ※この科目については、集中講義にて開講します。

（3）資格取得方法

●資格取得条件

①「健康運動指導士」

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 卒業または卒業見込みであること。
- ウ) 在学中に大学を通して申請を行い、認定試験に合格すること。
但し、卒業までに受験申込をしなかった場合は、卒業後4年以内に限り受験すること。
- エ) 各自で資格の登録を行うこと。

②健康運動実践指導者

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を4年前期までに修得していること。
- イ) 在学中に大学を通して申請を行い、指導実技試験および筆記試験に合格すること。
但し、一度受験申込をし、受験資格を得た場合は、卒業後でも受験すること。
- ウ) 各自で資格の登録を行うこと。

●申請方法

「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」の資格に該当する単位を修得済みの者に対して、資格取得希望者向けのガイダンスを行います。ガイダンスの実施日程は、UNIPAを通じて通知します。

●資格申請に関わる費用

認定試験の受験に伴う費用は以下のとおりです。

| 区分 | 受験料 |
|------------|---------|
| ①健康運動指導士 | 15,714円 |
| ②健康運動実践指導者 | 26,400円 |

認定試験に合格したのち、「健康運動指導士」「健康運動実践指導者」として登録を行う必要となります。
登録料は、以下のとおりです。

| 区分 | 登録料 |
|------------|---------|
| ①健康運動指導士 | 25,300円 |
| ②健康運動実践指導者 | 22,000円 |

※上記の申請等に関する金額は、2022年11月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

各資格の有効期間および更新に関する情報は、以下のとおりです。

| 区分 | 有効期限 | 更新方法 | 費用 |
|------------|------|---------------|---------|
| ①健康運動指導士 | 5年間 | 所定の講習会を受講すること | 22,000円 |
| ②健康運動実践指導者 | | | |

F. JPSUスポーツトレーナー

(1) JPSUスポーツトレーナーについて

「JPSU スポーツトレーナー」とは、全国体育スポーツ系大学協議会（JPSU）が認定する資格であり、アスレティックトレーナー領域、フィットネストレーナー領域、ストレングス&コンディショニング領域などの共通領域（ケガの予防対応、救急対応）に体育・スポーツ系の特色である運動実践および指導が可能な能力を保証する資格です。この資格を取得することで、体育・スポーツを基軸とし広く社会に貢献できる人材となることを目指すことができます。

本学スポーツ科学部は、2019年度から、全国体育スポーツ系大学協議会の「JPSUスポーツトレーナー」資格の養成校として認定され、本学に開設する授業科目のうち、全国体育スポーツ系大学協議会が定める対象科目に該当する科目の単位を修得し、指定される講習会を受講することで資格認定試験の受験資格を得ることができます。そして、認定試験に合格し、所定の手続きを経ることで「JPSUスポーツトレーナー」の資格を取得することができます。

(2) 履修ルール

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目の単位を修得する必要があります。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 | 備考 | | |
|------------------------------------|--------------|--------------------------------|------------------------|-------------------------------|-------------|----|--|
| キャリア形成科目 | B群 | 競技スポーツサポート演習6（傷害） ※2024年度廃止 | 2 | いずれか 1科目 | | | |
| | B群 | コーチング論 | 2 | | | | |
| 共通科目 | C群 | スポーツ心理学 | 2 | ○ | | | |
| | | 体力論 | 2 | ○ | | | |
| | | スポーツ生理学 | 2 | ○ | | | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | ○ | | | |
| | | スポーツバイオメカニクス | 2 | ○ | | | |
| | | 機能解剖学 | 2 | ○ | | | |
| | | スポーツ医学 | 2 | ○ | | | |
| | D群 | a科目群 | 実技実習a（トレーニング／体づくり運動） | 1 | ○ | | |
| | | | 実技実習a（ダンス） | 1 | いずれか 1科目 | ① | |
| | | | 実技実習a（器械運動） | 1 | | | |
| | | | 実技実習a（陸上競技：短距離・跳躍・投てき） | 1 | | | |
| | | | 実技実習a（陸上競技：長距離） | 1 | いずれか 1科目 | ② | |
| | | | 実技実習a（水泳・水中運動） | 1 | | | |
| | | | 実技実習a（スケート） | 1 | | | |
| | | b科目群 | 実技実習b（バスケットボール） | 1 | いずれか 1科目 | ③ | |
| | | | 実技実習b（サッカー） | 1 | | | |
| | | | 実技実習b（ホッケー） | 1 | | | |
| | | | 実技実習b（バレーボール） | 1 | | | |
| | | | 実技実習b（テニス） | 1 | | | |
| | | | 実技実習b（ソフトボール） | 1 | | | |
| c科目群 | 実技実習c（柔道） | 1 | いずれか 1科目 | ④ | | | |
| | 実技実習c（レスリング） | 1 | | | | | |
| | 実技実習c（空手道） | 1 | | | | | |
| コース科目 | 競技スポーツコース | b科目群 | 競技スポーツ体力論 | 2 | ○ | | |
| | | 競技スポーツ傷害論 | 2 | ○ | | | |
| | | トレーニング指導実習 | 1 | ※1 | 集中講義 | | |
| | c科目群 | 競技スポーツ演習（体力） | 2 | ○ | | | |
| | | 競技スポーツ演習（傷害） | 2 | ○ | | | |
| | | 生涯スポーツコース | b科目群 | 運動処方論 | 2 | ○ | |
| | | | c科目群 | 生涯スポーツ演習 （高齢者・要介護者のスポーツ活動） | 2 | ※1 | |
| 生涯スポーツ演習 （健康運動等指導研修（事前事後指導を含む）） | 2 | いずれか 1科目 | | 集中講義 | | | |
| 教職専門科目 | 教育実習Ⅰ | | 2 | | | | |
| | | | 合計 | 19科目 | | | |

○印は必修科目 ※1は、どちらか1科目を修得すること。

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 | 履修条件 | 備考 | |
|----------------------|---------------|-------------------------------|------------------------|------|-------------|------|
| スポーツ 基礎科目 | 人文・社会科学系 | コーチング論 | 2 | ○ | | |
| | | スポーツ心理学 | 2 | ○ | | |
| | 自然科学系 | 体力論 | 2 | ○ | | |
| | | スポーツ生理学 | 2 | ○ | | |
| | | スポーツ栄養学 | 2 | ○ | | |
| | | スポーツバイオメカニクス | 2 | ○ | | |
| | | 機能解剖学 | 2 | ○ | | |
| | | スポーツ医学 | 2 | ○ | | |
| | 実技実習系 | a群 | 実技実習a（トレーニング/体づくり運動） | 1 | ○ | |
| | | | 実技実習a（ダンス） | 1 | いずれか 1科目 | ① |
| | | | 実技実習a（器械運動） | 1 | | |
| | | | 実技実習a（陸上競技：短距離・跳躍・投てき） | 1 | | |
| | | | 実技実習a（陸上競技：長距離） | 1 | いずれか 1科目 | ② |
| | | | 実技実習a（水泳・水中運動） | 1 | | |
| | | | 実技実習a（スケート） | 1 | | |
| | | b群 | 実技実習b（バスケットボール） | 1 | いずれか 1科目 | ③ |
| | | | 実技実習b（サッカー） | 1 | | |
| | | | 実技実習b（ホッケー） | 1 | | |
| | | | 実技実習b（バレーボール） | 1 | | |
| | | | 実技実習b（テニス） | 1 | | |
| 実技実習b（ソフトボール） | | | 1 | | | |
| c群 | 実技実習c（柔道） | 1 | いずれか 1科目 | ④ | | |
| | 実技実習c（レスリング） | 1 | | | | |
| | 実技実習c（空手道） | 1 | | | | |
| スポーツ 探究科目 | 競技スポーツ系 | 競技スポーツ体力論 | 2 | ○ | | |
| | | 競技スポーツ傷害論 | 2 | ○ | | |
| | 生涯スポーツ系 | 運動処方論 | 2 | ○ | | |
| キャリア 形成科目 | 競技スポーツ 演習系 | 競技スポーツ演習（体力） | 2 | ○ | | |
| | | 競技スポーツ演習（傷害） | 2 | ○ | | |
| | 生涯スポーツ 演習系 | 生涯スポーツ演習 （高齢者・要介護者のスポーツ活動） | 2 | ※1 | | |
| | | キャリアアップ系 | トレーニング指導実習 | 1 | ※1 | 集中講義 |
| 健康運動指導等研修（事前事後指導を含む） | 1 | | いずれか 1科目 | 集中講義 | | |
| 教職専門科目 | | 教育実習Ⅰ | 2 | ○ | | |
| | | | 合計 | 19科目 | | |

○印は必修科目 ※1は、どちらか1科目を修得すること。

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

- ア) (2) 履修ルールに則って所定の単位を修得していること。
- イ) 日本赤十字社などが認定するBLS (Basic Life Support ; 一次救命処置) に関する資格を取得すること。
- ウ) 修了認定講習会 (4年次後期に学外で開催予定) を受講した上で、認定試験 (運動実践・指導に関する課題と救急・予防対応に関する課題についての記述試験) に合格すること。
- エ) 各自でJPSUスポーツトレーナー養成カリキュラム適応科目修得証明書 (卒業を明記) を提出すること。

●申請方法

「JPSUスポーツトレーナー」の資格に該当する単位を修得済みの者 (もしくは修得見込みの者) に対して、資格取得希望者向けのガイダンスを行います。

- ア) 申請のためのガイダンスに出席してください。(UNIPA等を通じて通知されます。)
- イ) 在学中または卒業後も大学から一括申請します。

●資格申請に関わる費用

| 種別 | 金額 |
|-----------------------|---------|
| 修了認定講習会受講料 (検定料を含みます) | 20,000円 |

※上記の申請等に関する金額は、2023年4月現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

| 区分 | 有効期限 | 更新方法 | 費用 |
|---------------|------|--|---------|
| JPSUスポーツトレーナー | 5年間 | 資格更新用報告書とBLS 資格のコピー (有効期限内のもの) をJPSU事務局に提出することが必要。 | 11,000円 |

G. JFA公認C級コーチ

(1) JFA公認C級コーチとは

公益財団法人日本サッカー協会（以下、「JFA」という）は、アマチュアチームおよびアマチュアレベルの選手（子どもから大人）を指導できる人材を養成すると同時に、これから指導者としての基礎を築こうとする指導者を養成することを目的に、C級コーチ養成講習会を開催しています。なお、本資格は、公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1（18歳以上）資格にもなっています。

本学スポーツ科学部は、2018年度から、JFAの「公認C級コーチ」養成講習会の開設が認められ、本学スポーツ科学部が定めた科目を所定の手続きを経て履修し、定められた合格基準を満たすことで、資格を取得することができます。

(2) 履修ルール

次表に掲げるスポーツ科学部スポーツ科学科の学部専攻科目を履修する必要があります。

2022年度以前入学生（3年生以上）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 |
|----------|----|-------------------|-----|
| キャリア形成科目 | A群 | 種目別コーチング演習6（サッカー） | 4 |

2023年度以降入学生（1・2年生）

| 区分 | | 授業科目名 | 単位数 |
|----------|----------|----------------|-----|
| キャリア形成科目 | キャリアアップ系 | コーチング演習（サッカー）Ⅰ | 2 |
| | | コーチング演習（サッカー）Ⅱ | 2 |

(3) 資格取得方法

●資格取得条件

- ア) 履修前にJFA IDを取得し、教材費およびJFA納付金を支払っていること。
- イ) (2)で示された科目の履修中に、指導実践、筆記試験、実技レベル等の合格基準を満たしていること。
- ウ) 合格基準を満たした後、初年度指導者登録費を支払っていること。

●申請方法

資格取得条件を満たした者に対して周知します。(UNIPA等を通じて通知されます。)

●資格申請に関わる費用

| 種別 | 金額 | 備考 |
|--------|---------|------------|
| 教材費 | 12,100円 | 履修前 |
| JFA納付金 | 2,200円 | 履修前 |
| 初年度登録費 | 5,000円 | 合格基準を満たした後 |

※受講費33,000円は免除されます。

※上記の申請等に関する金額は、2023年度現在のものであり、申請年度によって変更されることがあります。

(4) 有効期間と更新について

| 区分 | 有効期限 | 更新方法 |
|-------|------|--|
| C級コーチ | 4年間 | 指導者登録料（5,000円/年）を支払い、リフレッシュポイントを4年間で40ポイント獲得することが必要。 |

YGU Curriculum Guide

2024

カリキュラムガイド

*Critical Thinking &
Creative Action
Diversity & Inclusion*



山梨学院大学

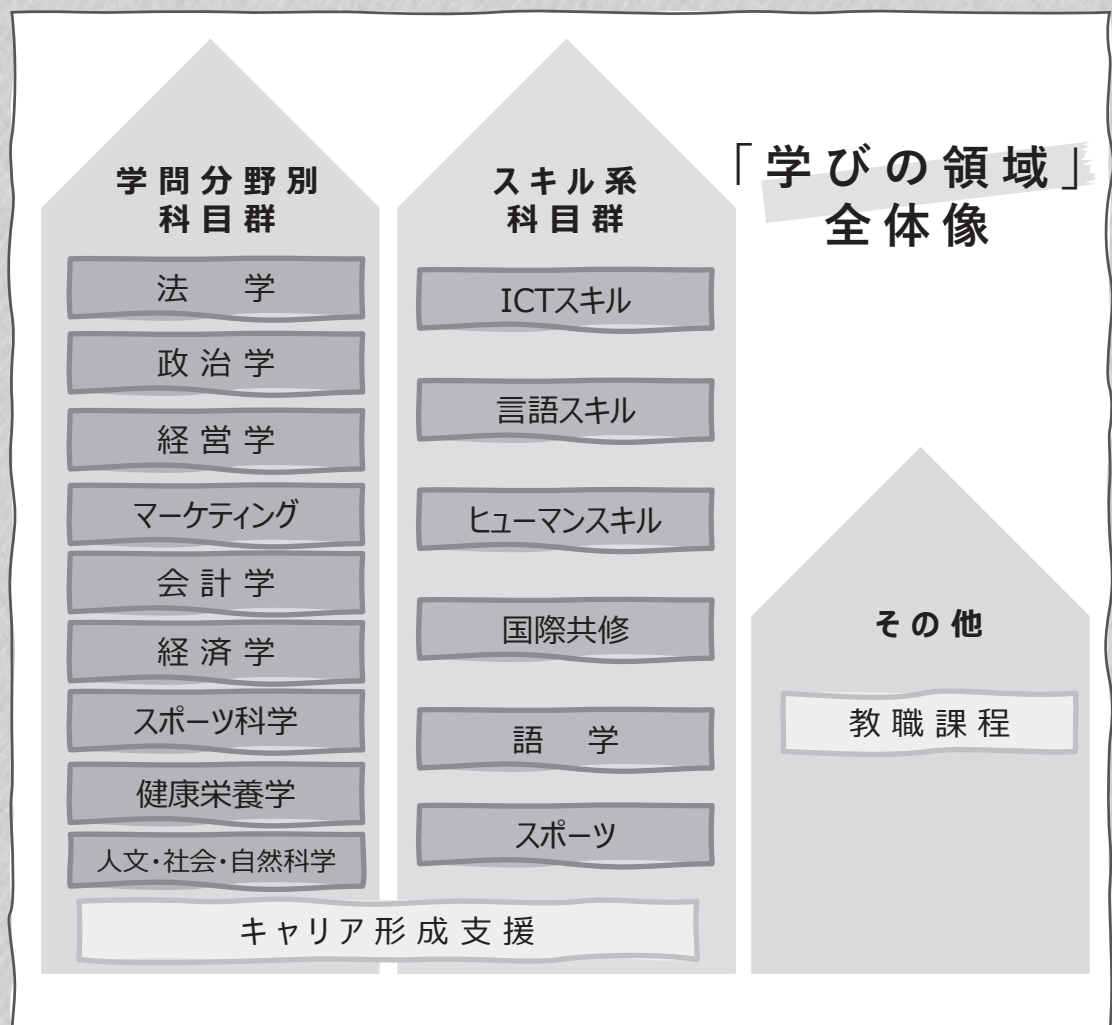


みんなが幸せになるために大学がある

「たくましく生きる力」を
育成するための学び

みなさんの未来、将来のルートを
一緒に探しましょう！

本学の科目には大きく分けて、アカデミックな専門領域について学ぶ「学問分野別科目群」と、社会で働く際に必要となるスキルを学ぶ「スキル系科目群」があります。「キャリア形成支援科目」は、なりたい自分の姿について考えたり、社会人としてのマインドを身につける科目です。また、「教職課程」は教員免許状の取得を目指す学生向けの科目です。なりたい自分の姿を想像しながら、バランスの取れた科目履修を心がけましょう。



わたしの生き方を 創造しよう

山梨学院大学には多彩な科目が用意されています。どの科目も、皆さんの将来につながる知識・スキルを身に付けるための科目です。このカリキュラムガイドでは様々な科目の紹介をしています。このガイドを片手に、卒業後の自分の姿をイメージしながら、科目を選択してください。

科目を知ろう！ YGUで何を学ぶ？

法学



法的にものごとを見る、法的に考えるってどういうこと？

政治学



社会をよりよくするにはどうしたらいいの？

経営学



人が何かをやるうとするところには、必ず「経営」がある！

マーケティング



ヒットを生み出すセンスとロジックを手に入れる！

会計学



経営者にとって必須の知識「会計学」！

経済学



理論とデータで経済の動きが見えてくる

スポーツ科学



スポーツ科学って？あらゆる角度からスポーツを「科学する」！

健康栄養学



食を通して社会に貢献する！

人文・社会・自然科学



新聞やニュースの「謎解き」に挑戦！

ICTスキル



ICTの知識と技能で新しい世界を拓く力

言語スキル



事実にもとづく思考と言葉を生きる力に！

ヒューマンスキル



本当の「コミュカ」「行動力」って何だろう？

国際共修



グローバルな仲間との意思疎通を通じて、多様な社会をたくましく生きる力を身につけよう！

語学



外国語学習を通じて、キャンパス内外で活かせる実践的なコミュニケーション力を身につける！

スポーツ



スポーツは心と体のデトックス！！

キャリア形成支援



自分の「生き方」を決めていこう！

教職課程



あなたの情熱で、子どもたちの可能性を広げよう！



法的に考えるってどういうこと？

現在の社会を法律に代表されるルール観点から理解するとともに、社会の現象や課題に対してルールに基づく合理的な問題解決の方法を学ぶ分野です。法学分野での基本となる科目はいわゆる「六法」といわれる「憲法」、「民法」、「刑法」、「企業法（商法）」、「民事訴訟法」、「刑事訴訟法」ですが、とりわけ「憲法」、「民法」、「刑法」の各科目はその他の科目を理解するための基礎となっています。

法律知識や法的なものの見方を身につけることで、ルールに基づく問題解決能力を高め、社会生活の様々な場面で“すべきこと／してはならないこと”を判断する指針を得ることができます。

Pick Up

法学概論

法的なもの（モノ）の見方・考え方、法を学ぶための基本的スキルなどを学ぶ、法学のはじめの一歩となる科目です。「法学って難しそう」と思っている学生もまずはこの科目を履修してみてください。前・後期に開講されており、いつでも学び始めることができます。

○大人数 ○講義 ○対面

民法A

民法は 私たちの生活にもっとも身近な法律です。「勘違いで契約をしたらどうしたらいいの？」「契約をするときに何に気をつけるべき？」といったことの答えが分かります。前・後期に開講されており、いつでも学び始めることができます。

○大人数 ○講義 ○対面

憲法A・B

憲法は社会の根本原則を定めています。法学を学ぶ場合には最初に憲法を理解する必要があります。「何が正しくて、何が正しくないか」という社会的価値観や国家の仕組みを理解するためにオススメの科目です。

○大人数 ○講義 ○対面

刑法A

さまざまな犯罪に対してどのような罰を科すべきかを定めているのが刑法です。「どんなことが犯罪になるの？」、「そもそも国が犯罪に罰を与えるのはなんのため？」といった問いに答えます。

○大人数 ○講義 ○対面



Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

「こんなことしてもいいのかな？」、「自分の判断は正しいのかな？」、「失敗したり、トラブルに巻き込まれたらどうしよう」。こうした不安は社会の仕組みやルールを知らないことは一因となっています。法学を勉強して、“社会の歩き方”を知りましょう。



社会をよりよくするには どうしたらいいの？

社会の人々がよりよい生活を送るために、必要な公的組織のあり方や公共的な問題に対してとるべき方針を考えることです。具体的には、国内の少子高齢化と介護福祉の問題などの目の前の問題から、世界の平和を危うくする紛争や難民、環境などのグローバルな問題まで幅広い知識を扱います。政治科目群には、政治学の基礎理論を学ぶ「政治学概論」、政治の動きを知る「日本政治史」、国際的な視点で政治や政治問題をとらえる「国際政治」や「国際公共政策」などの科目があります。政治学を学ぶことで、幅広い視点からものごとを多角的に検証し、改善のための動きにつなげる力を高めることができます。

Pick Up

公務員の仕事

公務員・元公務員の方をお招きして、実際の職務内容や公務員としての生活、行政の取り組みなどについてお話をしてもらいます。また、本学の卒業生の体験談を聞くこともできます。公務員を目指す学生にオススメの科目です。

- 大人数
- 実務重視型
- オムニバス

政治学概論 I

政治学の第一歩となる科目です。よりよい生活のために公的組織やいろいろな社会制度について考えるのが政治学です。権力や国家、民主主義など社会の基本的な考え方を理解できます。

- 大人数
- 講義
- 対面

国際公共政策A

国際社会の平和や発展に関わる問題を見つけ、解決するための政策を考える科目です。国際社会は貧困、難民・移民などの人権問題、人身売買やテロリズムなどの国際犯罪などさまざまな問題に直面しています。グローバルな政策課題にチャレンジしてみましょう。

- 講義
- ディスカッション

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

政治学では、「社会をよりよくするにはどうするか」という答えのない問いと向き合い、さまざまな意見を聞き、幅広い視点から公共的な問題を考えます。将来、「社会や地域に貢献したい」、「人のためになにかしたい」、「やりがいのある仕事をしたい」と考える人にオススメの科目です。





人が何かをやろうとするところには必ず「経営」がある！

「会社をはじめとした様々な組織をうまく回すこと」です。つまり経営学という学問は、この「様々な組織をうまく回す」ためのノウハウということになります。経営学科目群では、「経営」を、大きく分けて「戦略」「組織」「管理」という三つの視座から学んでいきます。「戦略」とは、成果を大きくするためにやるべきこと、「組織」とは、人々がうまく力を合わせていくためにやるべきこと、「管理」とはやるべきことを確実に実現するために必要なことです。経営と経営学について一般的なことを学んだ後は、様々なシチュエーションに特化した経営について学ぶことになります。例えば、観光産業や製造業、農業など産業ごとの特性に合わせた経営を学んだり、人的資源管理のように会社の中の様々な仕事についてより詳しく学んでいくことになります。

Pick Up

経営学概論

経営学を学ぶ時の入り口。
この科目で経営学の面白さを
知ろう！

- 大人数
- オンライン

アントレプレナーシップ

起業したい人はこの科目！
ビジネスを興す為に必要な力を
ガッツリ鍛えよう！

- オフキャンパス
- PBL
- グループワーク

ツーリズムマネジメント

山梨県といえば日本有数の観光地！
これからの日本の観光産業を
背負って立つ人になりたいあなたに！

- オフキャンパス
- PBL
- グループワーク
- 産業界との接続

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

経営学科目群で学ぶことの多くは、卒業して就職したり起業したりするよりも前から、いろんなシチュエーションで活躍してくれます。

例えばプロジェクトを実行したり、サークルや部活で組織を活性化したり、アルバイト先の売り上げ向上に貢献したり・・・経営学を学んだら、「せっかくだからどんどん使ってやろう！」という目線で日々の様々な活動に応用してみましょ。

どんどん楽しくなりますよ！





ヒットを生み出すセンスとロジックを手に入れる！

製品が売れるために、消費者心理や時代のトレンドを読み取り、消費者が求める価値を探り出し、製品、価格、チャネル（販売経路）、プロモーションについて戦略を立案・実行することです。マーケティング科目群では、1・2年次で基礎を固め、3・4年次ではブランドの立ち上げやショップ経営（リテールマーケティング）、サービス業やグローバル展開などの応用テクニックを身につけることができます。

Pick Up

マーケティング概論

マーケティングの基本的な考え方やテクニックが身につきます。わかりやすい事例を取り上げ、それをベースに教員や受講生と一緒に「考えながら」授業を進めますので、初めてマーケティングに触れる人でも大丈夫です！

- 大人数
- オンライン
- グループワーク

消費者行動論

消費者が、どこからどのような影響を受け、どのような心理プロセスを経て製品を購入するのかを明らかにし、それを企業がどのように活用するかを考えるのが「消費者行動論」です。目指せ、心理学とビジネスの二刀流！

- 大人数
- グループワーク
- ディスカッション
- プレゼンテーション
- ディベート

ブランドマネジメント

強いブランドはどのようにできているのか、それを維持・発展させるために企業は何をすべきかについて、事例を理論的に分析できるようになります。将来自分でブランドの立ち上げたいという方には、特にオススメです。

- 大人数
- PBL
- グループワーク



Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

マーケターの活躍の場は広く、社会問題解決に取り組む人もいます。相手のことを理解して、相手にとって良いことを見出し、それを相手が進んで行うようにするプロだからです。就職活動や恋愛にも強くなれそうですね。



会計学

履修可能な学部：法学部・経営学部



経営者にとって必須の知識「会計学」！

企業の決算書である損益計算書（そんえきけいさんしょ）や貸借対照表（たいしゃくたいしょうひょう）について理解する学問です。会計が理解できると、企業の儲けの仕組みがわかるようになります。

よく「会計学」と「簿記」の違いについて質問を受けますが、「簿記」は帳簿に記入すること（帳簿の「簿」と記入の「記」で「簿記」）の略ですので、帳簿に記入するうえでの手続き的なルールを学ぶ学問です。一方で、「会計学」は帳簿から作られた決算書の中身や考え方について学ぶ学問になります。帳簿記入や決算書を作るためのルールを学ぶ科目は「簿記概論」「商業簿記」「工業簿記」、決算書の中身や考え方について学ぶ科目は「会計学概論」「財務会計」「管理会計」「税務会計」となります。

Pick Up

簿記概論

会計を学ぶ初学者向けの科目です。企業が行う取引を記録するルールや記録の方法を学びます。企業の成績を表す財務諸表を作成できるようになります。簿記を学ぶことが初めての方、高校で簿記を学んだことはあるけれど、もう一度復習したいという方は、この科目を最初に受講してから、他の会計科目を受講してください。

○大人数 ○オンライン

会計学概論

簿記で作られた財務諸表の中身について学びます。ある取引を処理するときになぜその方法を採用するのか、その背景にある理論や考え方を学びます。この科目は「簿記概論」を受講した後か、もしくは「簿記概論」と同時期に受講することをお勧めします。「会計学概論」で使われる会計用語は、「簿記概論」での基礎知識が必要となるためです。

○大人数 ○オンライン

商業簿記

「簿記概論」を受講した後に、さらに簿記を学びたい方にお勧めの授業です。「簿記概論」での基礎知識を発展させて、ビジネス社会で求められる、株式会社の会計処理を学びます。

○小～中人数 ○対面

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

会計学を勉強するメリットはいくつもあります。企業の決算書が読めるようになると、就職活動や転職活動の際、希望の会社の財務状況の良し悪しを判断することができます。将来、会社の経営者になる夢を持っている方には、自社や取引先の決算書がどのように作られるのか、またその内容を理解することはと当然必要な知識となります。また経済ニュースには、会計に関連した企業業績の話題が多く取り上げられています。会計学を学ぶと、企業の業績に関する経済ニュースを理解できるようになるでしょう。会計学や簿記を学び、資格試験に合格すれば、就職活動で会計学の知識をアピールすることもできます。





理論とデータで経済の動きが見えてくる

「個人・企業・政府の意思決定」と「経済全体の動き」がどのように関係しているのか、理論とデータを使って解明する学問分野です。たとえば、石油の輸入を政府が制限すれば、国内の石油価格は上昇します。そして、個人や企業は石油の使用量を減らし、生産や輸送、移動に影響が及びます。このような関係を解明するのが経済学の役割です。経済学の科目には基礎となる「経済学概論」「マイクロ経済学」「マクロ経済学」、基礎理論を応用して社会を分析する「公共経済学」「国際貿易」などがあります。

Pick Up

経済学概論

経済学の全体像を知るための科目です。経済学には「マイクロ経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論があります。マイクロでは個々の市場、マクロでは国全体の経済を分析します。この科目では、マイクロとマクロの基礎を学び、上位科目の準備をします。経済学に関心のある学生はこの科目を最初に受講してください。

- 大人数
- オンライン

公共経済学

私たちが生活している市場経済は、経済成長を促して人々の生活水準を向上させる一方、環境問題や所得格差など、様々な問題を生み出しています。公共経済学では、このような問題に対する解決策を、経済学の理論を使って考えます。

- 大人数
- グループワーク

国際貿易

私たちが生活しているグローバル経済では、多くのモノやサービスが国境を越えて、複雑な形で取引されています。たとえば、スマートフォンは、設計、製造、組立、販売が異なる国で行われています。もし、このグローバルな取引が突然ストップしたら、私たちの生活はどうなるでしょうか？この科目では、グローバル経済の仕組みを経済理論で分析します。

- 大人数
- グループワーク

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

「知の力で、より良い社会を作りたい！」という志のある学生におススメの学問分野です。経済学者のアルフレッド・マーシャル(1842-1942)は、経済学を学ぶには「cool head, but warm heart」が必要だと言いました。経済学を学んで、冷静な頭脳(cool head)で社会の動きを正しく理解し、暖かい心(warm heart)で、より良い社会を作りましょう！

「経済学概論」・「国際貿易」共同特別講演(PwC張先生)



オンライン授業は好きな場所で！



スポーツ科学って？ あらゆる角度からスポーツを「科学する」

「スポーツ科学」科目群は、多くのスポーツ実技・実習科目だけではなく、非常に幅広いスポーツ科学の理論を学ぶ科目で構成され、学内の国際レベルのスポーツ施設や研究設備を利用して学び、実践を通して知識や技能を深めていくことができます。さらに山梨県周辺の豊かな自然環境を活用したり、地域社会と連携したりして展開される学外講義科目も豊富にあります。教員免許や各種資格の取得に必要な科目も揃っています。

Pick Up

競技スポーツデータ論

テクノロジーの発展により、私たちはスポーツ現場から様々なデータを手に入れるようになりましたが、データを扱う側の知識がなければ、データはただの数字の集まりです。本科目では、PCを使用しながら、公開されているスポーツ現場のデータを用い、データの種類に応じたデータ処理や、比較や相関などの分析方法を学ぶことで、データが持つ意味を探求します。

○大人数 ○対面 ○PC活用

機能解剖学

保健体育教員、スポーツ指導者、アスレティックトレーナーといった健康にかかわる仕事をする人にとっては、主要な筋肉についての十分な知識と理解が必要です。一つの関節がどれだけ多くの筋肉によってコントロールされているのかを知り、それぞれの筋肉・骨格・関節の機能と関係性を理解した上で、パフォーマンスの向上に応用できるように学習します。

○大人数 ○対面

「実技実習 d」

(野外活動：キャンプ、水辺、雪上)

富士山、南アルプス、八ヶ岳など日本を代表する名山に囲まれた大学の立地条件を生かして展開します。恵まれた自然環境の中で、キャンプやカヌー、スキーなどの野外活動を通し、コミュニケーション能力や課題解決能力を育てていきます。

○野外活動 ○実習
○オフキャンパス ○大人数
○グループワーク ○PBL

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

「もっと速く走りたい、もっと遠くへ跳びたい、
もっと上手になりたい」
「アスリートやパラアスリートを支えたい」
「食事とスポーツとの関係について深く知りたい」
「スポーツを使ったビジネスや地域貢献に
チャレンジしたい」
「スポーツの社会的意義や歴史を知りたい」
「スポーツの健康への影響を知りたい」
「子どもや高齢者に必要なスポーツを探りたい」
「保健体育の先生になりたい」
「海外でスポーツの指導者になりたい」
→すべて「スポーツ科学」が実現させます！



食を通して社会に貢献する！

人々の健康の保持増進、疾病の予防と改善、食育の推進に必要な様々な知識を多角的に学ぶ学問です。人体の構造と機能を学ぶ分野をはじめ、食品の特性や機能を学ぶ分野、体内における栄養素の役割を学ぶ分野、食教育の手法について学ぶ分野、傷病者の病態や栄養状態を改善する方法を学ぶ分野、食事の献立作成や大量調理技術などを学ぶ分野があります。講義と実験・実習・演習（グループワーク）を通して、おいしく、安全な食事を提供するために必要な知識や技術を身に付けます。

Pick Up

食事設計実習

献立作成に関わる基礎的な知識と技術を習得します。食品成分表や食事摂取基準の使用方法、献立の作成や評価方法、調味割合・栄養価・購入量の算出方法を学びます。また、作成した献立を調理し、その適否や改善点を各自で評価します。

- 実技
- 実習

食品学総論

食品成分の構造や性質、化学変化について学び、健康における食品の役割について理解を深めます。食品の分類方法や食品成分表の構成、五大栄養素および嗜好・有害成分の種類とその特徴、食品成分の化学変化に関する知識を身につけます。

- 講義

地域の食と 栄養活動実習I

山梨県の農林畜水産物を活用した加工品の開発を行います。この授業を通して、地域農畜産物の活用方法を学び、地産地消の意義について理解を深めます。地域食材を利用した加工食品の開発に必要な知識と技術を身につけます。

- 実技
- 実習
- グループワーク

Message

食べること
料理を作ることが好き！
一緒に学びましょう！

教員から学生の皆さんへメッセージ

「食べるのは好きだが料理は苦手」
「勉強についていけないか少し不安」
「グループワーク大変そう」
不安もあると思います。

でも「食べること、料理を作りたい」「資格取得に向けて頑張りたい」という気持ちがあれば大丈夫、各専門分野の教員が皆さんをサポートします。

少しずつ身につけていきましょう！





新聞やニュースの「謎解き」に挑戦！

現代の私たちをとりまく出来事について、人間、社会、歴史、自然など幅広い視点からとらえ、これからの時代を生きていくための知識や考え方を学びます。たとえばLGBTQなどの「性の多様性」や温暖化をはじめとする「地球環境問題」など、私たちが生きていくために知っておきたい出来事について、皆さんと一緒に考えます。なお、一部の科目は、教職課程の指定科目になっています。

Pick Up

ジェンダー学 I

「ジェンダーとはなにか？」という基礎的な問いから、自分自身に深く根を張っているジェンダーに気づき、各領域でジェンダーがどのように私たちの生活に関わっているのかを、理論と共に具体的な日常生活における事例を通じ、ジェンダーに関する理解を深めることを目的とします。

- 大人数
- ディスカッション
- オンライン



宇宙科学

この講義のテーマは「星と宇宙」です。太古から伝えられていること・人類が古くから分かっていたこと（勘違いしていたこと）から、現代科学によって初めて明らかにされたこと・最前線の研究テーマまでを取り上げ、分かり易く解説します。

- 大人数
- 対面
- 反転学習



心理学 I

基礎的な心理学の知識について理解し日常生活に心理学の考え方を生かすことを目的とします。また、教職課程科目でもあるため、教師にとって必要な心理学の知識や、教育現場で生かせる有効な教授・学習方法など学習活動を支える基本的な考え方について理解することを目指します。

- 大人数
- 対面
- PC活用



世界史

現代世界を理解するうえで重要な、近代のヨーロッパの歴史の源泉である古代から中世にかけての歴史的事項に関する基本的素養を身につけ、現代世界の諸問題を歴史的に理解する能力を養うことを目指します。

- 大人数
- 対面
- 講義



Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

人文・社会・自然科学科目群（2023年度まで探求科目群）は、視野を広げて批判的な物の見方を養うことのできる科目群です。専門とは異なるさまざまな分野に目を向けて、いろいろな考え方や視点を身につけてください。

なお、一部の科目は教職課程の指定科目となっています。教職課程の履修希望者は早めに受講しておくとい良いでしょう。



ICTの知識と技能で新しい世界を拓くカ

ICTスキル科目群を学ぶと、学生生活に必要な文書作成、表計算、グラフ作成などのICTスキルが身につきます。また、データサイエンス、AIなどの現代社会で進行中の変化に対応できる知識と心構えが身につきます。こうしたスキル、知識、心構えは、在学中のみならず大学卒業後も社会や日常生活の問題解決に生かすことができます。さらに、2年生の発展科目を学ぶことで、新しい世界を拓く力の修得を目指します。

Pick Up

ICTリテラシー A

はじめに、コンピュータやインターネットの基礎知識、活用方法を学びます。ここでは、個人情報やデータを守る方法も学びます。後半は、文書作成ソフトの使い方を学びます。使い方だけでなく、正しい用語も身につけます。

- 実技
- 実習
- PC活用

ICTリテラシー B

この授業では、表計算ソフトの使い方を学びます。表計算ソフトを用いて、データを整理する方法、データの性質をグラフで表す方法を修得します。さらに、実データを用いて、基本的な統計量を導出する方法を学びます。

- 実技
- 実習
- PC活用

データサイエンス

データサイエンスの社会的役割、統計学の基礎、データサイエンスの手法を学びます。データとAIが社会でどのように活用されているかを理解するために、グループワークを行います。その成果をまとめて発表会をします。

- 実技
- 実習
- PC活用
- グループワーク

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

本学のICT教育は文部科学省の認定を受けており、PickUpに挙げた3科目の単位を全て取得すると、文部科学省が定める「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の修得をしたこととなります。是非、就職活動等に活かして下さい。

また、ICTやデータサイエンスの技術は日々進歩し、知識は更新されています。ICTスキル科目は、みなさんが自ら学んで、そうした知識や技術をアップデートできる人になる手助けとなるでしょう。



事実にもとづく思考と言葉を生きる力に！

「レポートの作成」、自分の体験や学びを他者に伝える「体験の言語化」など、“伝える力”を育みます。1年次には「言語技術I・II」で、大学での学びの土台となるスキル(聴く・読む・書く・話す・考える力)を身につけます。さらに、「アクティブ・リーディング」「アクティブ・ライティング」では、情報を正確に理解し、自身の未来への行動へと活かす“生きるためのリテラシー”の修得を目指します。

Pick Up

言語技術 I・II

文章や話が“相手に伝わる”ために必要な技術、一例えば、構成を意識して文章を書く・話すことを学びます。「言語技術 I」では、大学生活で必須のレポート作成にチャレンジします。また、「言語技術 II」では、体験の言語化や、情報の説明・報告などに取り組みます。

- 対面
- グループワーク

アクティブ・リーディング

さまざまな資料を読み、データに基づく正確な状況判断と未来予測を行う「ファクトフルネス」の態度を身につけ、自分で考え、表現する技術を養います。授業では、新聞や情報誌、WEB上の情報サイトなどの文章を注意深く読む訓練を行い、批判的思考力を鍛えます。

- 対面
- グループワーク
- ディスカッション

アクティブ・ライティング

自身が見聞き体験したことを伝える「体験の言語化」の力を養います。相互インタビューやキャンパスの観察を行い、写真も添えた記事として表現するワークも行います。書くことを通して、大学・社会生活で必須となるコミュニケーション力、やりとりの力を磨きます。

- 対面
- グループワーク
- ディスカッション

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

言語スキルは、皆さんの「生きる力」になります。大学時代に身につけたいですね。大学内の「ライティングサポートデスク」では、先輩SA、サポーター、教員が皆さんの学びをサポートしています。ライティングサポートデスクでは、講義でのメモ・ノートの取り方や、多様な文章の内容をつかむコツを学ぶワークショップも実施しています。ぜひご利用ください。





本当の「コミュカ」「行動力」って何だろう？

他者との良好な関係を築きながら物事を進めていく能力のことを指し、友人・家族関係だけでなく、仕事においても業種・職種を問わず求められる重要なコミュニケーション&行動スキルです。この科目群ではグループワークやアクティビティを中心に自分のあり方や他者との関係を自己と向きあい、そして他者との対話によりスキルを磨いていきます。実践的な学びを通じて人生を豊かにするためのヒントを一緒に探っていきましょう。

Pick Up

ウェルビーイングⅠ

自分を知り、他者との適切な距離を覚え、自分の気持ちを素直に伝えるコミュニケーションを身につけることに焦点を当てます。アクティビティを中心に受講生自身が、自分の特性に気づき、自分で考え行動する方法をともに習得していきます。

○グループワーク

ピアサポート実践A

仲間同士のサポート＝サポートの力を養うことが目的です。授業を通じて「誰もが成長／解決する力を持っている」の考え方を養いつつ、他授業に実際にサポーターとして入る機会を活用し、学内外で活かせるスキル獲得を目指します。（履修前提科目：ウェルビーイングⅠ&Ⅱ）

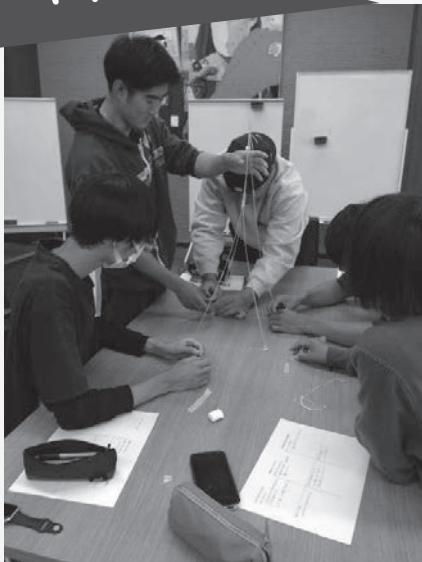
○グループワーク

学びと社会のデザインⅠ

「自分ごと」（自分が大切だと思うことや価値を感じること）からプロジェクトを立案し、1学期間かけて実現に取り組む授業です。主体的な課題発見と解決を通じて積極的に自らが学び読んでいき、大学卒業後も役立つ学びの姿勢を身につけていきます。

○少人数
○グループワーク

Message



教員から学生の皆さんへメッセージ

「自分の気持ちが上手く伝えられない」
「やりたいと思っていることがなかなか実行できない」
「そもそも自分がやりたいことがなんだか分からない」
「自分に自信がない」。

これらに当てはまる学生の皆さんにオススメの科目です。学校でもバイト先でも就職先でも役立つコミュニケーション力、行動力を少しずつ身につけていきましょう！



国際共修

履修可能な学部：全学部



グローバルな仲間との意思疎通を通じて 多様な社会をたくましく生きる力を身につけよう！

「国際共修」とは、異なる言語文化背景を持つ学生同士が、対話を通じて互いの言語や文化を学びあうことをいいます。留学生と日本人学生が互いのことを教えあい、学びあうために、ディスカッションやプロジェクトなどを通じて対話を積み重ねます。学生同士の多様性を意識しながら丁寧に対話を積み重ねることで、他者を知るだけでなく、自己をより深く知り、さらには新たな考えや価値観を創造することを目指します。

Pick Up

国際共修入門

日本人学生と留学生がともに学びあう活動を通して、①自分自身や自分の言語・文化を問い直し、②多様な価値観を知り、③それらを活かすための知識・姿勢・技法を身につけます。そして、今後の学生生活において、留学を含むキャンパス内外での国際的な活動に参加する意義を考えます。

- 国際共修
- グループワーク
- PBL

異文化コミュニケーション A・B

異文化コミュニケーションの基礎的な理論を実践的に学びます。講義に加え、グループ・ディスカッションやコミュニケーションゲームを活発に行い、異文化コミュニケーション能力を実践的に高めていきます。

- 国際共修
- グループワーク
- ディスカッション

海外文化研修A・B

15回の授業に加えて、1週間の海外研修を行います(Aは中国の南昌大学、Bはタイのコンケン大学)。授業では海外研修のための事前学習や準備を行い、渡航先では現地の大学生と共同でプロジェクトを実施します。

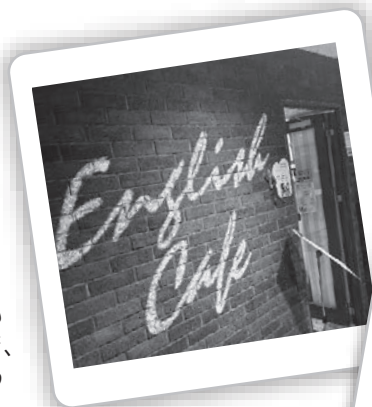
- 国際共修
- グループワーク
- 海外研修



Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

世界はグローバル化し、日本国内の多様性も増えています。国際共修科目には、ここ山梨で、新しい自分、新しい仲間、新しい世界と出会うチャンスがたくさんあります。国際的な大学ならではの学びを通して自己を成長させましょう。





外国語学習を通じて、キャンパス内外で活かせる実践的なコミュニケーション力を身につける！

山梨学院大学では、語学科目（外国語科目）として、英語・中国語・日本語が開講されています。（※日本語は外国人留学生が対象）それぞれレベル・目的に合わせた科目が開講されているので、ご自身のレベル・目的に合わせた履修が可能です。「大学在学中に外国語でのコミュニケーション力を高めたい」「新しく言語を学んでみたい」「外国語が苦手…少しでも克服したい」「異なる文化・価値観に触れてみたい」そんな方はぜひ履修してみてください。

Pick Up

実用英語（日常生活）A・B 実用英語（旅行・留学）A・B

「実用英語（日常生活）」では、身近な生活場面やテーマを取り上げながら、日常的な英語コミュニケーション能力を身につけます。「実用英語（旅行・留学）」では、海外での旅行や留学の場面で必要な英語コミュニケーション能力を身につけます。実践的な活動を通して英語コミュニケーションスキルを磨きましょう！

- 外国語
- グループワーク



基礎中国語 I

ゼロから中国語を学べる授業です。担当教員は中国人ですが、日本語はネイティブレベル。日本語で丁寧に解説します。また、授業では中国語だけでなく、中国文化についても取り上げられるので、言語と文化を同時に学ぶことができます。日本語と中国語、日本と中国、似ているところも違うところもたくさんあっておもしろいですよ！

- 外国語
- 少人数

日本語 I

大学に入ったばかりの留学生が、今後大学生活を送るうえで必要となる日本語力や学修力を身につけるための科目です。大学生活を順調に進められるよう、この科目で大学での学習に必要な日本語の力を磨きましょう！

- 外国語
- 少人数

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

言語をとおして世界を広げよう！
Open up your world through language！
学好外语，走向世界！





スポーツは心と体のデトックス！

フィットネスという要素は言うまでもなく、スポーツをもっとやりたいと考えている人にとって自分の体を健康に保つという非常に大きな引き金になります。体型を整えるだけでなく、ケガや疲労をしにくい体を作ることができます。スポーツで大切なのは、自分の限界を知ることです。「もう十分だ」と言うことは恥ずかしいことではありません。多くのプロスポーツ選手がこのことを忘れ、オーバーワークで怪我をし、健康体とは真反対の行動に出ていることも多く見られます。スポーツは「楽しむ」が語源ということをもう一度理解し、見直すことが求められます。

Pick Up

コーチング基礎

日本のスポーツ界では、コンプライアンスに必要な統制がない状態が長く横行していたと言われていました。ハラスメントのみならずアスリートに「心」「身体」共に教育・理解していくことが指導者に重要な要素とされています。2016年に、日本スポーツ協会（当時日本体育協会）は、指導者に求められる資質能力を確実に習得するために必要な内容として「モデル・コア・カリキュラム」を提示しました。この授業では、「指導者」として「コーチング」を多方面から理解し、実践に活用できるようになることを目標とします。

○大人数

スポーツ実践

スポーツに携わる人間は、自己の心身の健康の理解とともに、他者と理解しあうことも求められます。今日の教育環境でコミュニケーションは、自分自身と向き合い、他者とともに構成することが求められ、それは壁に囲まれた教室内でなく、大きなスペースの中で起こり得る化学反応でもあります。人を観察し、自然に対話することによって深めることができる知識は、「スポーツ」をツールとして共有できる教養の大きな一つとされます。

○少人数
○グループワーク

スポーツ経営学

私たちはグローバル社会の中で常に新しい産業を目視しています。その中でも、「スポーツ」は、さまざまな領域に発展と展望に理解が多く将来の産業イメージにはキーワードとして上げられています。用品、施設、サービス、プロスポーツ、メディア、ビジネスモデルなどさまざまな領域に拡大しながらも、近年は他の産業分野との関わりを持ちながら日々発展・進化しています。これからのグローバルな視野と国が進める「スポーツ基本計画」を分析・理解する授業です。

○大人数

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

物事を考える時に自動思考は、過去の経験知を活かし、意思決定を早めるために役立ちますが、過去の印象や固定観念は、自己の考えや思想が変化していることや新しい可能性の気づきに障害をきたし、本質を捉えることができなかつたりしてしまいます。そのように考えれば、「スポーツ」は、多くの人々が自動思考によって印象やイメージに囚われすぎず、自動思考をポジティブに健康と自分の未来に繋げていくことができる「学び」の重要な要素となります。





自分の「生き方」を決めていこう！

この科目群では、自分の今後の「生き方」、言い換えれば広い意味での「キャリア」がどうあるべきかを考え、行動していく科目です。皆さんは未来をどうしたいですか？どうなるのが理想的でしょうか。それを考え、自分と社会について深く学び、価値付けをし、実践的に使える能力を身につけていきます。結果として、この科目群により皆さんが自分の理想の姿が決まり、それに向かって主体的に行動できるようになることを目指します。

Pick Up

キャリアデザイン入門

ビジネス社会での経験豊富な実務家教員が担当します。25人までの少人数授業でコミュニケーション技術を学びます。学生の皆さんそれぞれにとっての理想的な将来を考え、その実現のために何をすべきかを考え行動につなげる授業です。

○少人数 ○プレゼンテーション

ワークルール論： 働くための基礎知識

現代日本社会における「働くこと」をめぐる状況の背景にある仕組みを学び、こうした状況を解決していくための基礎的な知識を習得していきながら、労働問題についての理解を深めていきます。実務経験のある弁護士の教員が担当します。

○大人数

産業と職業の研究 (後期実施)

多くの業界から代表する企業・団体から講師をお招きします。業界の動向、企業・団体の事業内容、経営戦略、仕事内容、働きがいについてリアルな話を聞くことを通して、早期からキャリア意識を高めることを目的としています。

○大人数

Message

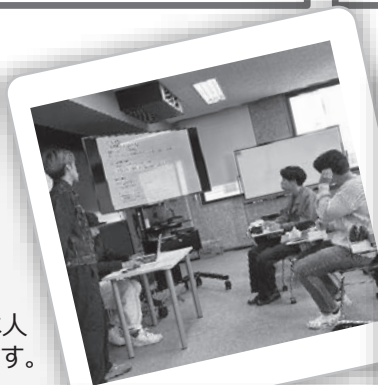
教員から学生の皆さんへメッセージ

ここでは「自分の将来」について扱います。海外の研究によると2007年に生まれた日本人の50%は107歳まで生きると予測されています。

長い人生を有意義に生きるために、自分の人生の設計図を作りませんか？

一度きりの人生を受け身で生きるか、主体的に生き理想的なものにするか。あなたが決めてください。

そして、主体的に生きると決めた学生はぜひこれらの科目で一緒に学びを深めていきましょう。



教職課程

履修可能な学部：全学部



あなたの情熱で、 子どもたちの可能性を広げよう

教職課程は、教育職に就くために必要な資格を取得するための教育プログラムです。本学では、中学校、高等学校などの教員資格を得ることができます。教職課程の授業は、教員に必要な専門知識や教育技術を身につけるための授業や実際の学校で学ぶ教育実習などがあります。本学の教職課程は2年生からですが、名教科に関する科目は1年生からスタートします。詳しくは、履修ガイドブックの教職課程を確認してください。

Pick Up

総合的な学習・探究の 時間の指導法

変化の激しい現代社会を生きる上で必要となる「探究的な学び方」が学べる授業です。各教科で身につけた知識を結集して様々な角度から問題を見つめ、実際の社会や生活に応用できるような学びを実現するために、具体的な指導の仕方や学習活動の評価などを学びます。

○ 大人数

特別支援教育概論

障がいのある児童生徒を理解するために、視覚障害や聴覚障害、知的障害、最近見聞きすることが多い発達障害などの知識や教育法を学びます。特別支援教育に関心のある人や、学校以外で児童生徒の支援に興味のある人にとっては得ることが多い授業です。

○ 大人数

スポーツ教育論

スポーツ教育の目的、内容、方法に関わる論点を考察します。スポーツの、持つ教育的価値や可能性を探ること、スポーツが抱える教育的な諸問題を実践的な視点から眺めることなど、スポーツと教育の適切な関わり方について考えます。

○ PC活用

Message

教員から学生の皆さんへメッセージ

教育に関する知識を深め、その知識を実践で生かせること、それは教育のプロフェッショナルです。企業で働くときにも十分に生かすことのできる学びになると思っています。教職課程で教えるための技術を磨きましょう。

教員免許状の取得を目指します！
教職に関するお問い合わせは
教職センター（40号館1階）へ





YAMANASHI GAKUIN UNIVERSITY